

# 佐倉市市民意識調査報告書

平成 21 年 3 月

佐 倉 市



## はじめに

佐倉市では、平成13年に第3次基本構想を策定して以来、「歴史 自然 文化のまち」をテーマとして、「豊かな自然を引き継ぐ、環境と調和したまち」「個性ある生活圏が連携した、生き生きと暮らせるまち」「市民がつくる、活力にみちたまち」を目指して各種施策を展開してまいりました。

現基本構想の計画期間においては、地方分権が進展し、それまでの全国画一的な地方行政から、地域のことは、地域の住民と自治体が、その特性を踏まえて、必要な政策を決定し、実行するという、市民協働による地方自治の確立が求められるようになってまいりました。また、少子高齢化、地球温暖化、経済のグローバル化、情報通信技術の高度化、市民ニーズの多様化など、本市を取り巻く社会的、経済的な環境は急激に変化してきております。

このような状況下、第3次基本構想も平成22年度をもって計画期間を終了し、個性豊かで活力あるまちづくりを目指し、新たな総合計画を策定するため、これまでの総合計画を顧みるとともに、新たな計画の策定の方向づけをする一つの資料として佐倉市市民意識調査を実施いたしました。

このたびの調査は、佐倉市在住の市民の皆様に対して、地区別、年齢階層別など幅広い方々に、ご協力をいただき、地域ごとの考え方や年齢層ごとの考えを把握することができました。

本報告書は、それらの意識調査の結果を取りまとめたもので、市民の皆様の貴重な意見として、次期の総合計画策定をはじめとして、今後のまちづくりに大いに役立つものであり、市政運営に反映させてまいりたいと考えております。

最後に、調査にご協力を頂きました市民の皆様から心から感謝申し上げます。

平成21年3月

佐倉市長 巖 和 雄

## 目 次

・調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の内容	1
3. 調査の方法等	2
4. 調査件数等	2
5. 集計の方針	2
・市民意識調査結果	3
1. 調査対象の特性	3
2. 調査結果	6
(1) 職業	6
(2) 同居の家族	7
(3) 転入について	9
(4) 居住区分	11
(5) 生計を主に支えている人の勤務先	12
(6) 本人の通勤・通学先	13
(7) 日常の買い物場所	14
(8) 週末など休日を過ごす場所	16
(9) 佐倉市の住みやすさ	18
(10) 今後の定住の意向	24
(11) 周辺の環境や施設について	28
(12) 今後の不安について	37
(13) 老後の生活について	39
(14) 今後の市政強化に対する希望、期待	41
(15) コミュニティ活動に対する動向・意見	45
(16) 市に対する要望・意見の伝え方	49
(17) 住民として参加したい計画部門	51
(18) 佐倉市の長所と欠点	53
(19) 今後の佐倉市の都市づくり	57
(20) 佐倉市内の好きな場所・もの	59
(21) 将来の佐倉市のイメージ	61
・市民意識調査結果から見た問題点と課題	63
その他の意見	69
アンケート調査票	76

## ．調査の概要

### 1．調査の目的

この調査は、佐倉市民の地域に対する意識や、まちづくりに対する意見・意向等を把握し、第4次佐倉市総合計画策定の基礎資料として活かすことを目的としている。

### 2．調査の内容

市民意識調査 調査事項	調査項目	回答の区分	
		単数 (SA)	複数 (MA)
(1) 属性	①性 ②年齢 ③職業 ④家族構成 ⑤居住地区 ⑥転入の時期 ⑦住居形態 ⑧勤務先 (生計の主体者) ⑨通勤通学先 ⑩日常の買い物場所 ⑪週末に過ごす場所	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	
(2) 住みやすさ	①住みやすくなったか ②その理由 (肯定) ③その理由 (否定)	◎ ◎ ◎	
(3) 今後の定住の意向	①住み続けたいか ②その理由 ③近所とのつき合い	◎ ◎ ◎	
(4) 市の施設の利用	①過去3年間の市の施設利用 ②満足度 ③公共施設の今後 ④公共施設サービスと費用負担	◎ ◎ ◎ ◎	
(5) 佐倉市全体として取り組むべき事業	①今後最も不安に感じるもの ②あなたの老後の生活 ③今後の市政で特に力を入れてほしいもの	◎	◎2つまで  ◎5つまで
(6) 地域における市	①地域のコミュニティ活動への参加	◎	

民参加	意識 ②過去1年間の活動		◎3つまで
(7) 行政に対する市民参加	①市に対する要望、意見の伝達方法 ②市民として参加したい計画部門	◎	◎3つまで
(8) 佐倉市の都市イメージ	①積極的に評価できること長所 ②市の短所、欠点 ③今後の都市づくりに対する考え ④市内の好きな場所、もの ⑤将来の市のイメージ	◎	◎3つまで ◎3つまで ◎3つまで ◎3つまで ◎3つまで

### 3. 調査の方法等

調査時期：平成20年10月24日（金）～11月7日（金）

調査区域：佐倉市全域

調査対象：佐倉市内に居住する満20歳以上の男女5,000人

抽出方法：層化多段抽出（地区人口比別・年齢別・男女別）

調査方法：郵送配付・郵送回収法（自記式、無記名）

### 4. 調査件数等

発送件数	回収件数	回収率
5,000件	3,028件	60.5%

### 5. 集計の方針

#### ①割合の算出、表示方法

調査結果中の「構成比」は、総回答者数に対する各項目の回答者数の割合であり、百分率（パーセント）で表示した。

この数値は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならないことがある。

また、一人の回答者が2つ以上の回答をする場合（複数回答）では、回答率の合計が100%を上回ることもある。

#### ②データの整理基準

回答欄に記入がないもの、または記入されていても判別できないものは、「不明」とした。また、単数回答の質問に対して複数回答を行ったものは無効とし、集計上「不明」に含めた。一部のグラフでは、クロス集計をする上で「不明」を省略しているものがある。

回答の構成比については、今回調査、前回調査ともに「不明」を除く数値とした。

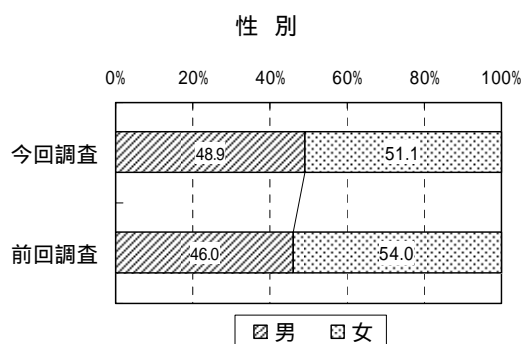
## ．市民意識調査結果

### 1．調査対象の特性

調査対象となった人の特性を「性別」、「年齢別」、「居住地別」にとらえた結果は下記のとおりである。

#### (1) 性別

構成は男性が 48.9%女性 51.1%で女性がわずかに多い。



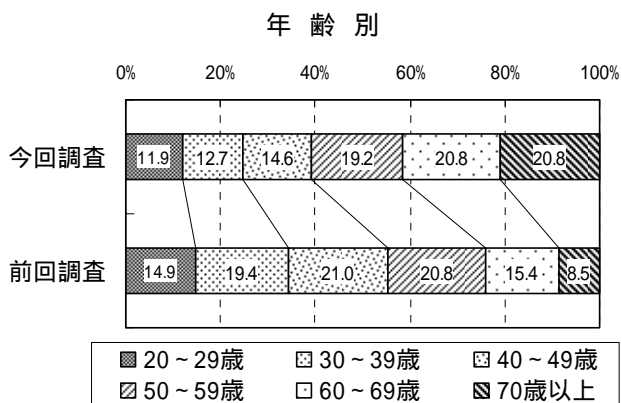
#### (1) 性別 (SA)

	カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1	男	1,448	48.9	46.0
2	女	1,512	51.1	54.0
	不明	68	-	-
サンプル数 (%)		3,028	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く

#### (2) 年齢別

年齢別に見ると、20歳から49歳までの各層で約12～15%、50歳代からが各20%程度の構成となった。平成10年に実施された同種の調査（以下、「前回調査」とする。）では、70歳以上が10%を切っているが今回は20.8%とこの年代層が大幅に増え、各質問において高齢者の意見のウエイトが高くなっている。



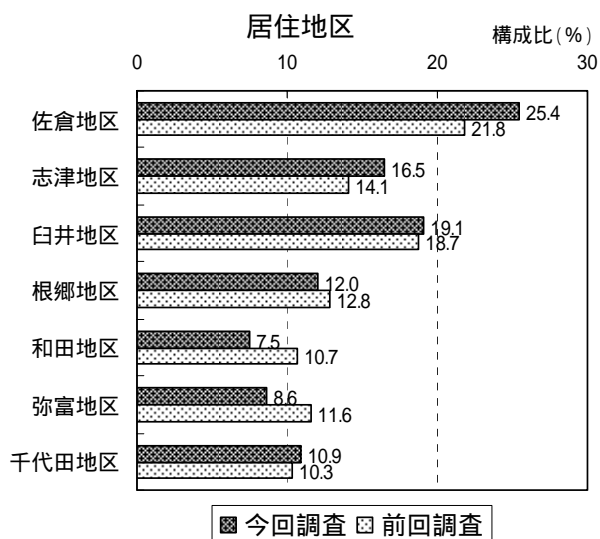
#### (1) 年齢 (SA)

	カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1	20～29歳	354	11.9	14.9
2	30～39歳	380	12.7	19.4
3	40～49歳	436	14.6	21.0
4	50～59歳	574	19.2	20.8
5	60～69歳	621	20.8	15.4
6	70歳以上	622	20.8	8.5
	不明	41	-	-
サンプル数 (%ベース)		3,028	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く

### (3) 居住地区

佐倉地区 25.4%、臼井地区 19.1%、志津地区が 16.5%で、割合は前回の調査とほぼ同様である。



#### (1) お住いの地区 (SA)

	カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1	佐倉地区	753	25.4	21.8
2	志津地区	489	16.5	14.1
3	臼井地区	566	19.1	18.7
4	根郷地区	354	12.0	12.8
5	和田地区	221	7.5	10.7
6	弥富地区	255	8.6	11.6
7	千代田地区	322	10.9	10.3
	不明	68	-	-
	サンプル数 (%ベース)	3,028	100.0	100.0

構成比\*: 不明を除く

### 市内の地区区分

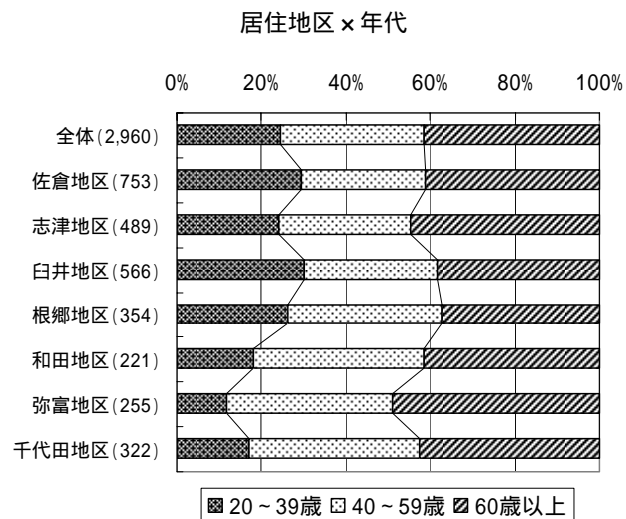
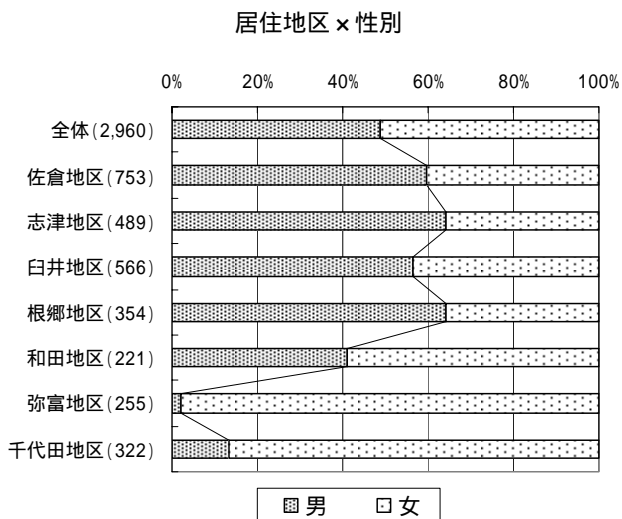




<クロス集計結果でみた特徴>

佐倉地区、志津地区、臼井地区、根郷地区の4地区で男性の居住者がやや多い。弥富地区、千代田地区の両地区に於いては女性の割合が特に多くなっている。

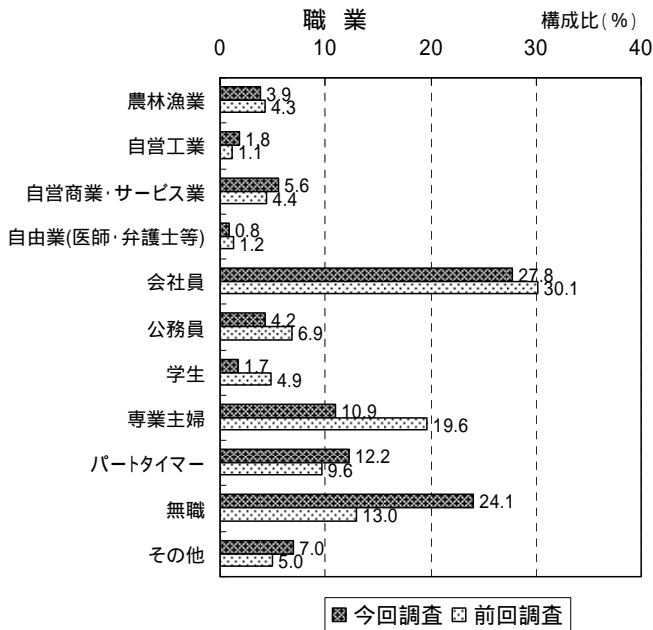
佐倉地区と臼井地区においては、20から39歳の比較的若い回答者が多く、弥富地区と志津地区では60歳以上の高齢者がやや多い。



## 2. 調査結果

### (1) 職業

回答者の職業別の構成は「会社員」が最も多く27.8%、第2位は「無職」で24.1%、「専業主婦」は10.9%で前回調査の約19.6%と比較するとかなり少なくなっている。



(1) 職業 (SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 農林漁業	115	3.9	4.3
2 自営工業	53	1.8	1.1
3 自営商業・サービス業	164	5.6	4.4
4 自由業(医師・弁護士等)	24	0.8	1.2
5 会社員	819	27.8	30.1
6 公務員	125	4.2	6.9
7 学生	50	1.7	4.9
8 専業主婦	322	10.9	19.6
9 パートタイマー	360	12.2	9.6
10 無職	711	24.1	13.0
11 その他	208	7.0	5.0
不明	77	-	-
サンプル数(%ベース)	3,028	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く

<クロス集計結果でみた特徴>

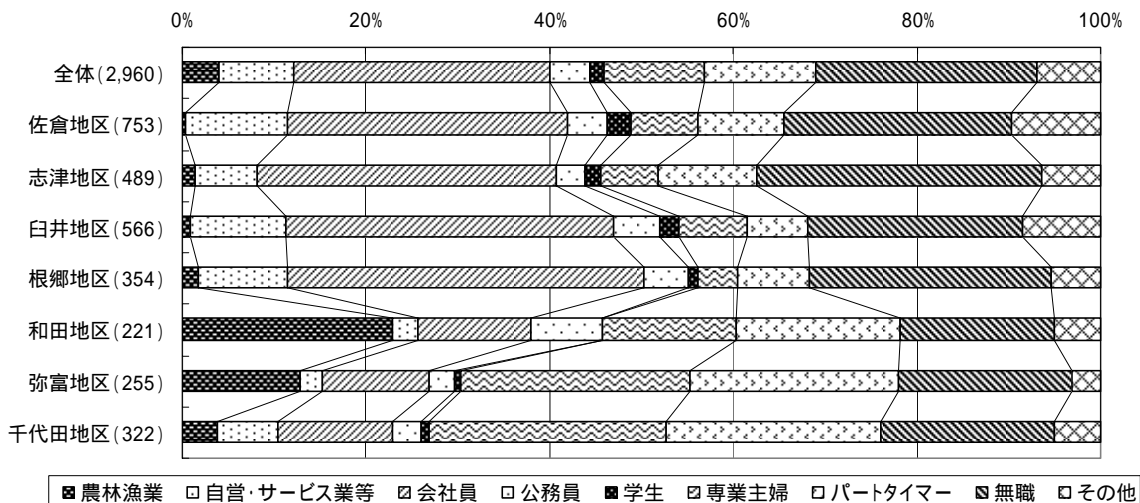
居住地区別では、臼井地区と根郷地区では、会社員の割合が特に多い。

和田地区と弥富地区では、「農林業」が比較的多い。また、弥富地区と千代田地区では、「専業主婦」と「パートタイマー」の割合が多い。

志津地区では、「無職」の割合が3割程度と多い。

性別では、前回の調査と同様、男女ともに「会社員」の割合が高い。

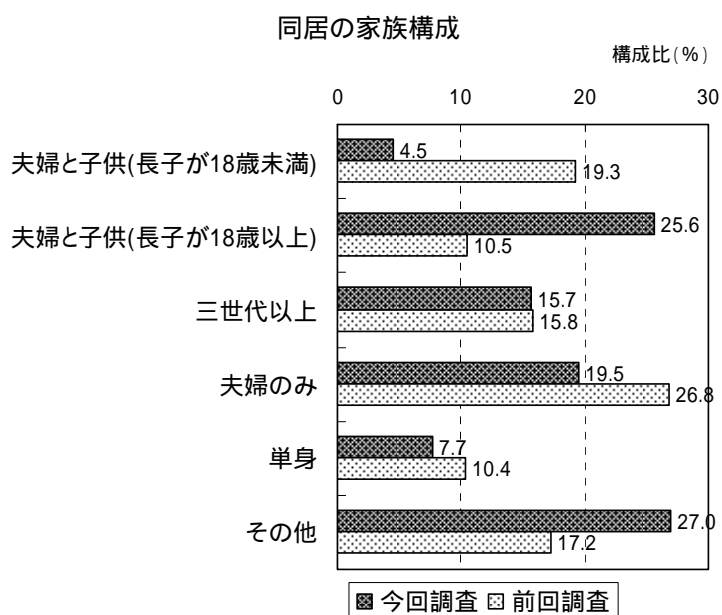
居住地区×職業



## (2) 同居の家族

「夫婦と子供(長子が18歳以上)」が25.6%、「夫婦のみ」が19.5%、「三世代以上」が15.7%となっている。

前回調査では、「夫婦のみ」が約26.8%と最も多く、「夫婦と18歳未満の子供」がこれに次ぐ19.3%であったことから、子供の成長が伺える。なお、「三世代以上」は、前回とほぼ同様の割合であった。



(1) 現在同居している家族構成 (SA)

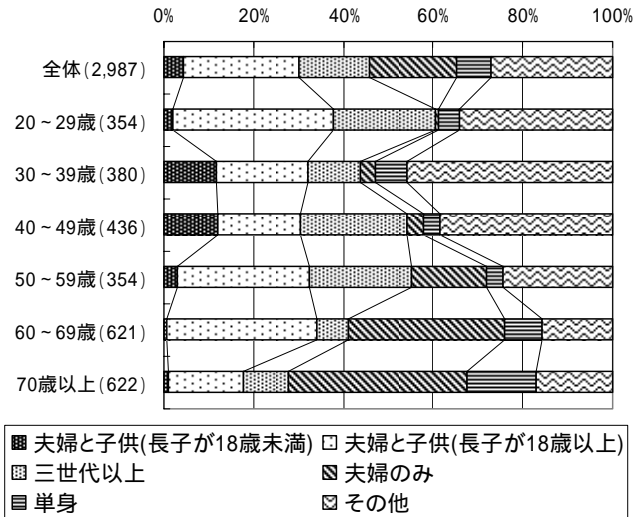
	カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1	夫婦と子供(長子が18歳未満)	131	4.5	19.3
2	夫婦と子供(長子が18歳以上)	751	25.6	10.5
3	三世代以上	460	15.7	15.8
4	夫婦のみ	573	19.5	26.8
5	単身	226	7.7	10.4
6	その他	793	27.0	17.2
	不明	94	-	-
	サンプル数(%ベース)	3,028	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く

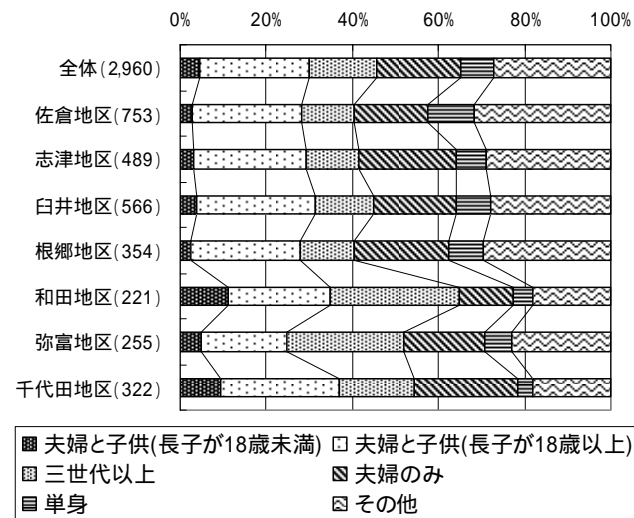
### <クロス集計結果でみた特徴>

地区別にみると、三世代以上同居の多い地区は和田地区と弥富地区、両地区には古くからの居住者が多いことがうかがえる。

年代×家族構成

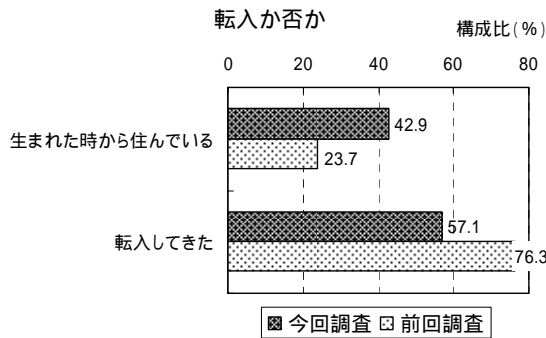


居住地区×家族構成



### (3) 転入について

「転入してきた」が 57.1%、「生まれた時から住んでいる」が 42.9%で、「転入」者の割合が多いが、前回調査では「転入してきた」が 76.3%を占めていたことから転入者は減っている。



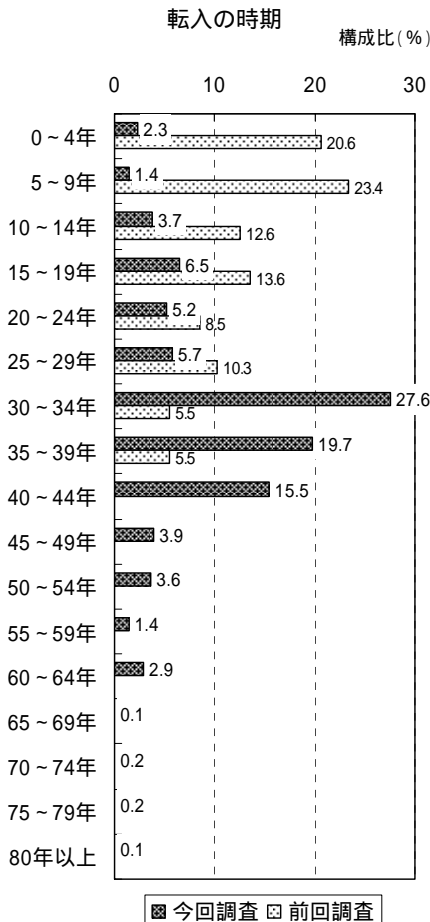
#### (1) 佐倉市に転入したか (SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 生まれた時から住んでいる	1,267	42.9	23.7
2 転入してきた	1,685	57.1	76.3
不明	76	-	-
サンプル数 (%ベース)	3,028	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く

### (3) - 2. 転入の時期

転入後の経過年数別にみると「30～34年」が 27.6%で最も多く、次いで「35～39年」が 19.7%を占める。前回調査では転入後 10～20年ほど前の転入者が多く、前回調査以後 10年余の経過を反映していると判断される。



#### (1) 1 いろいろ佐倉市に転入してきたか

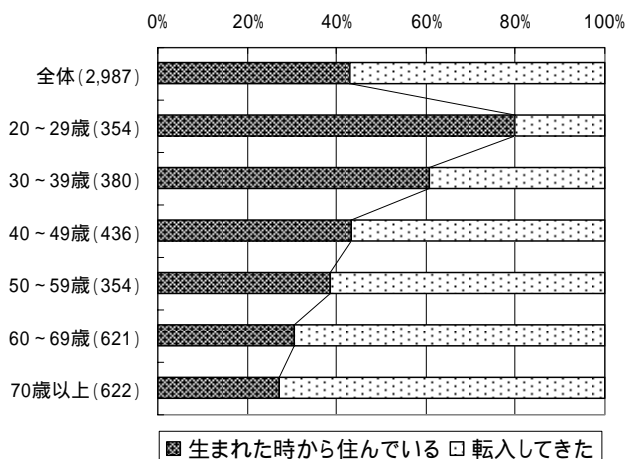
カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 0～4年	39	2.3	20.6
2 5～9年	24	1.4	23.4
3 10～14年	62	3.7	12.6
4 15～19年	110	6.5	13.6
5 20～24年	87	5.2	8.5
6 25～29年	96	5.7	10.3
7 30～34年	465	27.6	5.5
8 35～39年	331	19.7	-
9 40～44年	260	15.5	-
10 45～49年	65	3.9	-
11 50～54年	61	3.6	-
12 55～59年	23	1.4	-
13 60～64年	49	2.9	-
14 65～69年	2	0.1	-
15 70～74年	4	0.2	-
16 75～79年	3	0.2	-
17 80年以上	1	0.1	-
不明	1,346	-	-
サンプル数 (%ベース)	3,028	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く，前回調査の年数区分に1年の誤差あり。

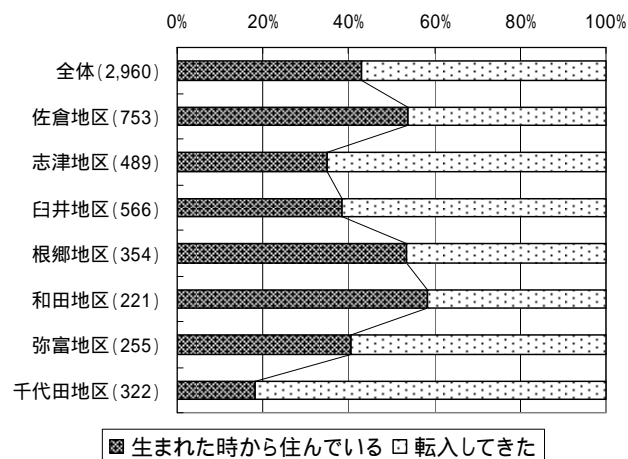
<クロス集計結果でみた特徴>

年代別にみると、転入者の年代は60歳以上が多く、佐倉市に転入後かなり年月が経過した人が多い。地区別では、転入者の多い地区は千代田地区(81.9%)、志津地区(65.0%)、臼井地区(61.4%)、弥富地区(59.3%)である。

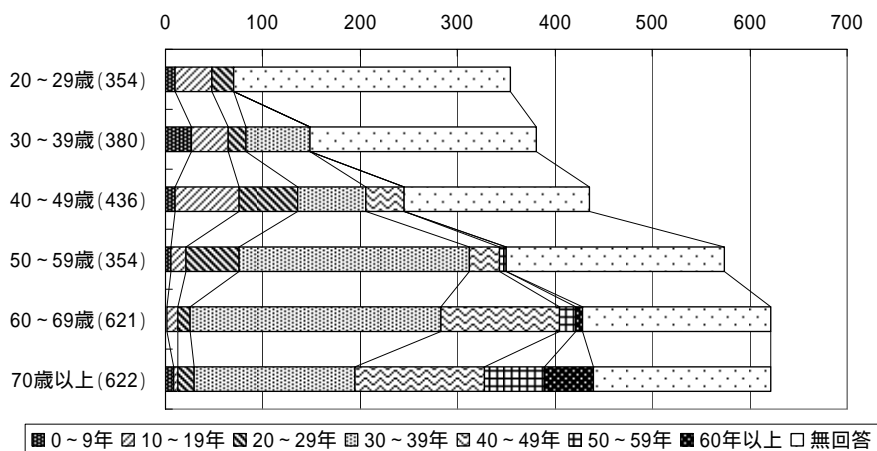
年代×転入か否か



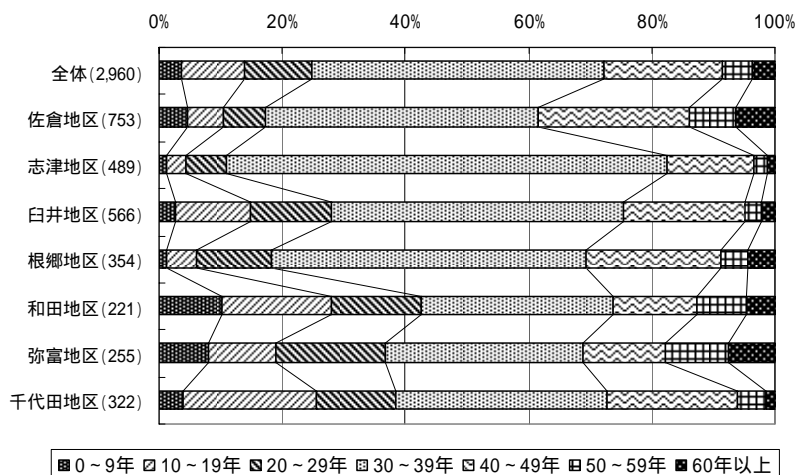
居住地区×転入か否か



年代×転入時期

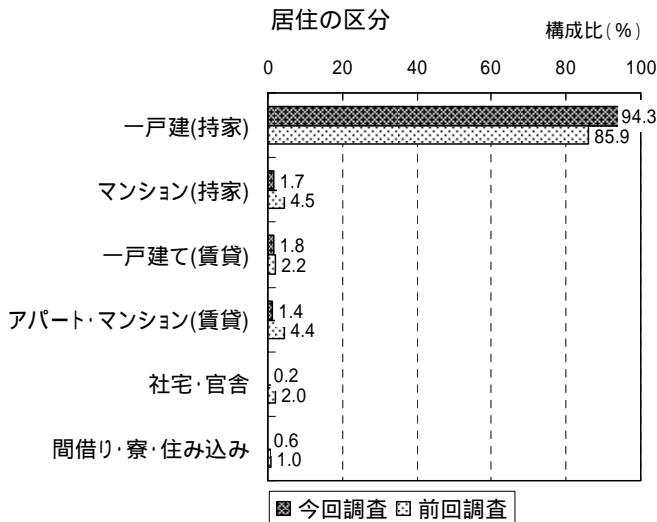


居住地区×転入時期



#### (4) 居住区分

「一戸建て（持ち家）」が圧倒的に多く 94.3%を占める。前回調査では 85.9%であったため、持ち家率はさらに高まっている。



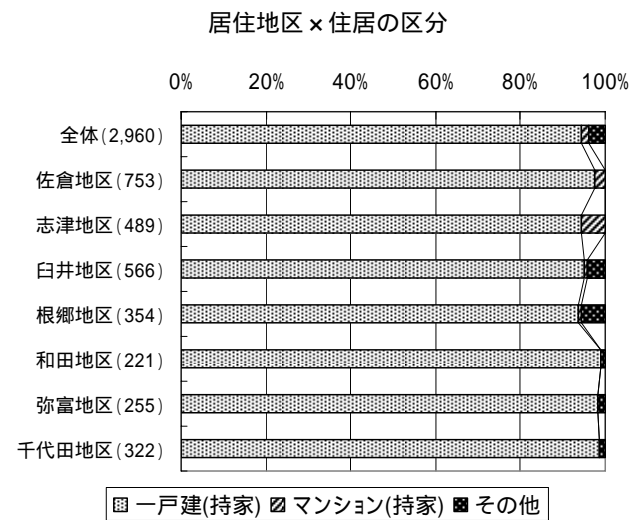
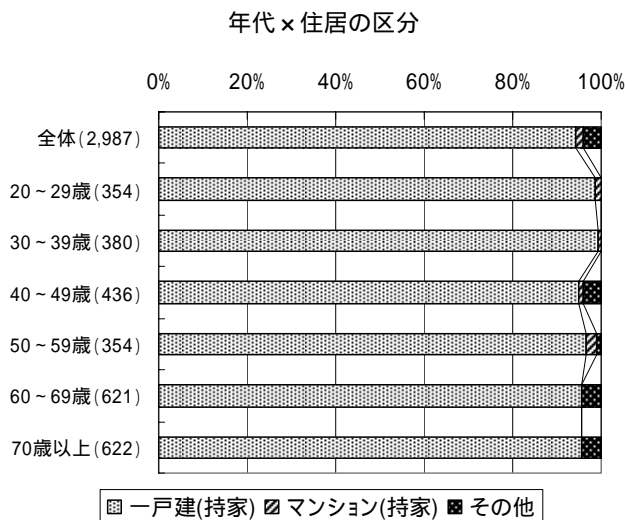
#### (1) お住まい (SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 一戸建(持家)	2,801	94.3	85.9
2 マンション(持家)	51	1.7	4.5
3 一戸建て(賃貸)	53	1.8	2.2
4 アパート・マンション(賃貸)	43	1.4	4.4
5 社宅・官舎	7	0.2	2.0
6 間借り・寮・住み込み	16	0.6	1.0
不明	57	-	-
サンプル数 (%^ -入)	3,028	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く

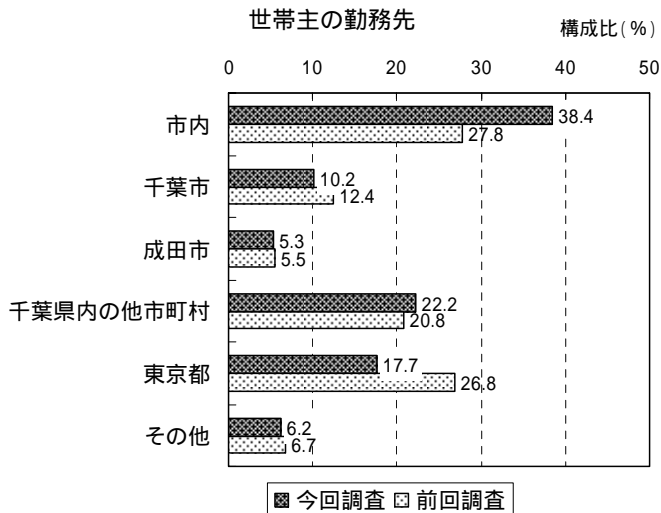
#### <クロス集計結果でみた特徴>

年代別、地域別にみても、「一戸建て（持ち家）」が圧倒的に多い。「マンション（持家）」の割合は、全市的には 1.7%とごく僅かだが、志津地区では 5.5%とやや多くなっている。



### (5) 生計を主に支えている人の勤務先

「市内」が38.4%と最も多く、前回調査よりも10ポイント以上上昇している一方、「東京都」は17.7%であり、前回調査の26.8%から低下している。なお、「県内他市町村（千葉、成田を含む）」は合計37.7%であり、前回調査とほぼ同様であった。



#### (1) 生計を主に支えている方の勤務先 (SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 市内	887	38.4	27.8
2 千葉市	236	10.2	12.4
3 成田市	123	5.3	5.5
4 千葉県内の他市町村	514	22.2	20.8
5 東京都	408	17.7	26.8
6 その他	143	6.2	6.7
不明	717	-	-
サンプル数 (%ベース)	3,028	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く

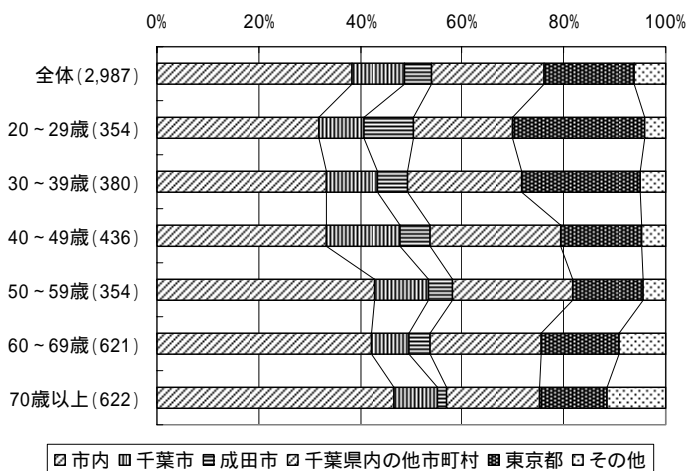
#### <クロス集計結果でみた特徴>

年代別にみると、すべての年代で「市内」が最も多い。20歳代、30歳代は、「東京」が2割強で他の年齢層と比べると多い。また、40歳以上の各年代では、「県内の他市町村」が比較的多い。

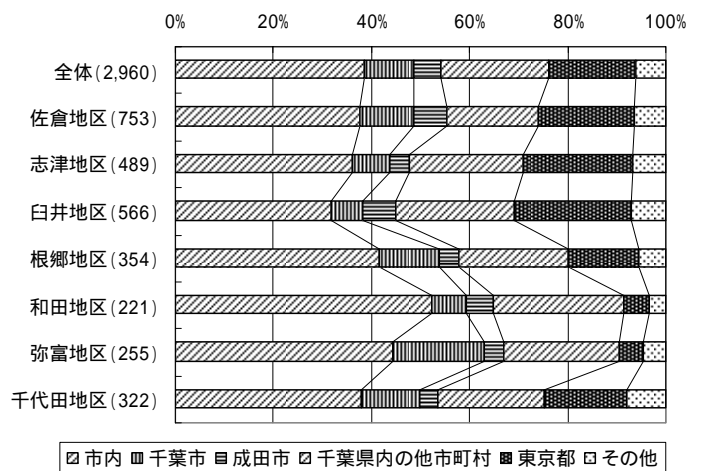
居住地区別にみると、すべての地区で「市内」が最も多い。

志津地区、臼井地区では、東京への通勤者が比較的多い。(平均17.6%、志津地区22.2%、臼井地区23.8%) また、和田地区では、「県内の他の市町村」への通勤者が比較的多い。

#### 年代×世帯主の勤務先



#### 居住地区×世帯主の勤務先

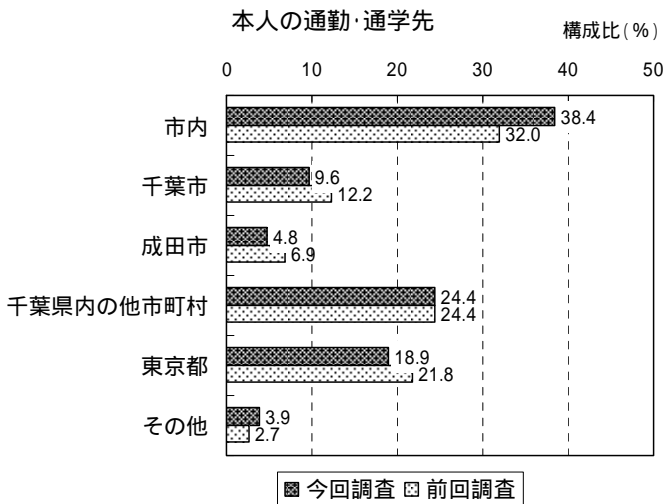




## (6) 本人の通勤・通学先

「市内」が38.4%と最多で、前回の調査とほぼ同様であった。「東京都」は18.9%、「千葉市」が9.6%、「成田市」が4.8%など県内の他市町村に勤務先のある回答者は合計で4割近くを占めている。

「県内の他市町村に勤務先のある回答者」の割合は、前回とほぼ同様である。「生計を主に支えている人」と「本人」の通勤・通学先は、ほぼ同様の傾向であった。



### (1) 通勤・通学先 (SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 市内	735	38.4	32.0
2 千葉市	184	9.6	12.2
3 成田市	91	4.8	6.9
4 千葉県内の他市町村	466	24.4	24.4
5 東京都	361	18.9	21.8
6 その他	76	3.9	2.7
不明	1,115	-	-
サンプル数 (%ベース)	3,028	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く

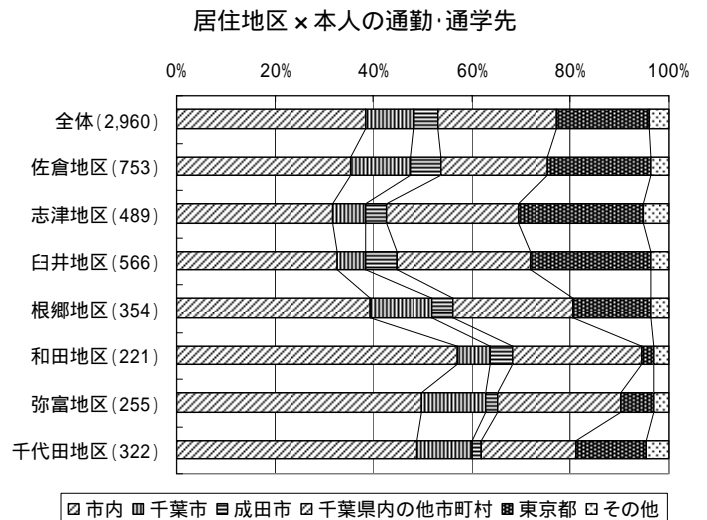
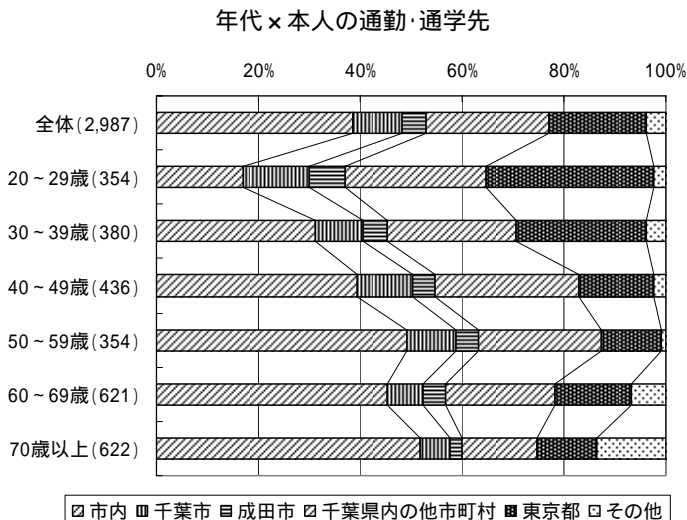
<クロス集計結果でみた特徴>

性別にみると、男女ともに「市内」の通勤・通学者が多い。

20～30歳代の比較的若い層では、「東京」への通勤・通学者が2割程度と比較的多くなっている。

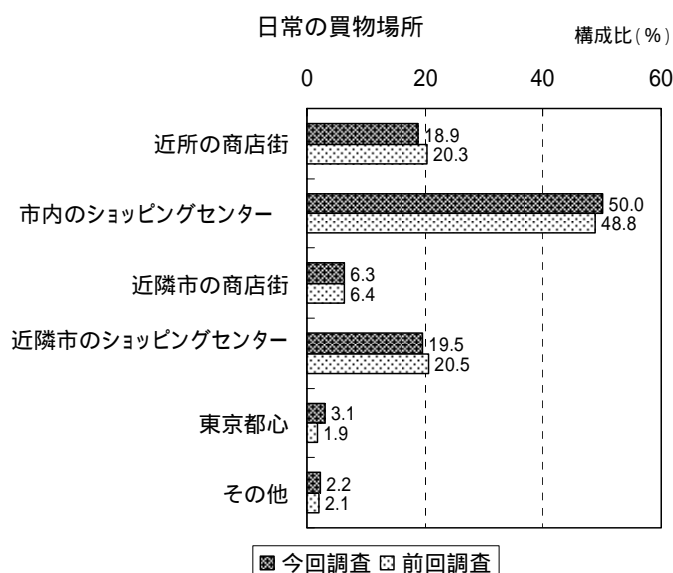
地区別にみると、どの地区においても市内在学・在勤が最も多いが、佐倉地区、志津地区、臼井地区では、「東京都」への通勤・通学者も多い。

20歳代で東京への通勤・通学者が最も多いのに対し、他の世代は市内在学・在勤者が最も多い。



## (7) 日常の買い物場所

「市内のショッピングセンター(SC)」が最も多く 50.0%、「近所の商店街」が 18.9%、「近隣市の SC」が 19.5%となった。前回の調査では、各々約 48.8%、20.3%、20.5%であったことから、「市内のショッピングセンター(SC)」などの大型店が強力な顧客吸引力を有していることがうかがえる。



### (1) 日常の買い物にでかける場所 (SA)

	カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1	近所の商店街	557	18.9	20.3
2	市内のショッピングセンター	1,471	50.0	48.8
3	近隣市の商店街	186	6.3	6.4
4	近隣市のショッピングセンター	574	19.5	20.5
5	東京都心	90	3.1	1.9
6	その他	65	2.2	2.1
	不明	85	-	-
	サンプル数 (%ベース)	3,028	100.0	100.0

構成比\*: 不明を除く

#### <クロス集計結果でみた特徴>

性別にみると、男性は「市内のSC」「近所の商店街」「近隣市のSC」の順となった。

年代別にみると、20～30歳代で「近隣市のSC」に行く人が多くなっている。また、40歳以上では「市内のSC」志向が強まり「近所の商店街」にも2割程度でかけている。

地区別にみると、和田地区と弥富地区を除く地区で「市内のSC」が最も多く、特にその割合が高いのは千代田地区(72.8%)であり、臼井地区(55.4%)と志津地区(54.6%)も多い。

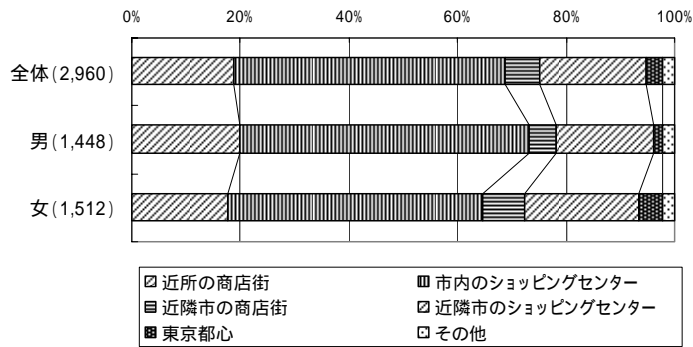
和田地区、弥富地区では、「近隣市の商店街」、「近隣市のSC」の利用が多い。

「近所の商店街」の利用は、根郷地区の居住者に多い(2割強)。

職業別に見ると、「近所の商店街」利用者は、「農林業」と「自営工業」の人に多く、「自営商業・サービス業」ではやや少ない。

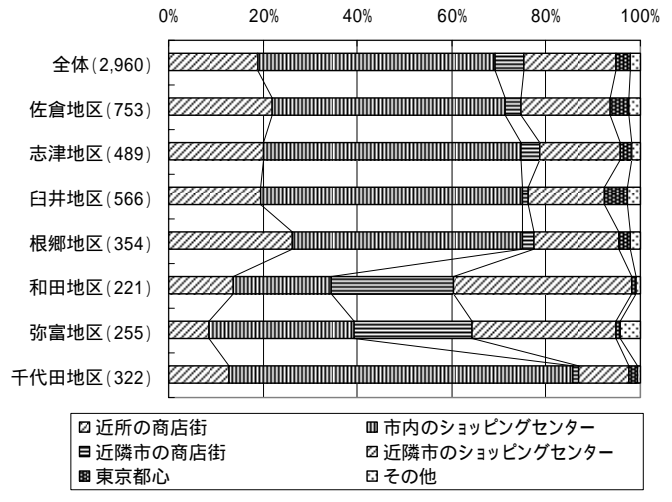
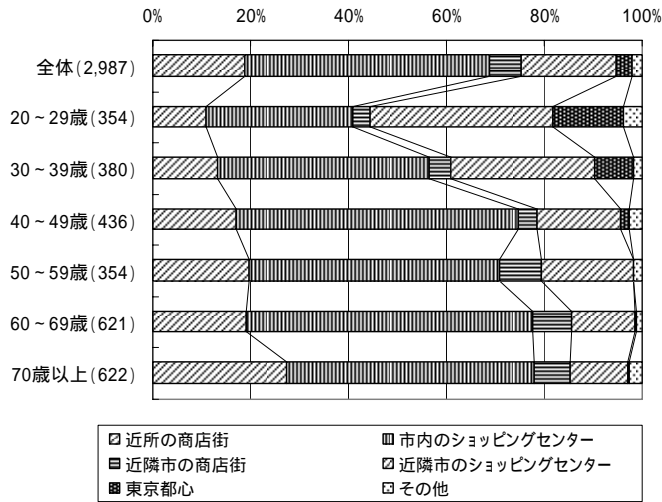
家族構成別にみると、「夫婦と子供」のいる世帯では、「市内のSC」が多く5割を超えている。「夫婦のみ」の世帯でも「市内のSC」が5割を超えたものの「近所の商店街」の利用も24.6%と比較的多くなっている。この傾向から、地域住民の高齢化に伴う行動圏の縮小、それに対応すべき「近所の商店街」の機能維持の必要性を感じさせる。

### 性別 × 日常の買物場所

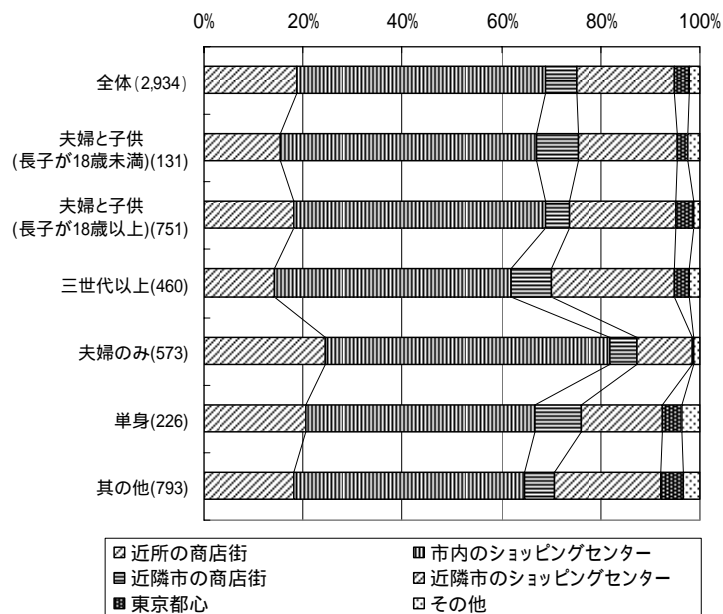


### 年代 × 日常の買物場所

### 居住地区 × 日常の買物場所



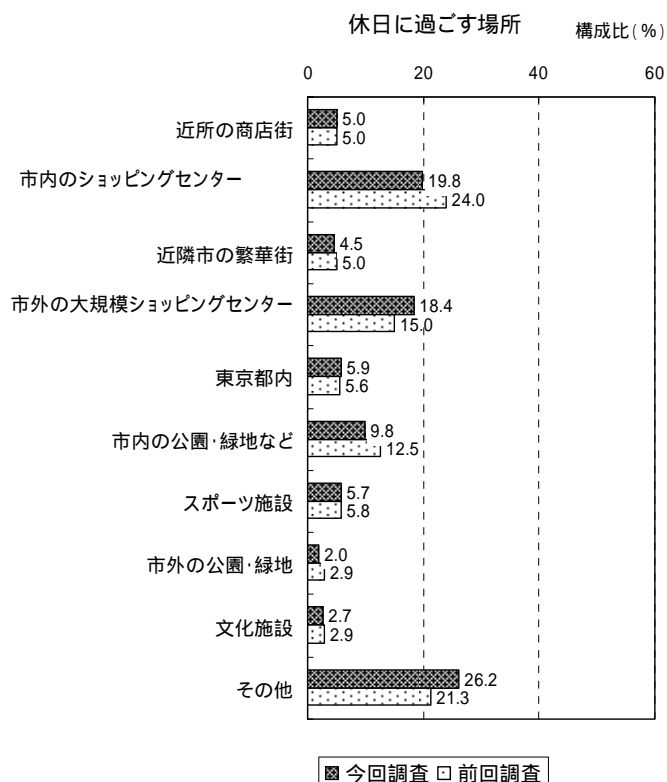
### 家族構成 × 日常の買物場所



### (8) 週末など休日を過ごす場所

「市内のショッピングセンター（ＳＣ）」が 19.8%、「市外の大規模ＳＣ」が 18.4%で、大型商業施設の利用が多い。傾向としては前回の調査結果が約 24.0%と 15.0%であったことから、より遠距離の商業施設に顧客が流失をしている状況が捉えられる。道路の整備の進行、車利用の増加、さらに佐倉市内のＳＣの魅力低下が推察される。

なお「市内の公園・緑地」の利用は 9.8%で、前回の調査よりもやや低下している。



### (1) 週末など休日を過ごす場合、最も利用するところ (SA)

順位	カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1	近所の商店街	139	5.0	5.0
2	市内のショッピングセンター	551	19.8	24.0
3	近隣市の繁華街	125	4.5	5.0
4	市外の大規模ショッピングセンター	512	18.4	15.0
5	東京都内	165	5.9	5.6
6	市内の公園・緑地など	274	9.8	12.5
7	スポーツ施設	158	5.7	5.8
8	市外の公園・緑地	55	2.0	2.9
9	文化施設	75	2.7	2.9
10	その他	734	26.2	21.3
	不明	240	-	-
サンプル数 (%ベース)		3,028	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く

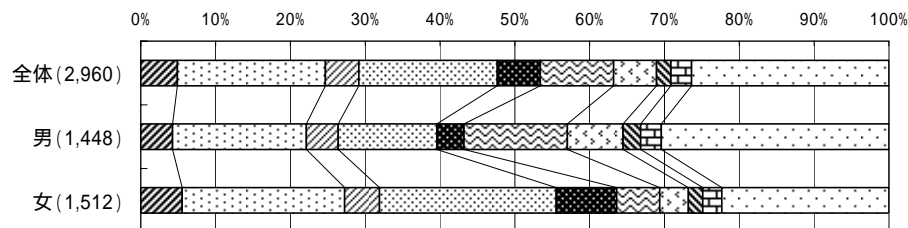
### <クロス集計結果でみた特徴>

性別にみると、男性は「市内のＳＣ」と「市内の公園緑地」の順、女性は「市内のＳＣ」「市外の大規模ＳＣ」の順となった。

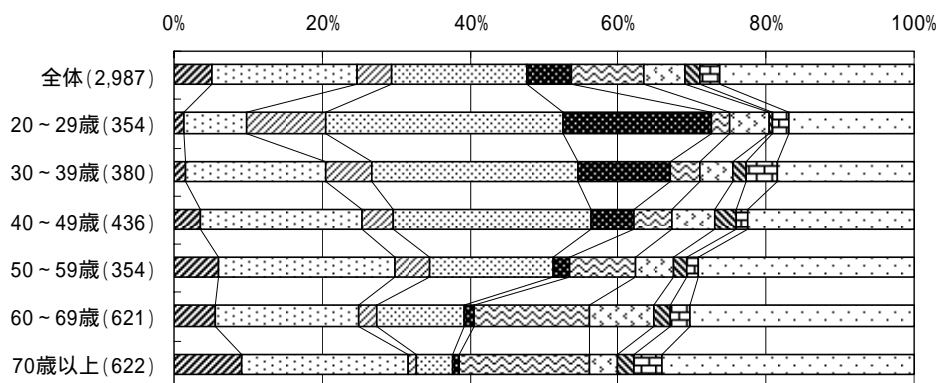
地区別にみると、「市内のＳＣ」の利用が多い地区は志津地区と千代田地区。「都内」へ行く割合は、臼井地区が比較的多いが 10%をきっている。市内の「公園緑地」の利用は、志津地区と臼井地区に多いが 10%程度に止まる。

家族構成別にみると、「夫婦と子供」のいる世帯で週末になると「市外の大規模ＳＣ」に行くことが多いようである。

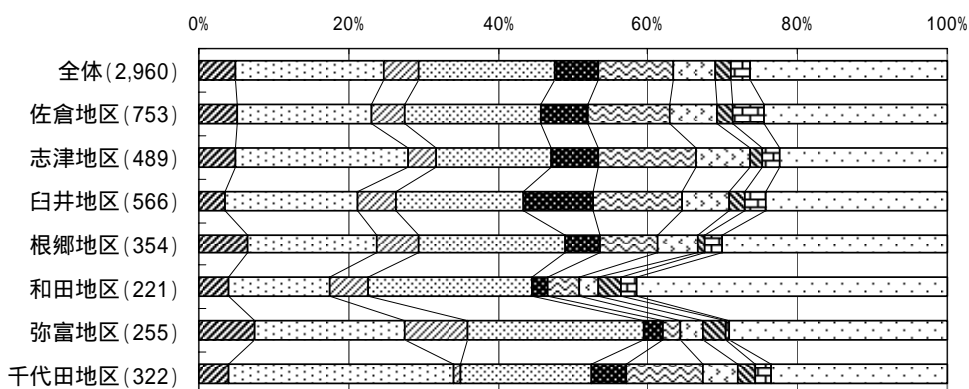
性別 × 休日に過ごす場所



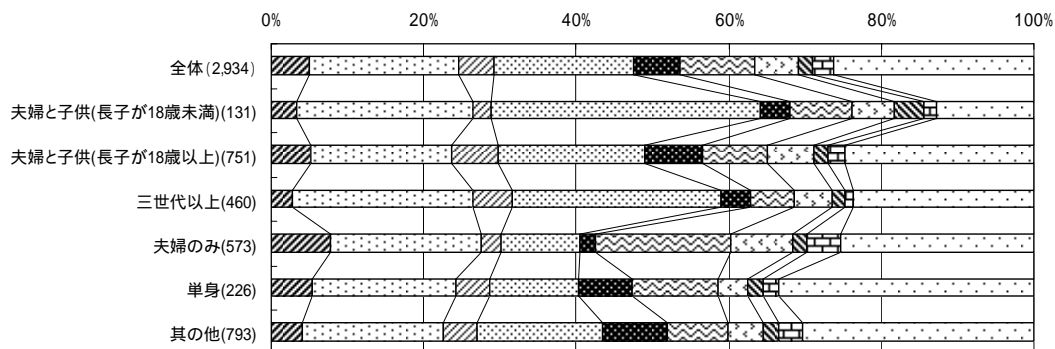
年代 × 休日に過ごす場所



居住地区 × 休日に過ごす場所



家族構成 × 休日に過ごす場所

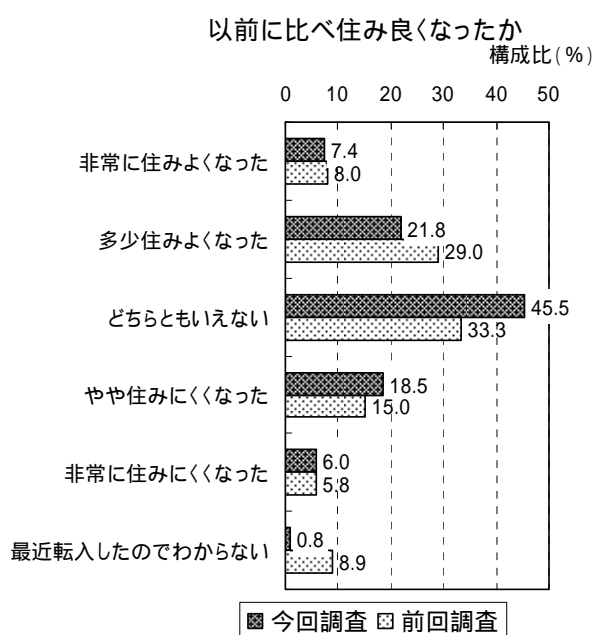


- |          |                    |
|----------|--------------------|
| ▨ 近所の商店街 | □ 市内のショッピングセンター    |
| ▨ 近隣の繁華街 | ▨ 市外の大規模ショッピングセンター |
| ■ 東京都内   | ▨ 市内の公園・緑地など       |
| □ スポーツ施設 | ▨ 市外の公園・緑地         |
| ▨ 文化施設   | □ その他              |

## (9) 佐倉市の住みやすさ

### (9) - 1 5年前と比べた住みやすさ

「どちらともいえない」が45.5%を占め、ウエイトが高い。「非常に住みよくなった」は7.4%、「多少住みよくなった」が21.8%、「住みよくなった」は合計で29.2%、一方、「非常に住みにくくなった」は6.0%、「やや住みにくくなった」は18.5%で、「住みにくくなった」を合計すると24.5%となり、「住みよくなった」が「住みにくくなった」を上回る。しかしながら、前回の調査では「住みよくなった」が37.0%、「住みにくくなった」は20.8%であったことから、住みよさの面での改善スピードは鈍化している。



### (2) 現在お住まいの場所は、以前(5年前くらい)に比べて住みよくなりましたか (SA)

	カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1	非常に住みよくなった	217	7.4	8.0
2	多少住みよくなった	642	21.8	29.0
3	どちらともいえない	1,339	45.5	33.3
4	やや住みにくくなった	545	18.5	15.0
5	非常に住みにくくなった	178	6.0	5.8
6	最近転入したのでわからない	25	0.8	8.9
	不明	82	-	-
	サンプル数 (%ベース)	3,028	100.0	100.0

構成比\*: 不明を除く

#### <クロス集計結果でみた特徴>

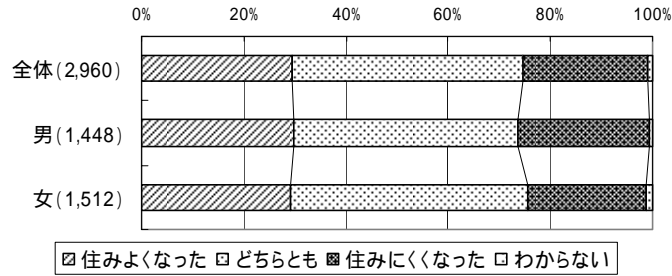
性別にみると、男女ともに同様の意見である。

年代別にみると、40歳代で「住みにくくなった」という回答が多い。

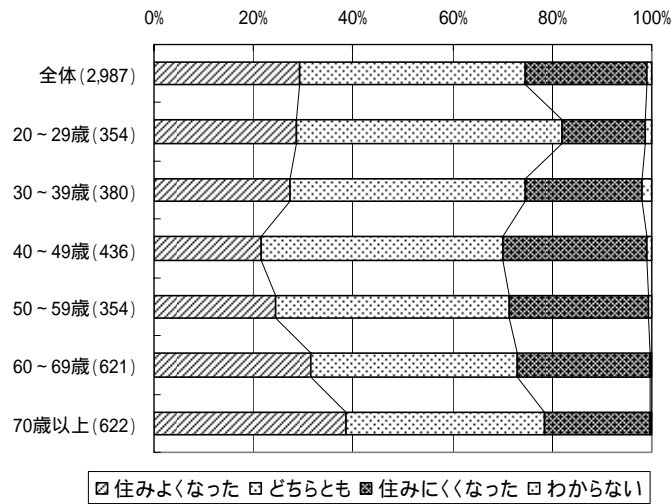
地区別にみると、「住みよくなった」との回答は志津地区に多い。前回調査では、各地区で「住みよくなった」という回答があったが、今回の調査では減少した。

一方、「住みにくくなった」という回答が多い地区は、和田地区と弥富地区であった。この結果は前回の調査でも同様で、両地区の居住環境悪化には特に注目する必要がある。

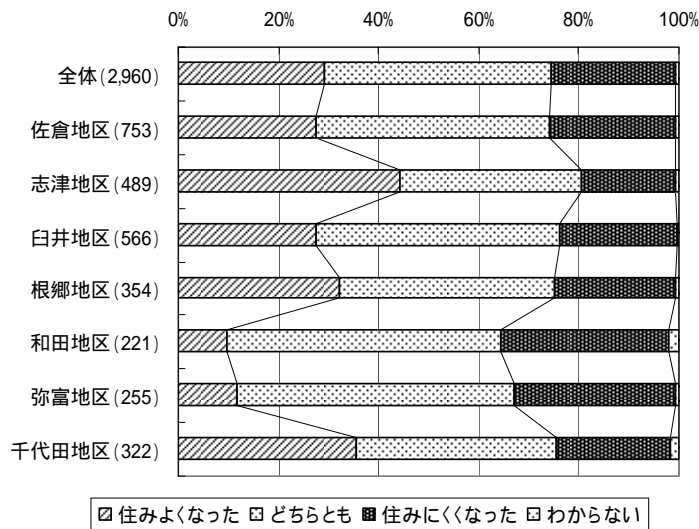
### 性別×住み良くなったか



### 年代×住み良くなったか

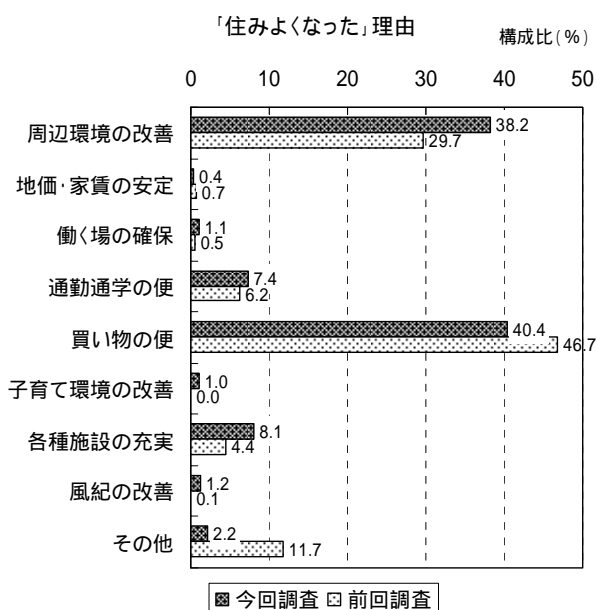


### 居住地区×住み良くなったか



## (9) - 2 「住みよくなった」その理由

「買い物の便」がよくなったが40.4%、「周辺環境の改善」が38.2%、「各種施設の充実」はぐっと下がって8.1%となっている。前回の調査では各々約47%、39%、4%であったことから、特に「周辺環境の改善」が進み、「各種施設の充実」もやや進んだものと判断される。



## (2) 「非常に住みよくなった」「多少住みよくなった」と回答した理由(SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 周辺環境の改善	310	38.2	29.7
2 地価・家賃の安定	3	0.4	0.7
3 働く場の確保	9	1.1	0.5
4 通勤通学の便	60	7.4	6.2
5 買い物の便	328	40.4	46.7
6 子育て環境の改善	8	1.0	-
7 各種施設の充実	66	8.1	4.4
8 風紀の改善	10	1.2	0.1
9 その他	17	2.2	11.7
不明	48	-	-
サンプル数 (%ベース)	859	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く、

※前回の「商業等の発展」8.8%を含む。

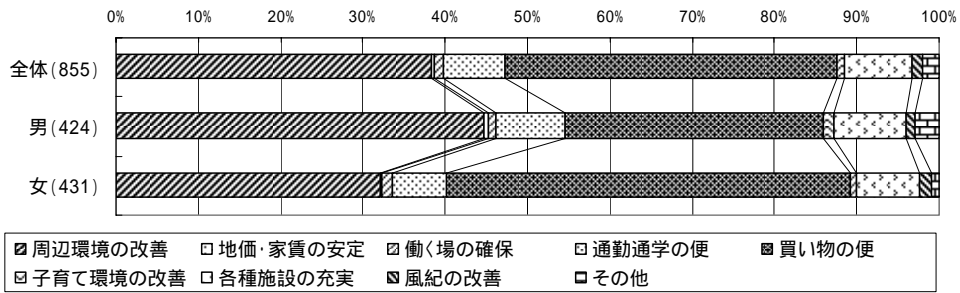
### <クロス集計結果でみた特徴>

性別にみると、男性では「周辺環境」の改善が第1位、女性は「買い物の便」が第1位。この結果は前回調査と同様である。

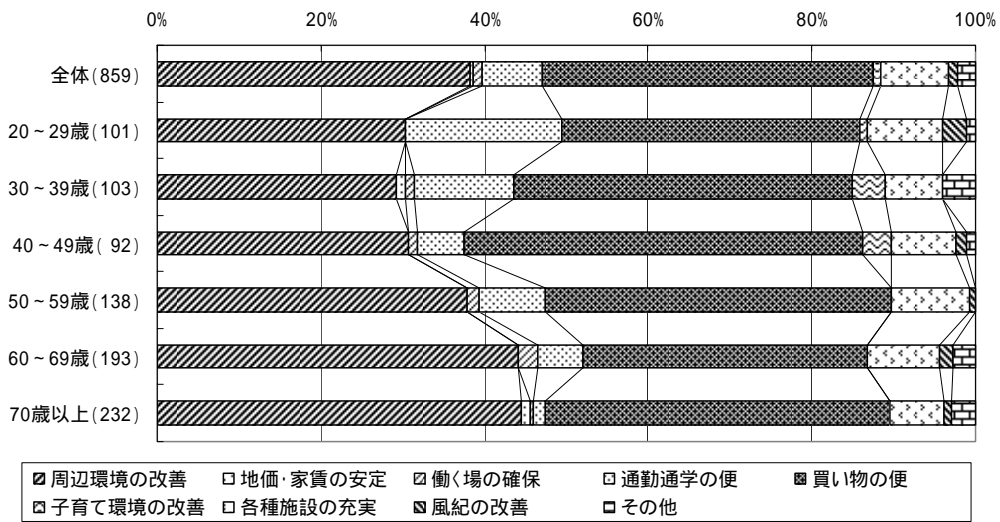
地区別にみると、前回調査で弥富地区は「周辺環境の改善」が1位、「買い物の便」が第2位であったが、今回は逆転した。千代田地区では、「買い物の便」が過半数でその向上が伺える。



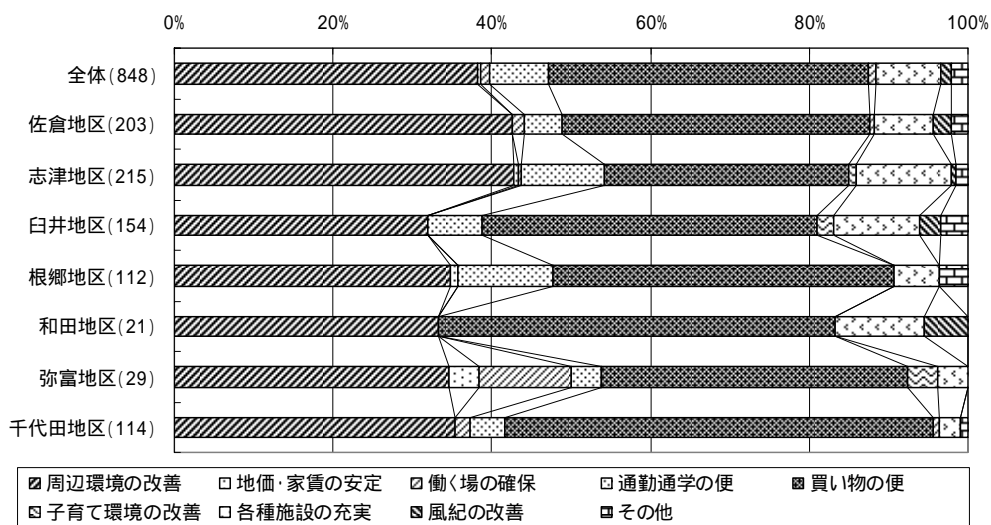
性別 × 住み良くなった理由



年代 × 住み良くなった理由



居住地区 × 住み良くなった理由

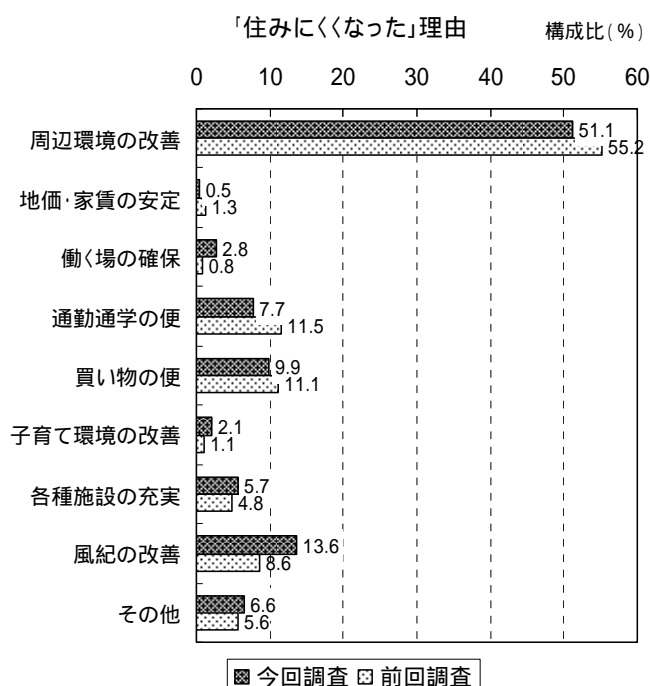


### (9) - 3 「住みにくくなった」その理由

「周辺環境の改善」が51.1%、「風紀の改善」13.6%、「買い物の便」が9.9%となった。

「周辺環境の改善」に関しては、「住みよくなった理由」でも上位となっており（P19参照）、市民の判断が分かれている様子が見える。

また、前回調査で「風紀の改善」は約9%にとどまっていたが、今回は13.6%に増加していることから、今後の大きな改善課題であると思われる。



### (2) 「やや住みにくくなった」「非常に住みにくくなった」と回答した理由(SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 周辺環境の改善	324	51.1	55.2
2 地価・家賃の安定	3	0.5	1.3
3 働く場の確保	18	2.8	0.8
4 通勤通学の便	49	7.7	11.5
5 買い物の便	63	9.9	11.1
6 子育て環境の改善	13	2.1	1.1
7 各種施設の充実	36	5.7	4.8
8 風紀の改善	86	13.6	8.6
9 その他	42	6.6	5.6
不明		-	-
サンプル数 (%ベース)	723	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く

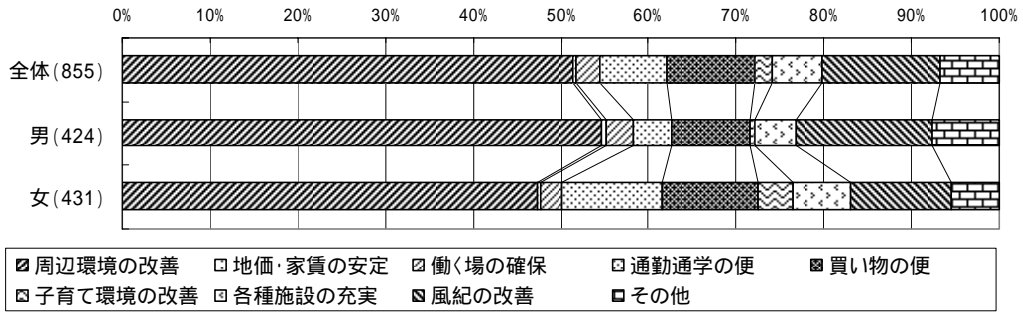
#### <クロス集計結果でみた特徴>

性別にみると、男女ともに「周辺環境の悪化」が挙げられ、その改善を期待する向きが多いが、男性では顕著である。

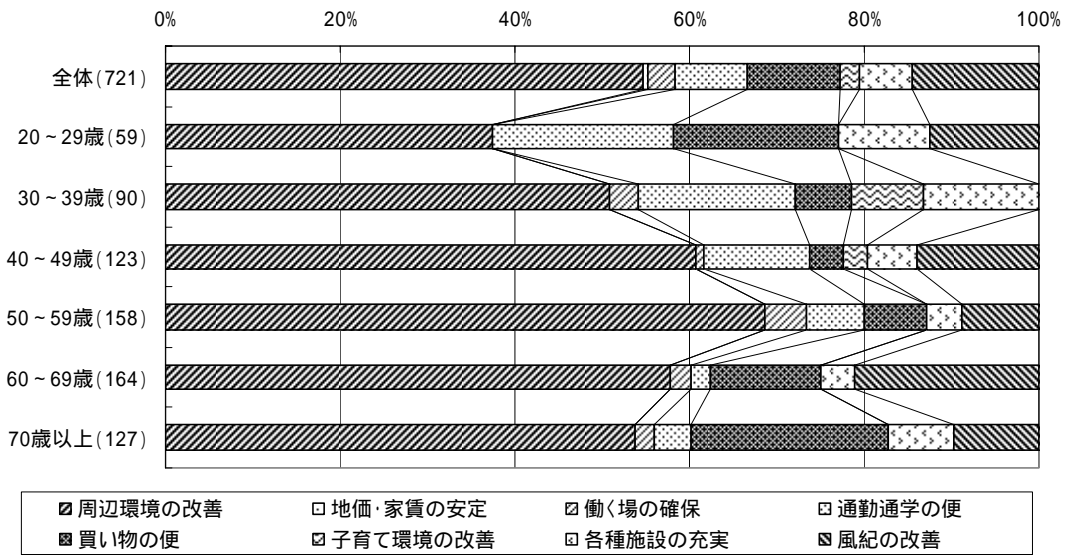
年代別にみると、特に40～50歳代で「周辺環境の悪化」が多い。

地区別にみると、臼井地区と根郷地区では、「周辺環境の悪化」改善の遅れがとらえられた。また和田地区と弥富地区では、「通勤通学の便」の改善が進んでいないことがうかがえた。

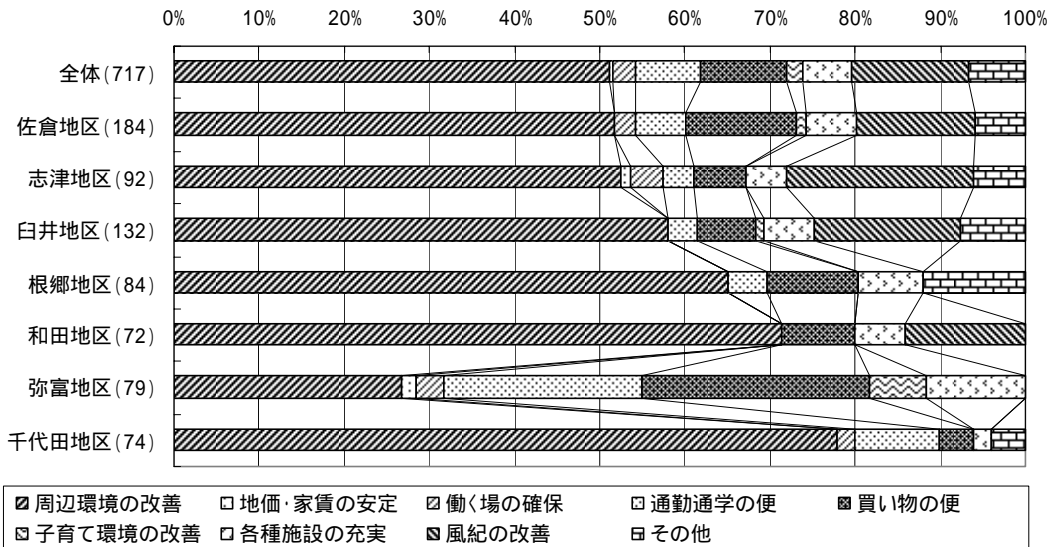
性別×住みにくなった理由



年代×住みにくなった理由



居住地区×住みにくなった理由

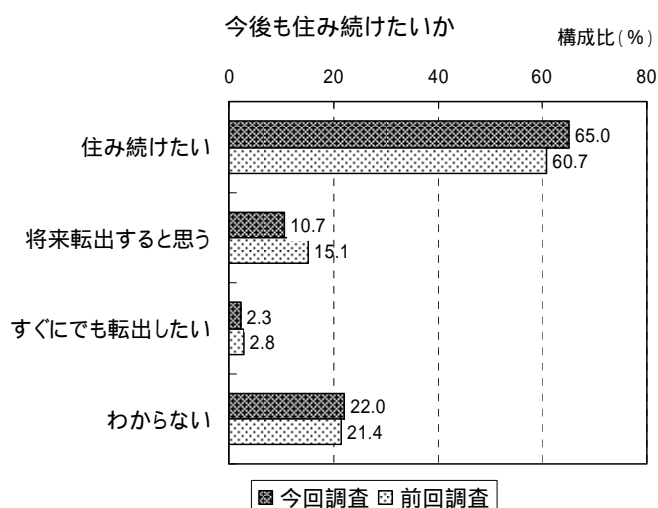


## (10) 今後の定住の意向

### (10) - 1 「すみ続けたい」か否か

回答者のうち 65.0%の人は「住み続けたい」意向である。「将来転出すると思う」は 10.7%に止まっている。

前回調査では「住み続けたい」が約 61%で、「将来転出すると思う」は約 15%であったことから、定住志向は強まっていると判断される。



### (3) 今後も現在のところに住み続けたいと思いますか (SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 住み続けたい	1,926	65.0	60.7
2 将来転出すると思う	317	10.7	15.1
3 すぐにも転出したい	67	2.3	2.8
4 わからない	652	22.0	21.4
不明	66	-	-
サンプル数 (%ベース)	3,028	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く

#### <クロス集計結果でみた特徴>

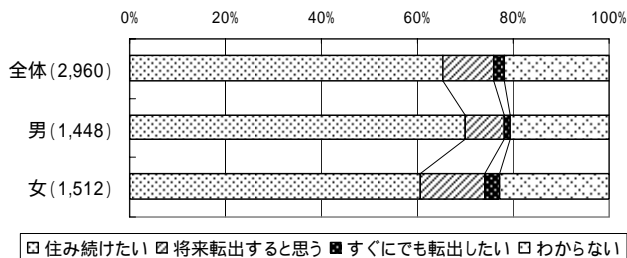
性別にみると、男性の定住志向が女性を上回った。前回調査の傾向と同様である。

年代別にみると、高齢者では住み続ける意向が強いが、20歳代においては転出の意向が強い。

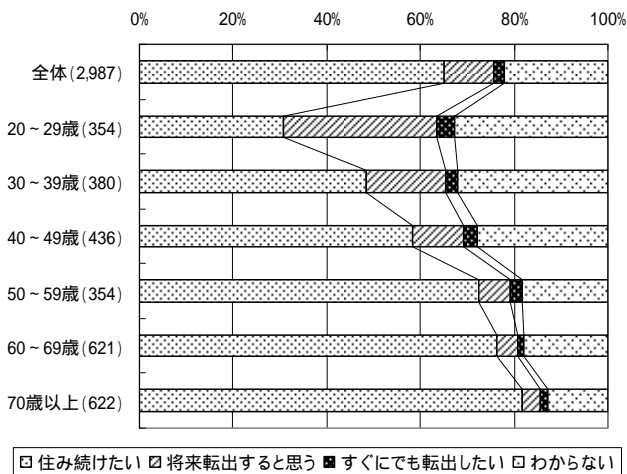
地区別にみると、和田地区と弥富地区で「住み続けたい」人が約7割、古くからの居住世帯の多いこと、農林業の多いこともその理由と考えられる。

家族構成別にみると、「夫婦と子供(長子が18歳以上)」の世帯で、「将来転出すると思う」が平均値をやや越えて多い。

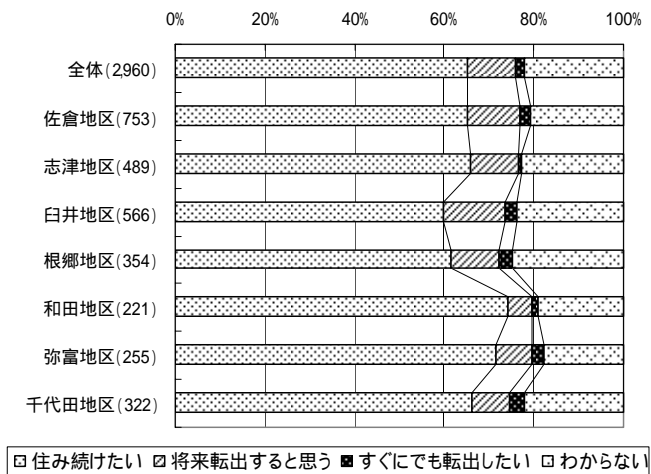
### 性別 × 住み続けたいか



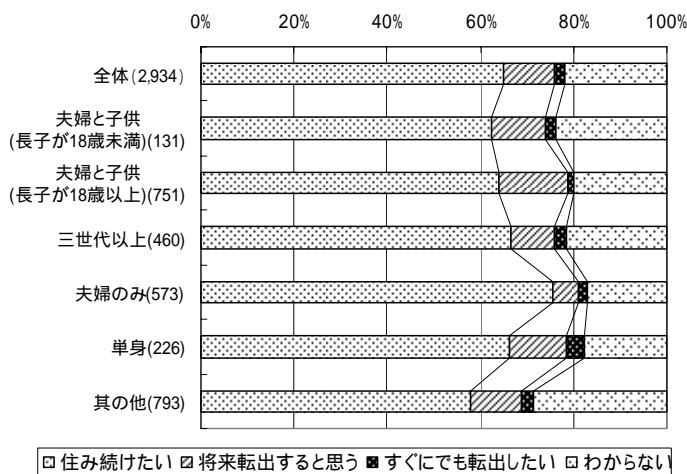
### 年代 × 住み続けたいか



### 居住地区 × 住み続けたいか



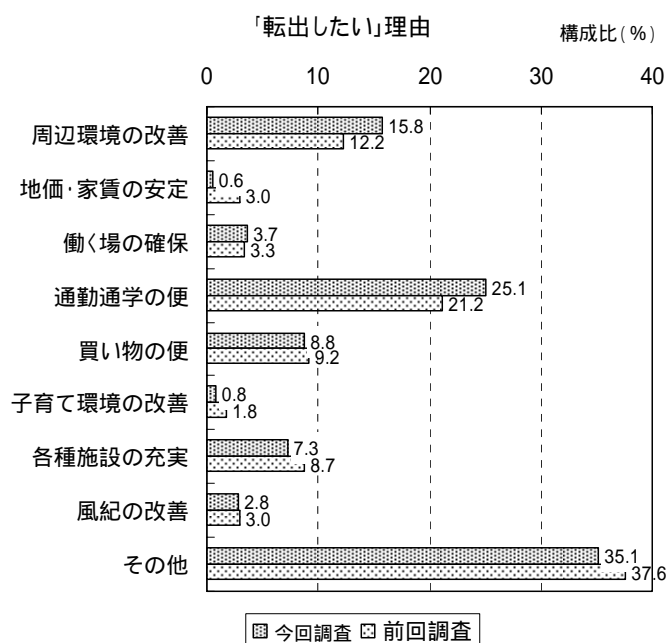
### 家族構成 × 住み続けたいか



(10) - 2 「将来転出したい」その理由

「通勤通学の便」が悪いのが 25.1%、「周辺環境の改善」が必要 15.8%、「各種施設の充実」が 7.3%の順となっている。

前回の調査では、各々約 21%、12%、9%であったことから、通勤・通学の便に関しては目立った改善の無いことがうかがえる。



(3) 「将来転出すると思う」「すぐにでも転出したい」と回答された方 (SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 周辺環境の改善	56	15.8	12.2
2 地価・家賃の安定	2	0.6	3.0
3 働く場の確保	13	3.7	3.3
4 通勤通学の便	89	25.1	21.2
5 買い物の便	31	8.8	9.2
6 子育て環境の改善	3	0.8	1.8
7 各種施設の充実	26	7.3	8.7
8 風紀の改善	10	2.8	3.0
9 その他	124	35.1	37.6
不明	30	-	-
サンプル数 (%ベース)	384	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く

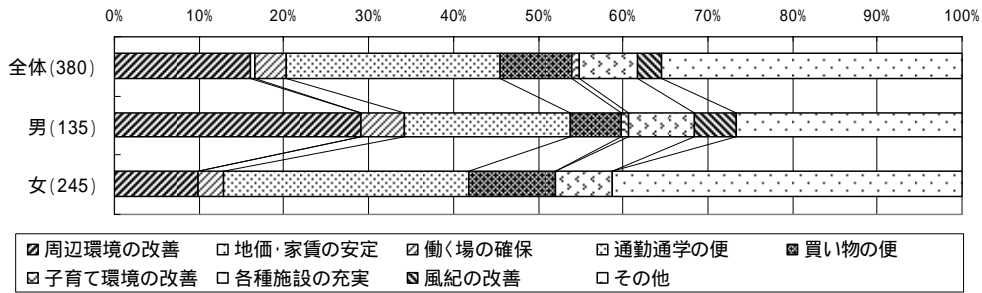
<クロス集計結果でみた特徴>

性別にみると、男性では「周辺環境の悪化」、女性では「通勤通学の便」を問題としている。これは前回調査結果とほぼ同様で、生活の環境改善と交通諸条件の改善は今後の大きな課題であると考えられる。

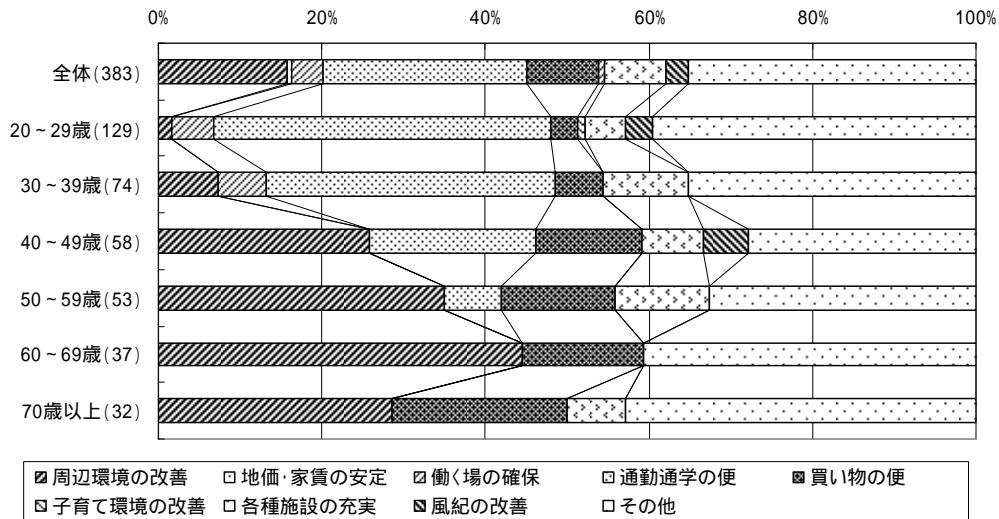
年代別にみると、20～30歳代の比較的若い層では、「通勤通学の便」の悪さを将来転出したい理由として挙げた方が多い。

家族構成別にみると「夫婦と子供(長子が18歳以上)」の世帯では、「通勤通学の便」の悪い点を挙げた方が多い。

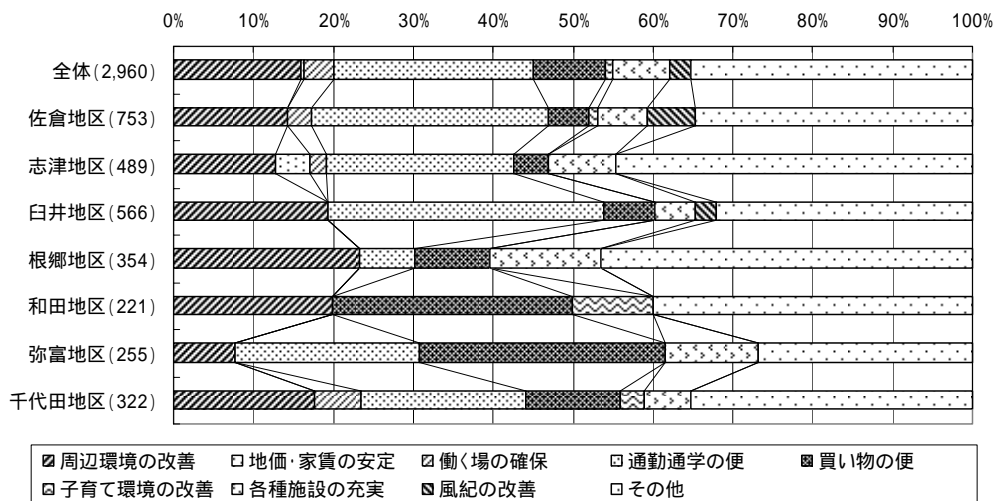
性別 × 転出したい理由



年代 × 転出したい理由



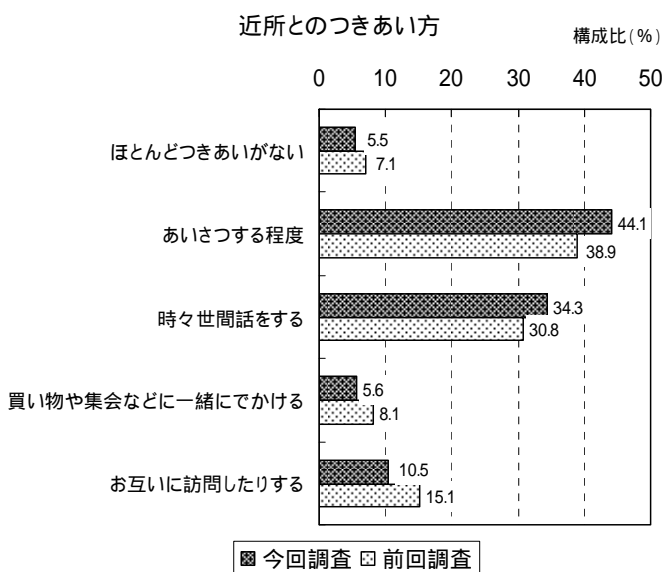
居住地区 × 転出したい理由



(11) 周辺の環境や施設について

(11) - 1 近所との付き合いかた

「あいさつする程度」が 44.1%、「ときどき世間話をする」が 34.3%、「お互いに訪問したりする」は 10.5%となっている。前回の調査から、親密な付き合いは減ったがあいさつする程度の付き合いは増えている。



(3) 近所の方と、どのようなつきあいをしていますか (SA)

	カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1	ほとんどつきあいがない	157	5.5	7.1
2	あいさつする程度	1,264	44.1	38.9
3	時々世間話をする	982	34.3	30.8
4	買い物や集会などに一緒にでかける	161	5.6	8.1
5	お互いに訪問したりする	301	10.5	15.1
	不明	163	-	
	サンプル数 (%ベース)	3,028	100.0	100.0

構成比\*：不明を除く、前回調査の構成比の修正あり。

<クロス集計結果でみた特徴>

性別にみると、男性で「あいさつする程度」が約半数、これは女性の割合を超える。「世間話」や「お宅訪問」等、密度の濃い付き合いは、女性の方が多い。

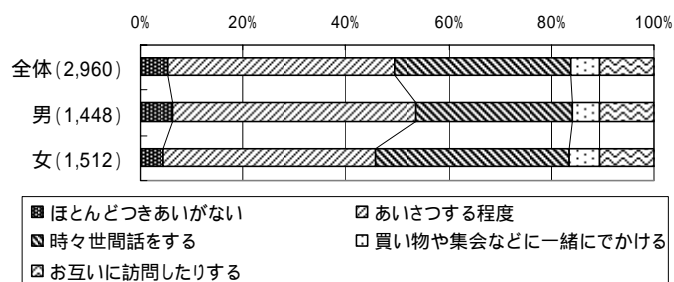
年代別にみると、50歳以上では、「お互いに訪問する」傾向が強まるが、それでも1割強に止まっている。また、高齢者の方がより深い近所づきあいをする傾向がある。

地区別では和田地区、弥富地区、千代田地区は「時々世間話をする」や「訪問したりする」方が多く、近所づきあいの濃密さがうかがえる。

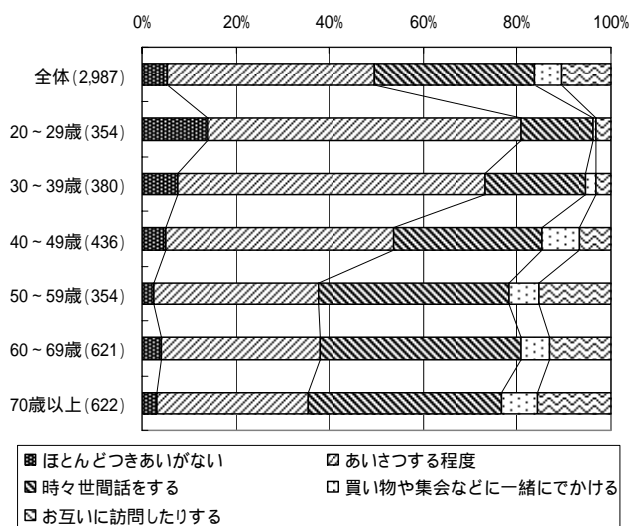
職業別にみると、「農林業」、「自営工業」、「自営商業・サービス業」では、やはり地付きの事業所として、「世間話」や「買い物を一緒に」など近所づきあいの密度の濃さが感じられた。



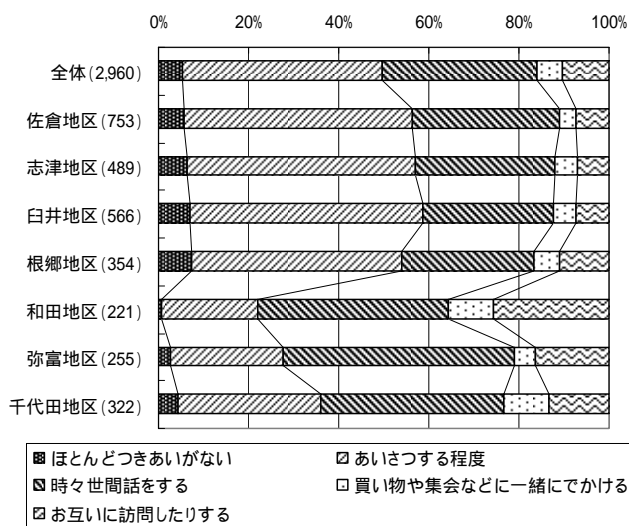
### 性別 × 近所との付き合い方



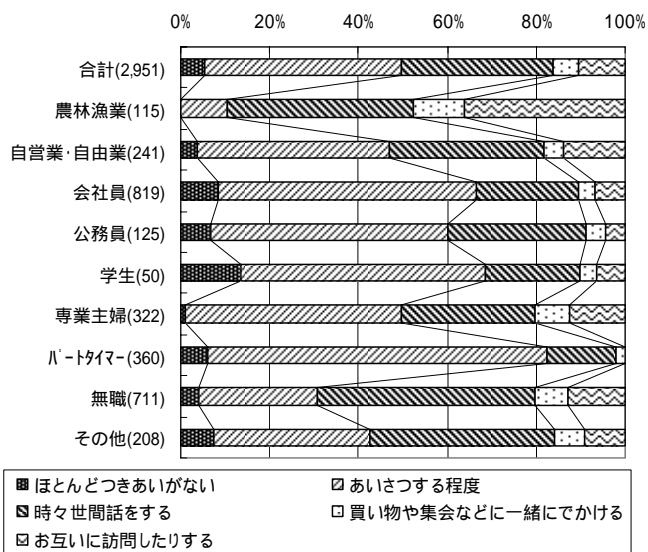
### 年代 × 近所との付き合い方



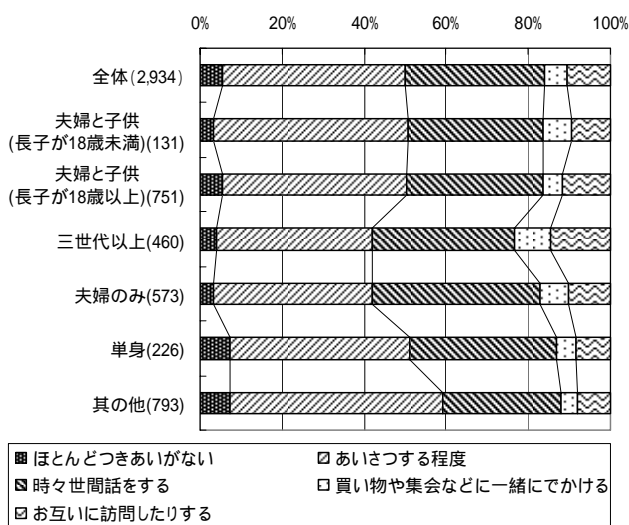
### 居住地区 × 近所との付き合い方



### 職業 × 近所との付き合い方



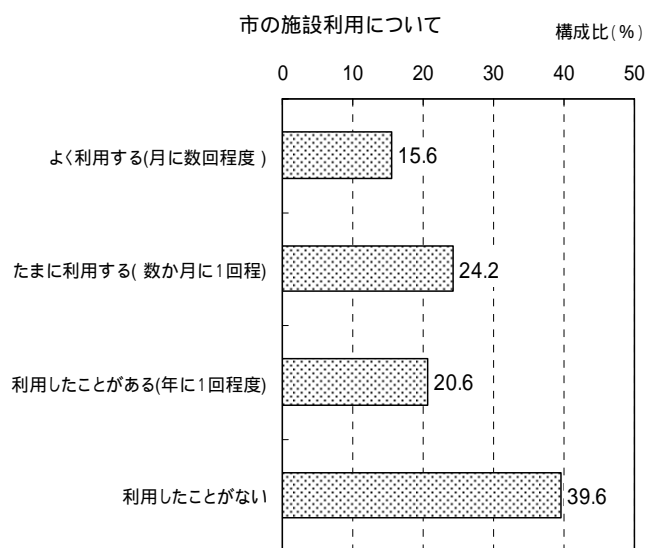
### 家族構成 × 近所との付き合い方



(11) - 2 市の施設利用について

◇過去3年間の市の施設利用状況

「よく利用する」が15.6%、「たまに利用する」は24.2%、一方、「利用したことがない」は39.6%に達した。「利用」と「未利用」の割合はほぼ半々であった。今後、未利用者に対していかにPRを行い、利用を促進するかが課題となっている。



(4) 過去3年間に市の施設を利用したことがありますか(SA)

	カテゴリ	件数	構成比* (%)
1	よく利用する(月に数回程度)	461	15.6
2	たまに利用する(数か月に1回程)	713	24.2
3	利用したことがある(年に1回程程度)	609	20.6
4	利用したことがない	1,169	39.6
	不明	76	-
サンプル数 (%ベース)		3,028	100.0

構成比\*：不明を除く

<クロス集計結果でみた特徴>

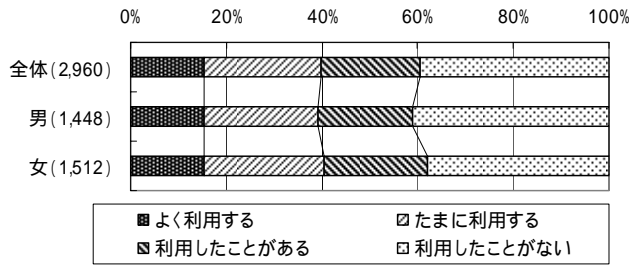
性別にみると、男女ともほとんど同様の傾向である。

年代別にみると、50歳代以上の方が比較的多く利用している。

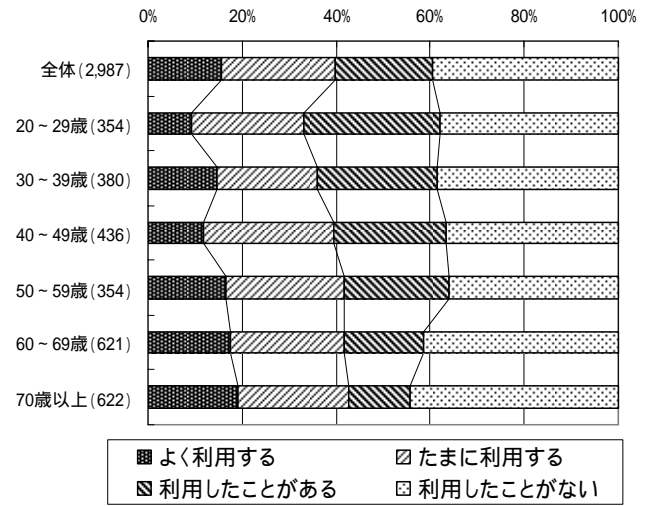
地区別にみると、佐倉地区、弥富地区で「利用したことがない」人が特に多く、4割程度に上っている。

職業別にみると、専業主婦と無職の施設利用が比較的多い。「会社員」と「自営業・自由業」の人の利用が少ないことから、その利用促進が課題である。

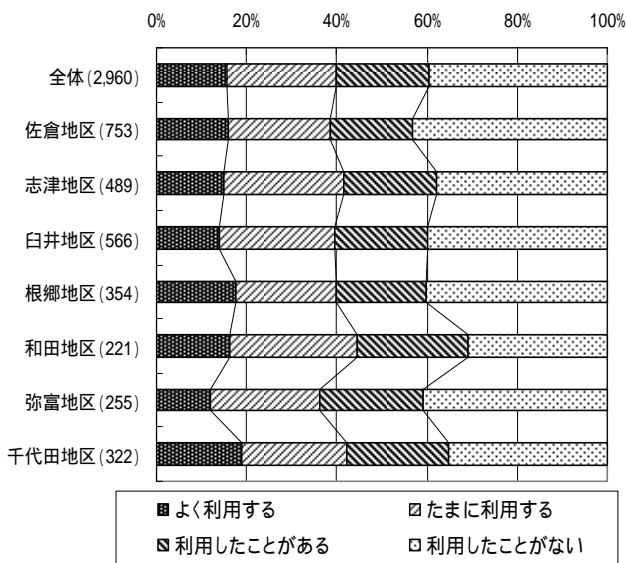
性別 × 市の施設利用



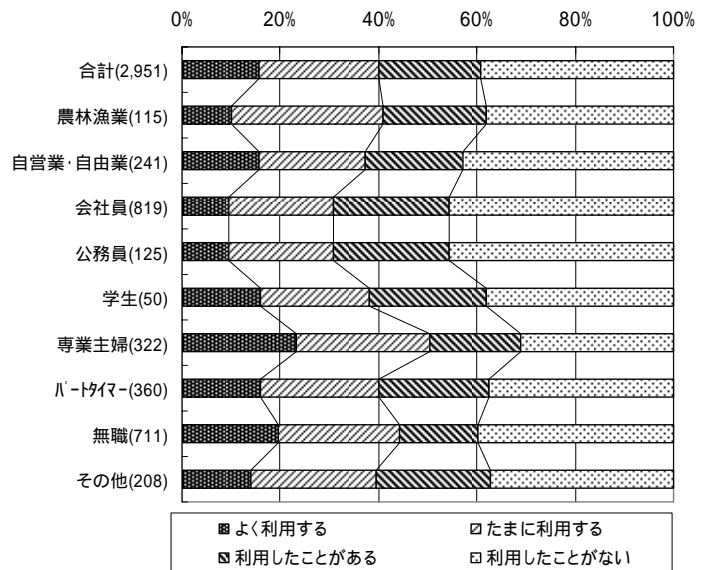
年代 × 市の施設利用



居住地区 × 市の施設利用



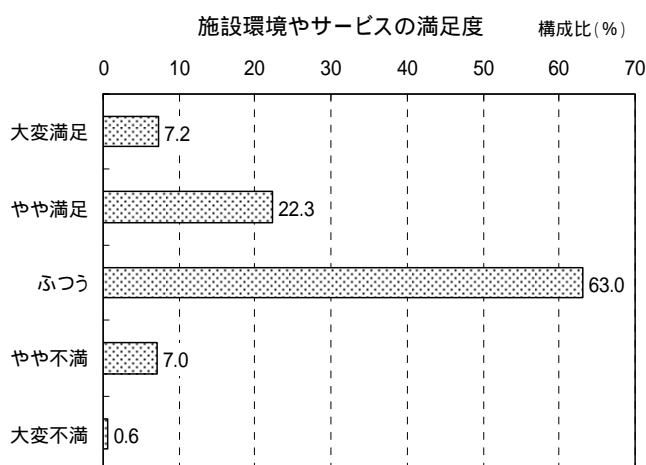
職業 × 市の施設利用



## ◇市の施設利用の満足度

利用した際の満足度に関しては「大変満足」が7.2%、「やや満足」が22.3%で合計29.5%、一方「やや不満」は7.0%、「大変不満」が0.5%で合計7.5%であった。

施設利用の不満感は少ないといえるが、「普通」と答えた人が6割以上であり、今後この意見の人々をいかに満足させるか、その判断の背景を捉えた対応が課題といえる。



### (4) 利用された施設の施設環境やサービスの内容は満足できましたか (SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)
1 大変満足	126	7.2
2 やや満足	393	22.3
3 ふう	1,110	63.0
4 やや不満	123	7.0
5 大変不満	10	0.5
不明	21	-
サンプル数 (%ベース)	1,783	100.0

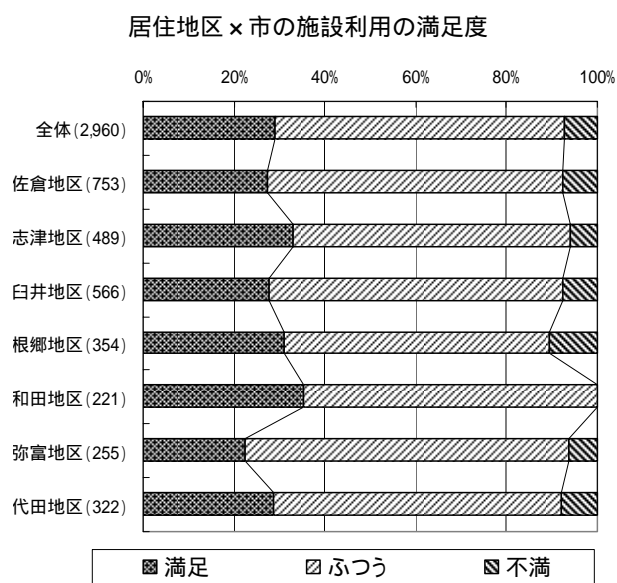
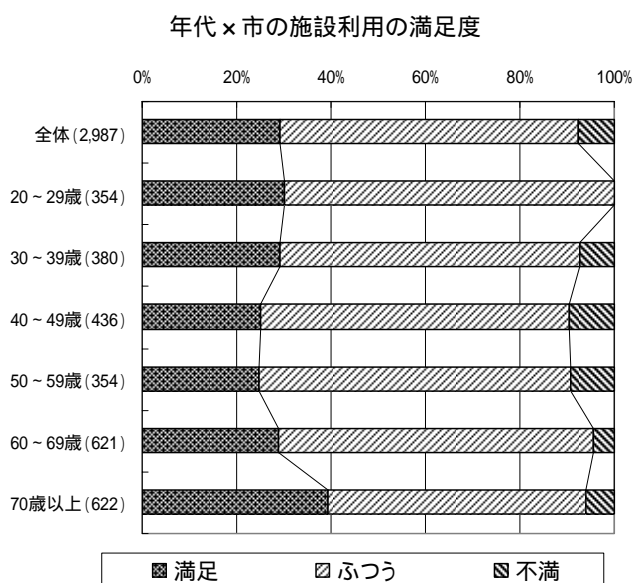
構成比\*：不明を除く

### <クロス集計結果でみた特徴>

年代別にみると、70歳以上に満足感が高い。

地区別にみると、志津地区と和田地区で「やや満足」とする方が多く、根郷地区で「やや不満」との回答が比較的多かった。

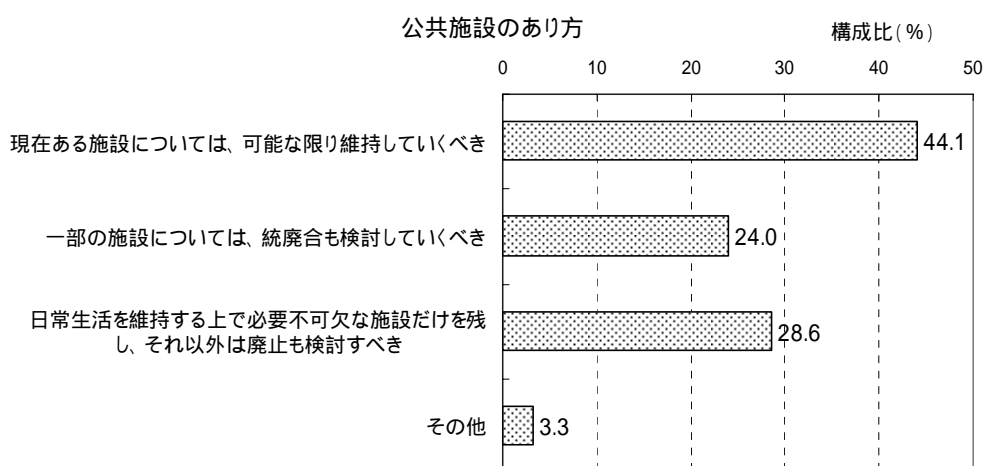
職業別にみると、「学生」と「専業主婦」で「やや不満」とする意見が比較的多い。



## ◇公共施設の今後について

「可能な限り維持」との回答が 44.1%と最も多かったが、「必要不可欠な施設だけ、それ以外は廃止も」が 28.6%、「統廃合を検討」とする意見が 24.0%見られたことから、半数以上（52.6%）は各施設の統廃合を検討すべきとの意見である。

自治体の財政基盤が脆弱化する背景をうけ、施設運営の意義が問われる時代になっている。



### (4) お住まいの地域にある公共施設について、今後どのようにしていくべきだと思いますか (SA)

	カテゴリ	件数	構成比* (%)
1	現在ある施設については、可能な限り維持していくべき	1,223	44.1
2	一部の施設については、統廃合も検討していくべき	666	24.0
3	日常生活を維持する上で必要不可欠な施設だけを残し、それ以外は廃止も検討すべき	793	28.6
4	その他	91	3.3
	不明	255	-
サンプル数 (%ベース)		3,028	100.0

構成比\*：不明を除く

#### <クロス集計結果でみた特徴>

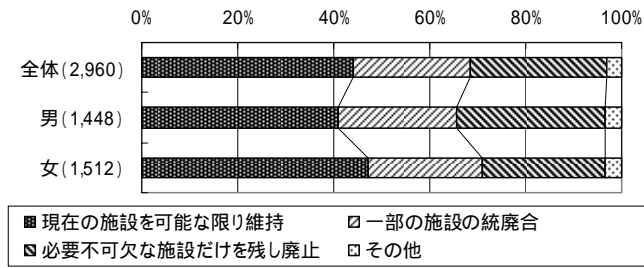
性別にみると、男性の方が「廃止も検討すべき」の意向が強い。

年代別にみると、30～40歳代の方は、「廃止も検討すべき」との意見が多い。

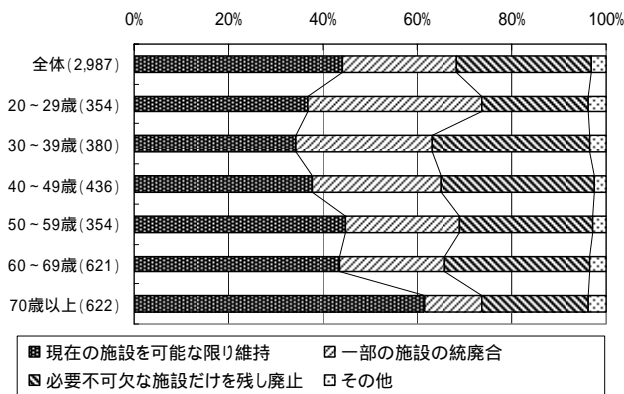
職業別で「廃止も検討すべき」との意見が比較的多かったのは、「自営工業」と「会社員」「学生」であった。

地区別にみると、施設統廃合の強化や廃止の意見は佐倉地区、臼井地区に多く、和田地区と弥富地区に於いては「可能な限り維持して行くべき」との意見が多く見られた。

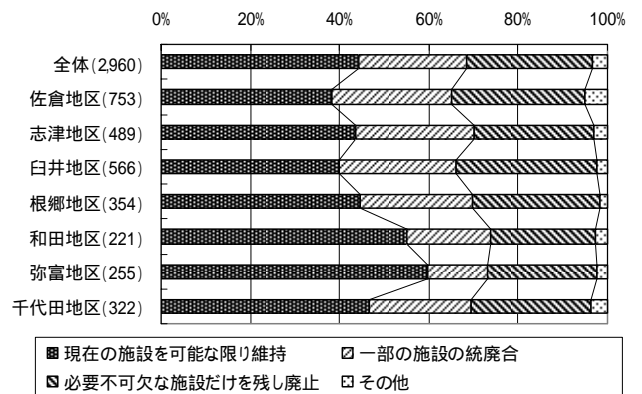
### 性別 × 公共施設のあり方



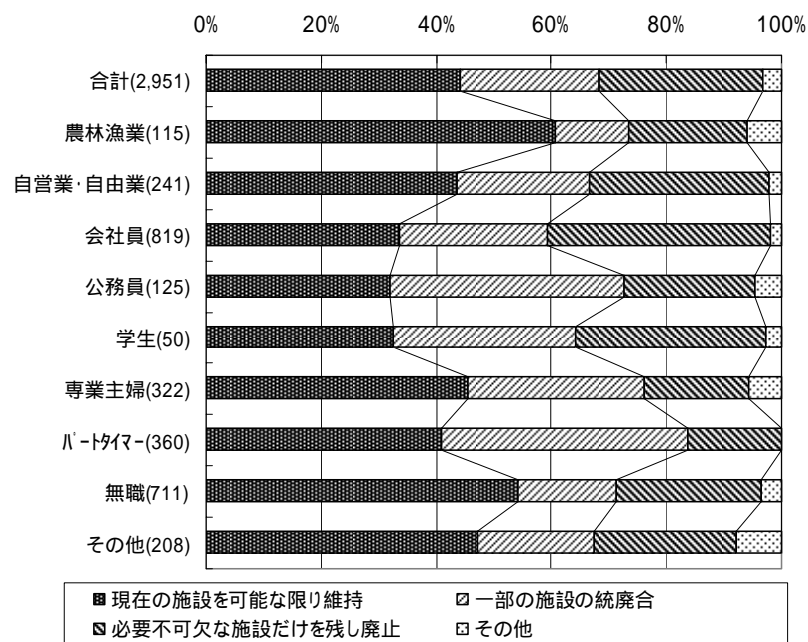
### 年代 × 公共施設のあり方



### 居住地区 × 公共施設のあり方

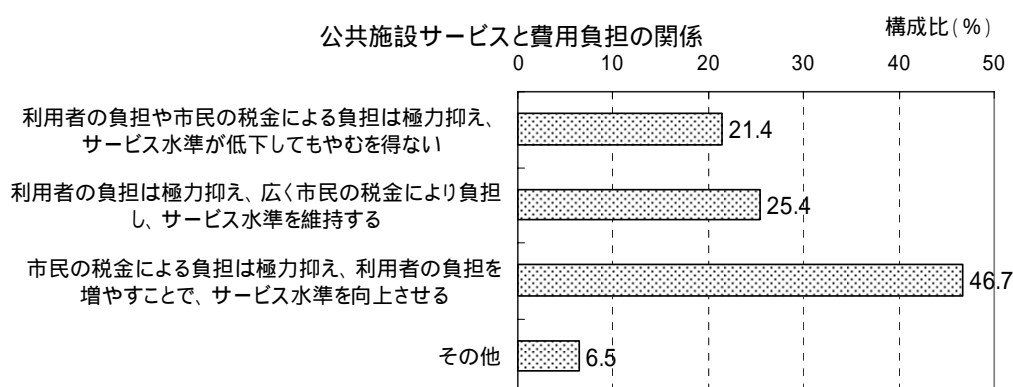


### 職業 × 公共施設のあり方



## ◇公共施設の利用と費用の負担について

費用の負担に関しては「税負担を抑え利用者負担を増加・サービス水準を向上」が最も多く 46.7%、「利用者負担抑制、ひろく市民の税金による負担増・サービス水準を維持」が 25.4%、「税の負担抑制、サービス水準低下やむなし」が 21.4%となった。利用者負担増の受益者の責任明確化の意識を反映したものと判断される。



### (4) 財政状況が厳しい中、今後の公共施設サービスと費用負担の関係はどうあるべきだと思いますか (SA)

	カテゴリ	件数	構成比* (%)
1	利用者の負担や市民の税金による負担は極力抑え、サービス水準が低下してもやむを得ない	595	21.4
2	利用者の負担は極力抑え、広く市民の税金により負担し、サービス水準を維持する	705	25.4
3	市民の税金による負担は極力抑え、利用者の負担を増やすことで、サービス水準を向上させる	1,296	46.7
4	その他	179	6.5
	不明	253	-
サンプル数 (%ベース)		3,028	100.0

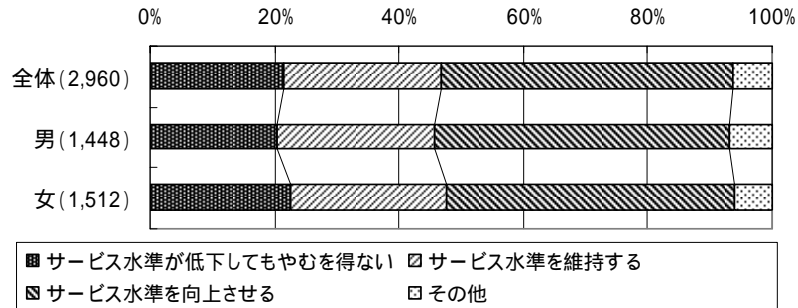
構成比\*: 不明を除く

#### <クロス集計結果でみた特徴>

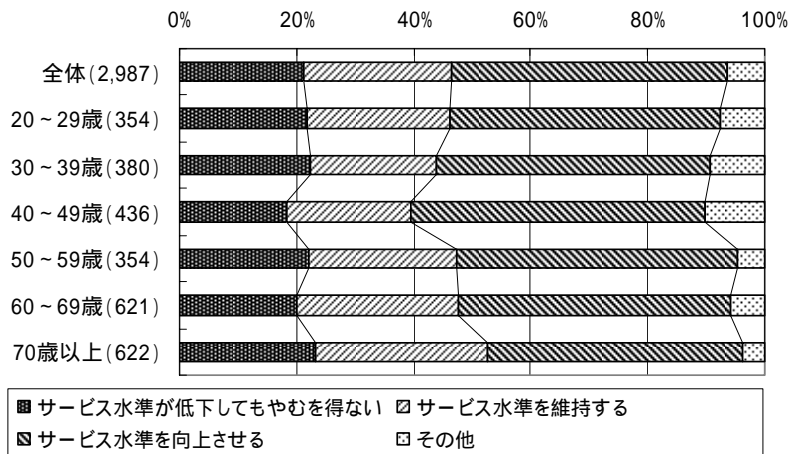
年代別にみると、30歳代と40歳代の人で「利用者負担増・サービス水準を向上」との意見が比較的多かった。

地区別にみると、和田地区で「サービス水準が低下してもやむを得ない」との意見がやや多い。

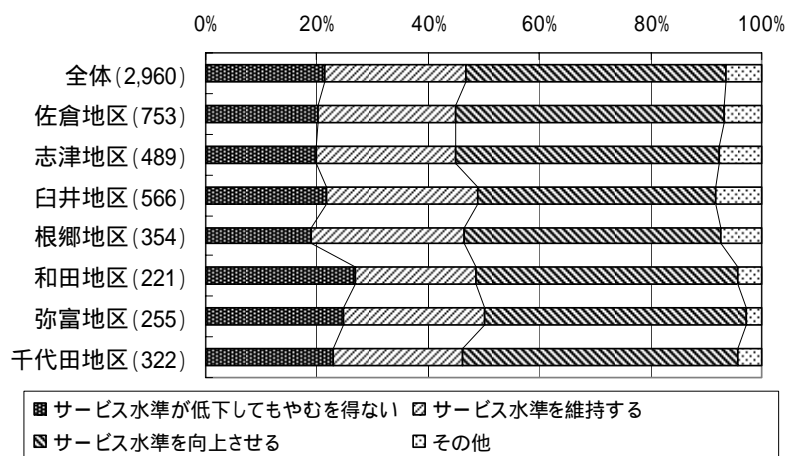
### 性別 × 公共施設サービスと費用負担



### 年代 × 公共施設サービスと費用負担



### 居住地区 × 公共施設サービスと費用負担



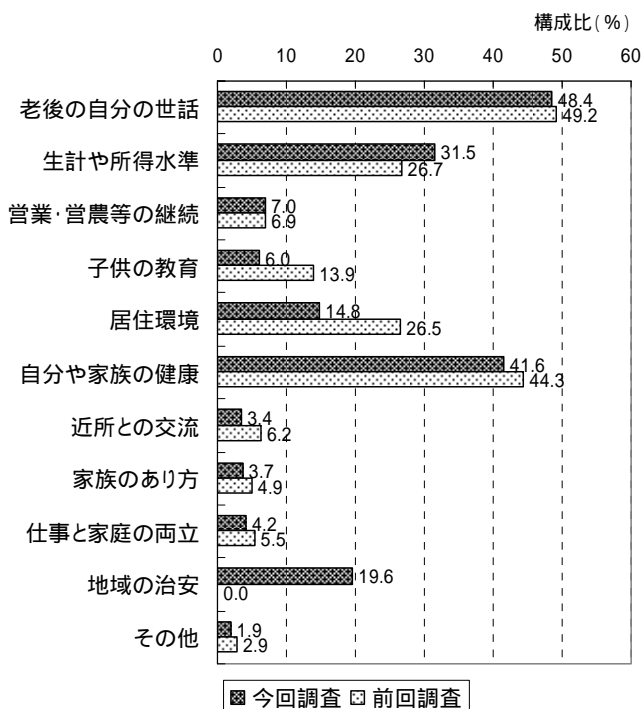


## (12) 今後の不安について

最も不安を感じることは第1位が「老後の自分の世話」48.4%、第2位は「自分や家族の健康」で41.6%、「生計や所得水準」が31.5%、「地域の治安」19.6%と続く。

前回調査結果とほぼ同様な数値が捉えられた。

今後最も不安に感じるもの



## (5) これから先、あなたが最も不安に感じるものは何ですか (MA)

	カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1	老後の自分の世話	1,428	48.4	49.2
2	生計や所得水準	930	31.5	26.7
3	営業・営農等の継続	207	7.0	6.9
4	子供の教育	177	6.0	13.9
5	居住環境	437	14.8	26.5
6	自分や家族の健康	1,229	41.6	44.3
7	近所との交流	100	3.4	6.2
8	家族のあり方	108	3.7	4.9
9	仕事と家庭の両立	125	4.2	5.5
10	地域の治安	578	19.6	
11	その他	56	1.9	2.9
	不明	75		
	サンプル数(%ベース)	3,028	2,953.0	187.0

構成比\*：不明を除く

### <クロス集計結果でみた特徴>

性別にみると、男女の回答の差異はわずかであった。

年代別にみると、20、30歳代の比較的若い層は、「生計や所得水準」に対する不安感が強く、30歳代では「子供の教育」が、40、50歳代では「居住環境」に不安が比較的多くなっている。70歳以上の年代では、約7割が老後に不安を感じている。

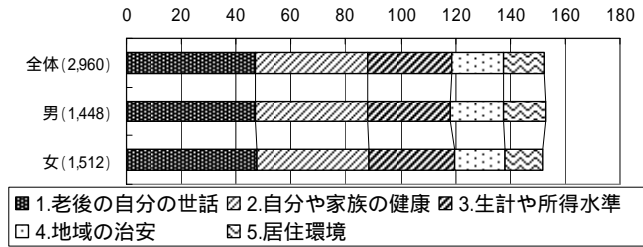
また、50歳代以上で「老後の自分の世話」と「自分や家族の健康に対する不安感」が平均値を大きく上回った。

地区別にみると、佐倉地区と志津地区の両地区で「老後の自分の世話」に不安が多く、和田と弥富では「営業・営農等の継続」について不安感を持っている。

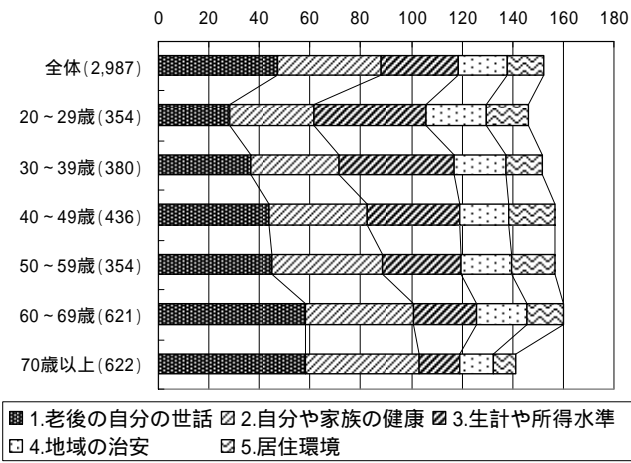
また、和田地区では、「子供の教育」についても不安が比較的多いようである。

職業別にみると、「農林漁業」では「営業・営農等の継続」に4割程度の方が不安を持ち、会社員では「老後の自分の世話」、「生計や所得水準」に対して不安が大きいようである。「専業主婦」では「自分や家族の健康」に不安を持ち、「パートタイマー」では「生計や所得水準」に対する不安をもつ人が多かった。

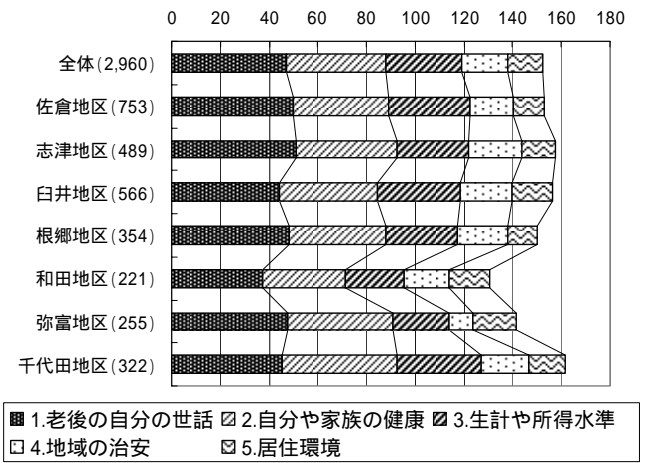
性別 × 「不安に感じること」上位5位のポイント



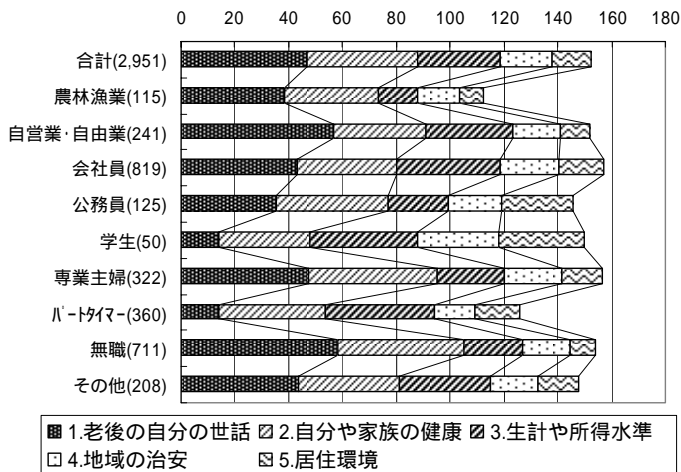
年代 × 「不安に感じること」上位5位のポイント



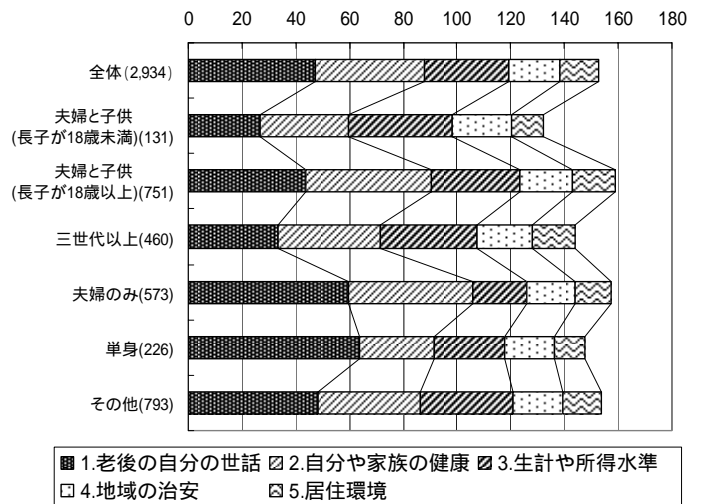
居住地区 × 「不安に感じること」上位5位のポイント



職業 × 「不安に感じること」上位5位のポイント



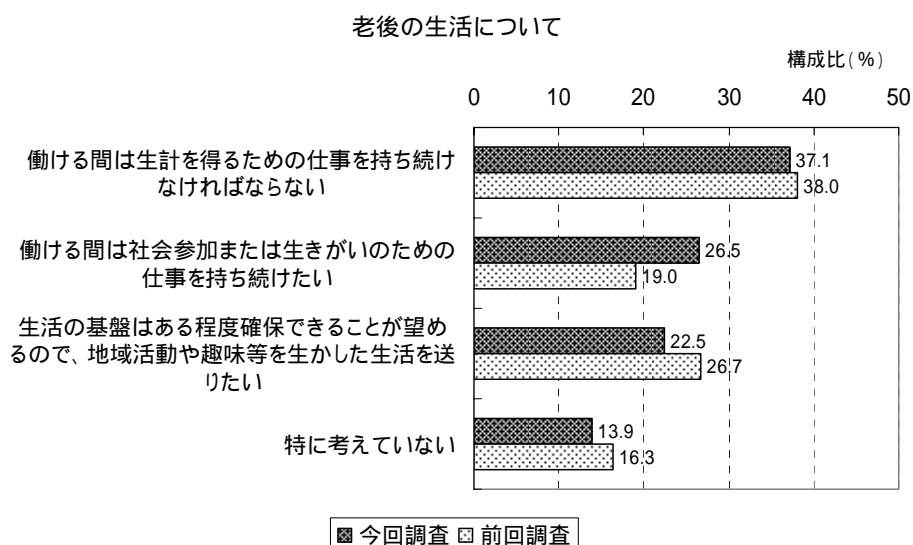
家族構成 × 「不安に感じること」上位5位のポイント



### (13) 老後の生活について

希望する老後の生活に関しては、6割以上の方が「仕事を持つ」（「生計を得るために仕事を続ける」と「社会参加、生きがいのため仕事を続ける」の合計 63.6%）と回答した。

「社会参加、生きがいのため仕事を続ける」は 26.5%で、前回調査の 19.0%から大幅に増加した。



### (5) 老後の生活は、次のどれに該当するとお考えですか (SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 働ける間は生計を得るための仕事をもち続けなければならない	1,066	37.1	38.0
2 働ける間は社会参加または生きがいのための仕事をもち続けたい	761	26.5	19.0
3 生活の基盤はある程度確保できることが望めるので、地域活動や趣味等を生かした生活を送りたい	646	22.5	26.7
4 特に考えていない	400	13.9	16.3
不明	155	-	-
サンプル数 (%ベース)	3,028	2,873	100.0

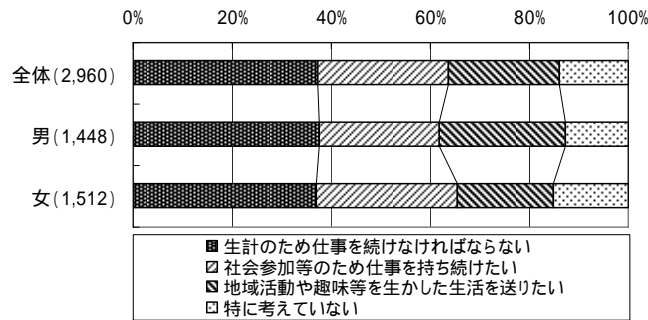
構成比\*：不明を除く

#### <クロス集計結果でみた特徴>

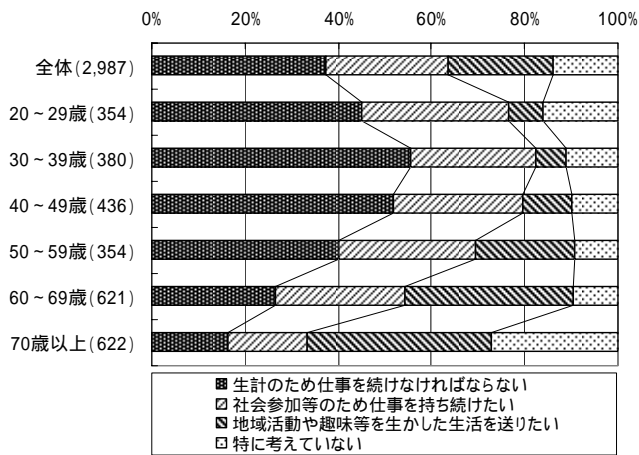
性別にみると、男女ともに仕事をし続ける意向が強い。

地区別にみると、根郷地区と和田地区の2地区で特に「働ける間は生計を得るための仕事」をして行く指向が強い（平均 37.1%、根郷地区 43.4%、和田地区 47.2%）。「地域活動や趣味等を生かした生活」は平均 22.5%の支持であるが、志津地区で 28.9%、弥富地区で 28.3%とこの割合がやや高かった。

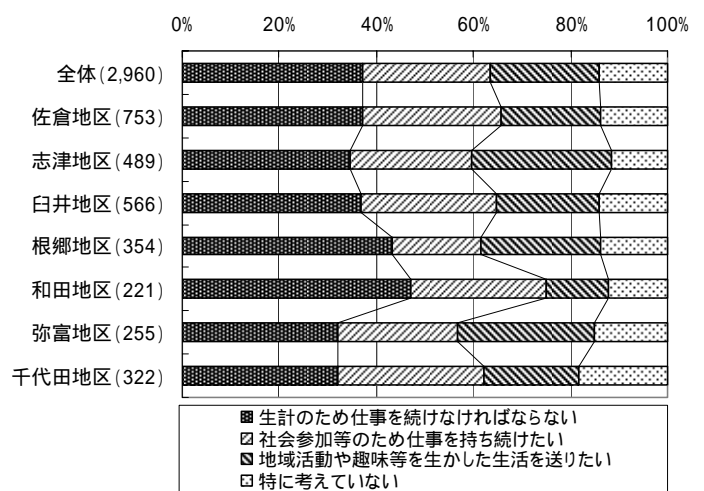
性別 × 老後の生活



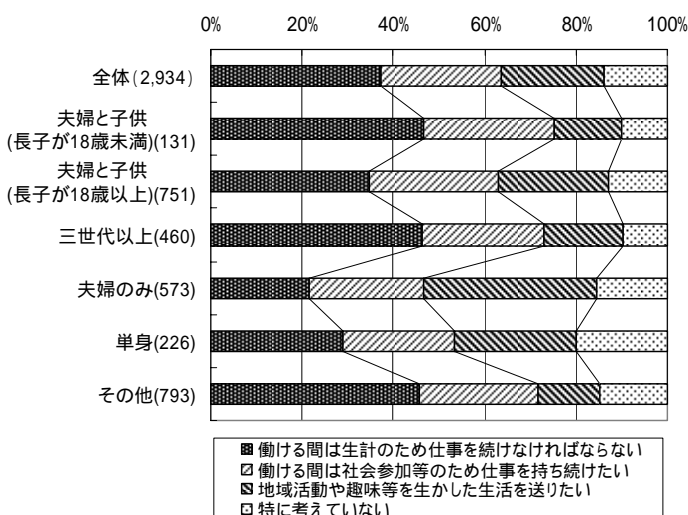
年代 × 老後の生活



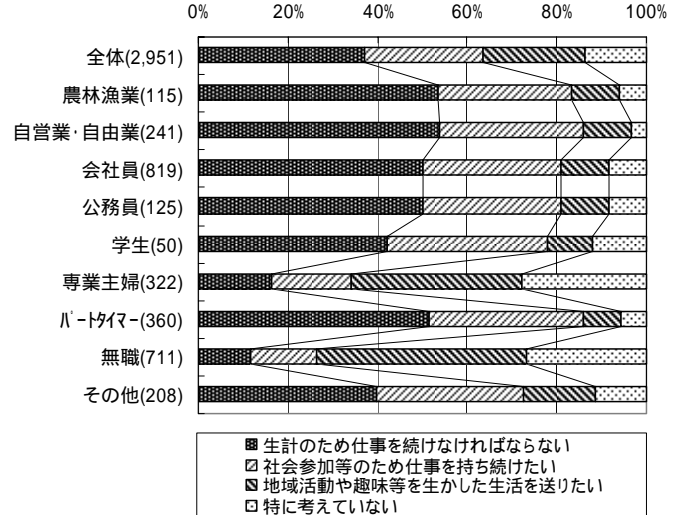
居住地区 × 老後の生活



家族構成 × 老後の生活

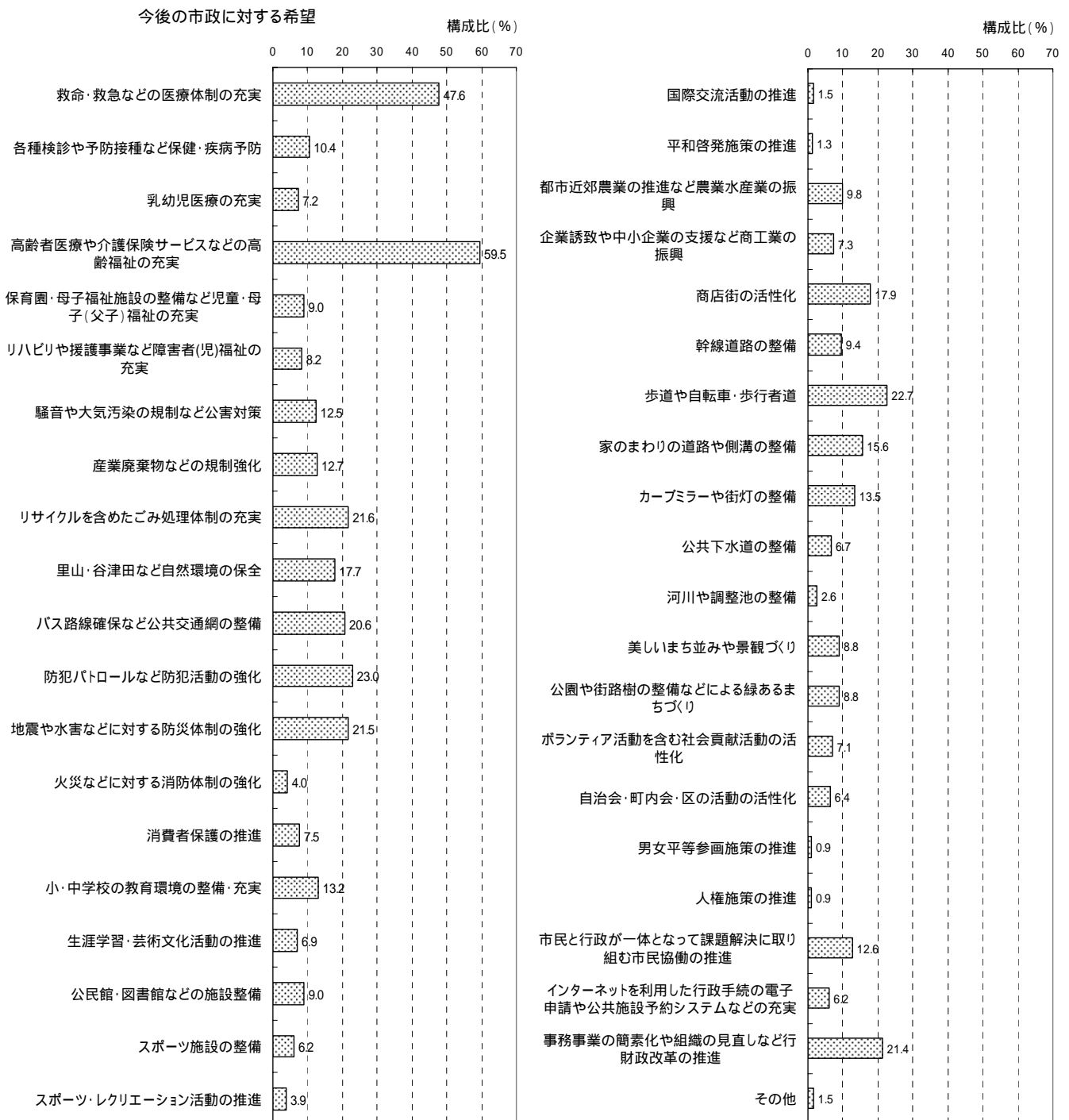


職業 × 老後の生活



#### (14) 今後の市政強化に対する希望、期待

「高齢者医療や介護サービスなど高齢福祉充実」が最も多く 59.5%、「救命・救急などの医療体制の充実」が 47.6%でこれに次ぐ。「防犯活動の強化」と「歩道や自転車・歩行者道」が約 23%、「ごみ処理体制の充実」と「防災体制の強化」が約 22%となった。生活者のニーズが多様であることがわかるとともに、高齢化社会のなかで安全で安心のできる暮らしが期待されている。また、「行財政改革の推進」に対しては 21.4%の期待があり、この対応が今後不可欠であることが捉えられた。



## (5) 今後の市政で特に力を入れてほしいものは、次のどれですか (MA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)
1 救命・救急などの医療体制の充実	1,416	47.6
2 各種検診や予防接種など保健・疾病予防	309	10.4
3 乳幼児医療の充実	215	7.2
4 高齢者医療や介護保険サービスなどの高齢福祉の充実	1,772	59.5
5 保育園・母子福祉施設の整備など児童・母子(父子)福祉の充実	269	9.0
6 リハビリや援護事業など障害者(児)福祉の充実	244	8.2
7 騒音や大気汚染の規制など公害対策	372	12.5
8 産業廃棄物などの規制強化	378	12.7
9 リサイクルを含めたごみ処理体制の充実	644	21.6
10 里山・谷津田など自然環境の保全	527	17.7
11 バス路線確保など公共交通網の整備	612	20.6
12 防犯パトロールなど防犯活動の強化	685	23.0
13 地震や水害などに対する防災体制の強化	641	21.5
14 火災などに対する消防体制の強化	119	4.0
15 消費者保護の推進	222	7.5
16 小・中学校の教育環境の整備・充実	394	13.2
17 生涯学習・芸術文化活動の推進	204	6.9
18 公民館・図書館などの施設整備	268	9.0
19 スポーツ施設の整備	184	6.2
20 スポーツ・レクリエーション活動の推進	116	3.9
21 国際交流活動の推進	44	1.5
22 平和啓発施策の推進	40	1.3
23 都市近郊農業の推進など農業水産業の振興	291	9.8
24 企業誘致や中小企業の支援など商工業の振興	217	7.3
25 商店街の活性化	533	17.9
26 幹線道路の整備	279	9.4
27 歩道や自転車・歩行者道	676	22.7
28 家のまわりの道路や側溝の整備	463	15.6
29 カーブミラーや街灯の整備	402	13.5
30 公共下水道の整備	200	6.7
31 河川や調整池の整備	78	2.6
32 美しいまち並みや景観づくり	263	8.8
33 公園や街路樹の整備などによる緑あるまちづくり	261	8.8
34 ボランティア活動を含む社会貢献活動の活性化	212	7.1
35 自治会・町内会・区の活動の活性化	192	6.4
36 男女平等参画施策の推進	26	0.9
37 人権施策の推進	27	0.9
38 市民と行政が一体となって課題解決に取り組む市民協働の推進	375	12.6
39 インターネットを利用した行政手続の電子申請や公共施設予約システムなどの充実	186	6.2
40 事務事業の簡素化や組織の見直しなど行財政改革の推進	637	21.4
41 その他	44	1.5
不明	51	-
サンプル数 (%へ'ス)	3,028	505.1

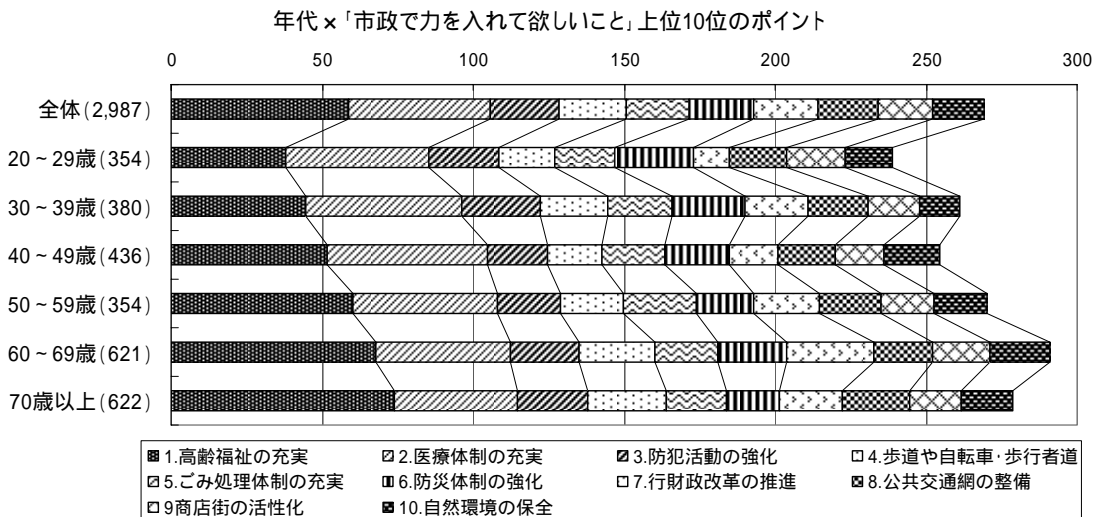
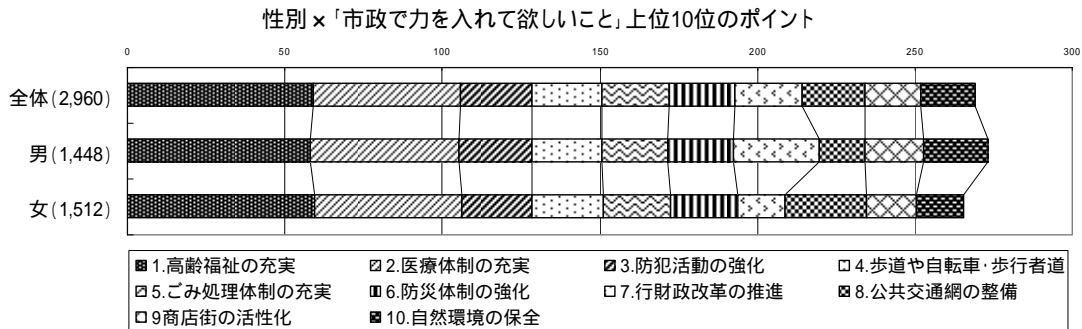
構成比\*：不明を除く

<クロス集計結果でみた特徴>

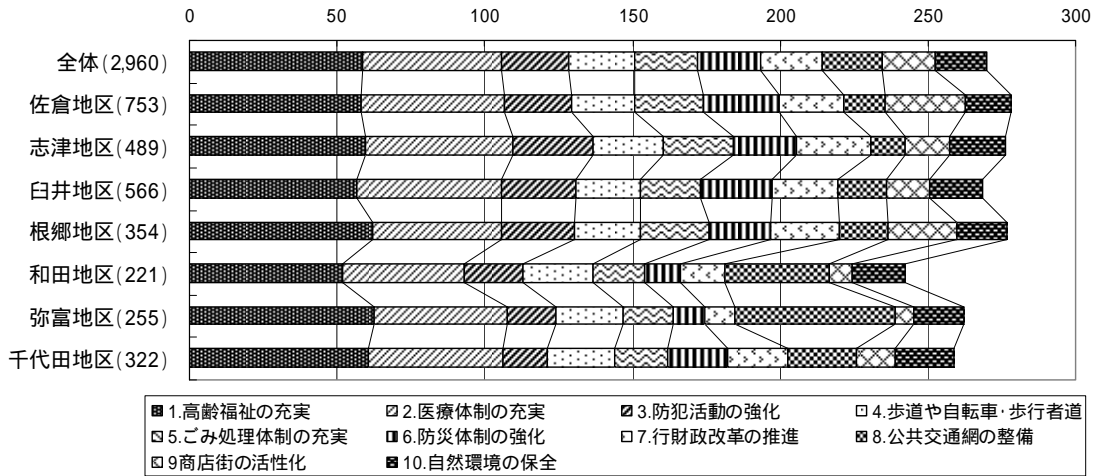
年代別にみると、30、40歳代の方は、「医療体制の充実」に対する期待が強い。50歳以上の方では、年代が進むにつれ「高齢福祉の充実」への期待が高くなっている。また、年代を問わず「ごみ処理体制の充実」、「自然環境の保全」も期待されている。20、30歳代では、「防災体制の強化」についても期待が強い。

地区別にみると、根郷地区と弥富地区において、「高齢者医療」充実が約60%に達した。和田地区、弥富地区、千代田地区の3地区では、「産業廃棄物などの規制強化」の期待もかなり高い。

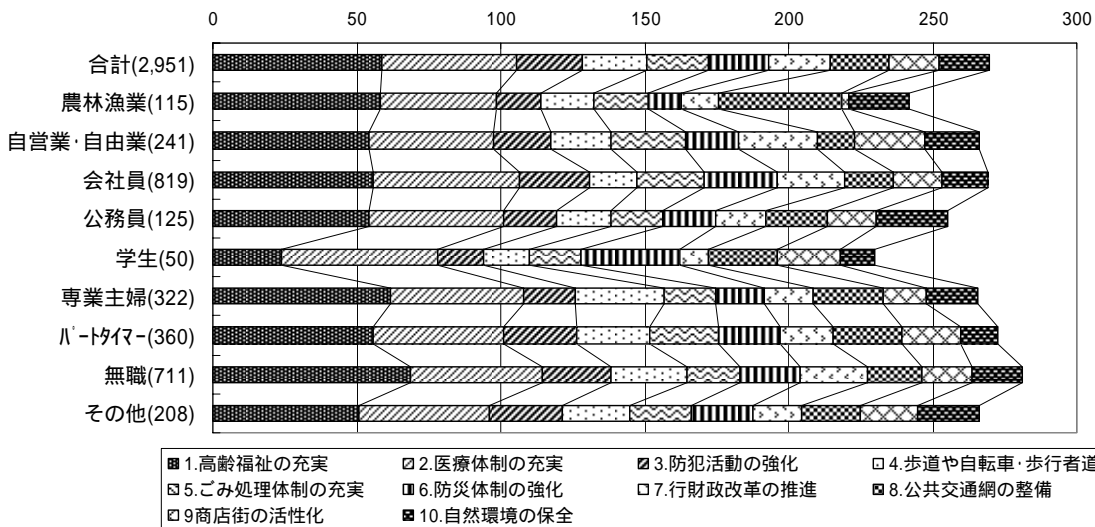
家族構成別にみると、期待・希望を見ると、「夫婦と子供(長子が18歳未満)」の世帯では、やはり「乳幼児医療の充実」を、「夫婦のみ」の世帯では「高齢者医療や介護保険サービス・・・」に対する期待が特に高い。



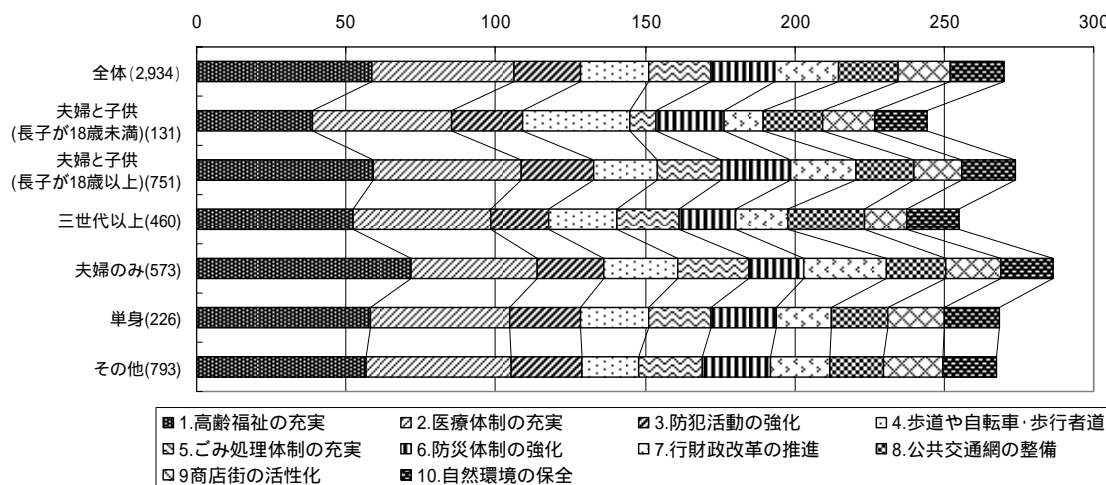
居住地区 × 「市政で力を入れて欲しいこと」上位10位のポイント



職業 × 「市政で力を入れて欲しいこと」上位10位のポイント



家族構成 × 「市政で力を入れて欲しいこと」上位10位のポイント

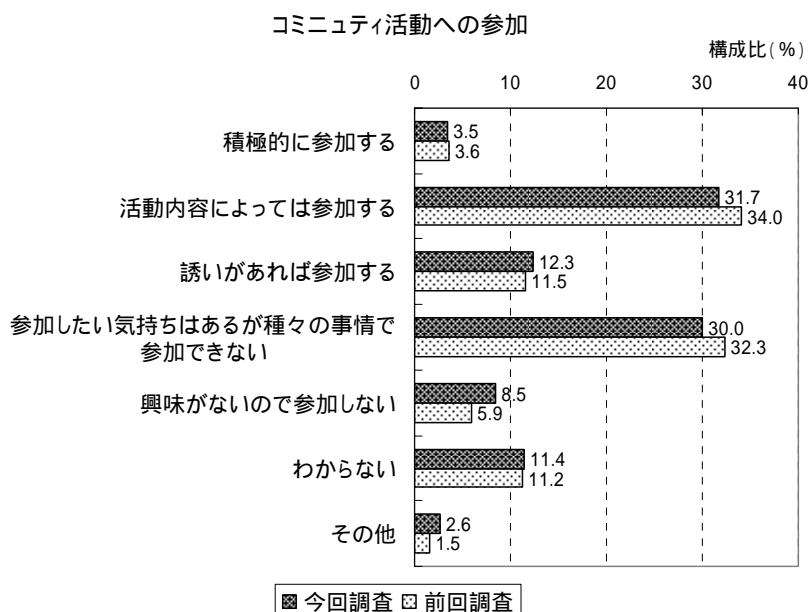




(15) コミュニティ活動に対する動向・意見.

(15) - 1 地域のコミュニティ活動への参加状況

「活動内容によっては参加する」が最も多く 31.7%、「参加したい気持ちはあるが種々の事情で参加できない」との回答が 30.0%となった。参加意向があると回答したのは 77.5%であり、市民の参加意欲はかなり高いと判断されるものの数値的には前回調査の結果とほぼ同様であり、参加意欲が高まっている傾向は捉えられなかった。



(6) 各種のボランティア活動などの地域のコミュニティ活動への参加について  
どう思われますか (SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 積極的に参加する	98	3.5	3.6
2 活動内容によっては参加する	889	31.7	34.0
3 誘いがあれば参加する	344	12.3	11.5
4 参加したい気持ちはあるが種々の事情で参加できない	841	30.0	32.3
5 興味がないので参加しない	238	8.5	5.9
6 わからない	319	11.4	11.2
7 その他	72	2.6	1.5
不明	227	-	-
サンプル数 (%ベース)	3,028	100.0	100.0

構成比\* : 不明を除く

<クロス集計結果でみた特徴>

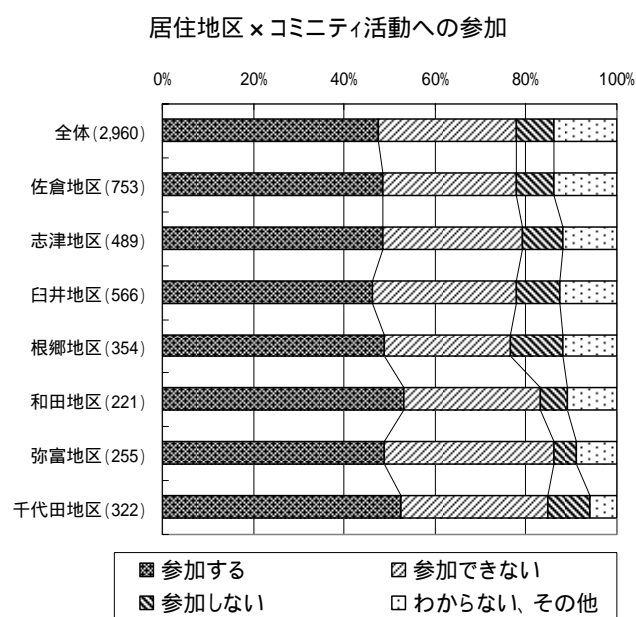
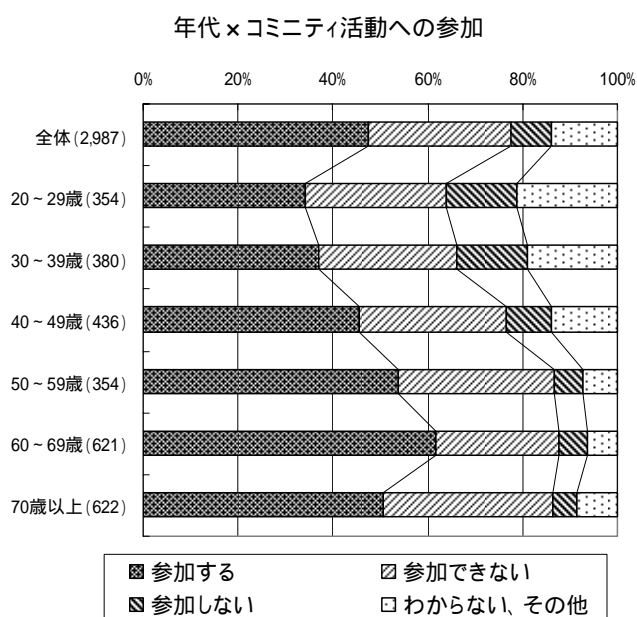
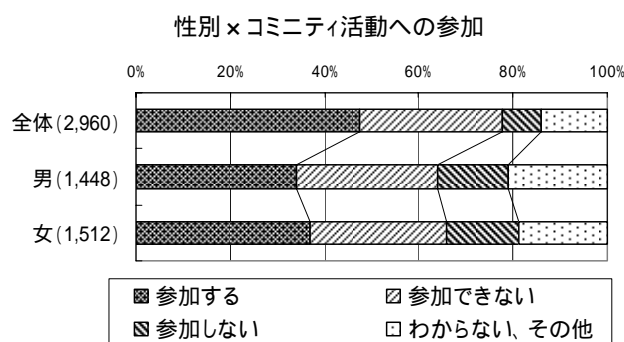
性別にみると、女性の方がやや積極的である。

年代別にみると、20、30歳代で「参加しない」「わからない」という回答が多い。

職業別にみると、「会社員」と「学生」で「参加しない」「わからない」との意見が比較的多い。

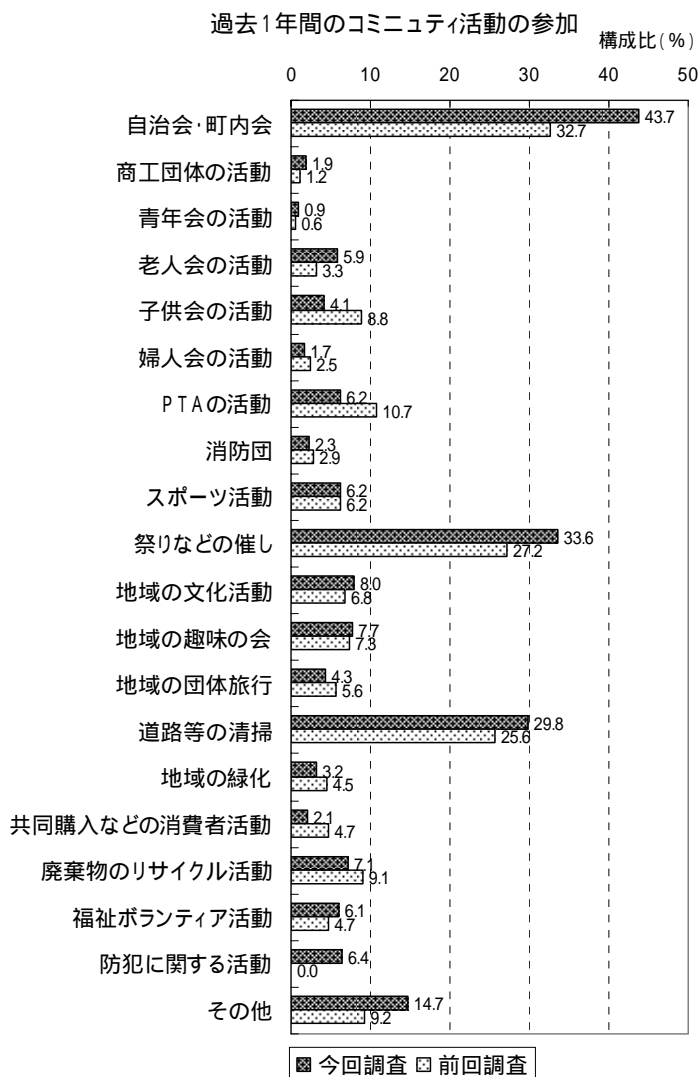
地区別にみると、佐倉地区で「わからない」、根郷地区では「参加しない」との意見が少なくない。

これらの人に如何に情報提供を行い、参加させるかが今後の課題と言える。



(15) - 2 コミュニティ活動に対する参加状況

「自治会・町内会」への参加が43.7%と高率で、「祭りなどの催し」が33.6%、「道路等の清掃」は29.8%となった。これらの活動については前回調査の結果よりも増加している。



(6) およそ過去1年間にどのようなコミュニティ活動に参加されましたか (MA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 自治会・町内会	965	43.7	32.7
2 商工団体の活動	43	1.9	1.2
3 青年会の活動	19	0.9	0.6
4 老人会の活動	130	5.9	3.3
5 子供会の活動	91	4.1	8.8
6 婦人会の活動	38	1.7	2.5
7 PTAの活動	137	6.2	10.7
8 消防団	50	2.3	2.9
9 スポーツ活動	137	6.2	6.2
10 祭りなどの催し	741	33.6	27.2
11 地域の文化活動	177	8.0	6.8
12 地域の趣味の会	169	7.7	7.3
13 地域の団体旅行	96	4.3	5.6
14 道路等の清掃	657	29.8	25.6
15 地域の緑化	71	3.2	4.5
16 共同購入などの消費者活動	47	2.1	4.7
17 廃棄物のリサイクル活動	156	7.1	9.1
18 福祉ボランティア活動	134	6.1	4.7
19 防犯に関する活動	142	6.4	-
20 その他	325	14.7	9.2
不明	820	-	-
サンプル数 (%ベース)	3,028	195.9	173.6

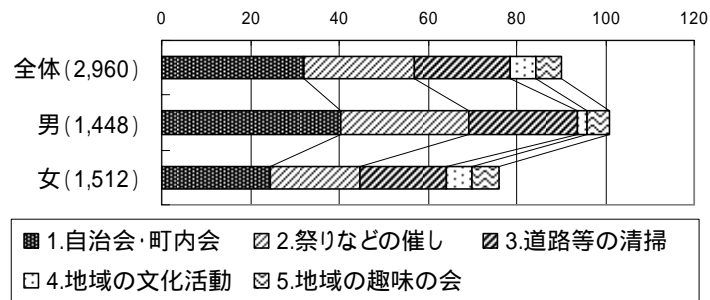
構成比\*：不明を除く

<クロス集計結果でみた特徴>

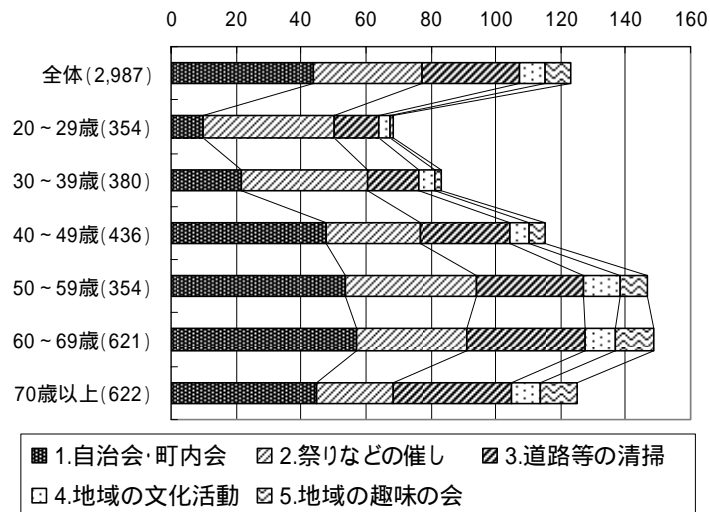
性別にみると、男女ともに「町内会・自治会活動」への参加が最も多い。また、男性のほうが女性より積極的に参加している。年代別では、50歳代と60歳代の参加が比較的多い。

年代別にみると、最も参加の多い活動として挙げられた「自治会・町内会活動」と第2位の「祭りなどの催し」においては、20歳代と50、60歳代の人と比較的によく参加している。20歳代の参加者が多いことは今後の活動に期待が持てる。

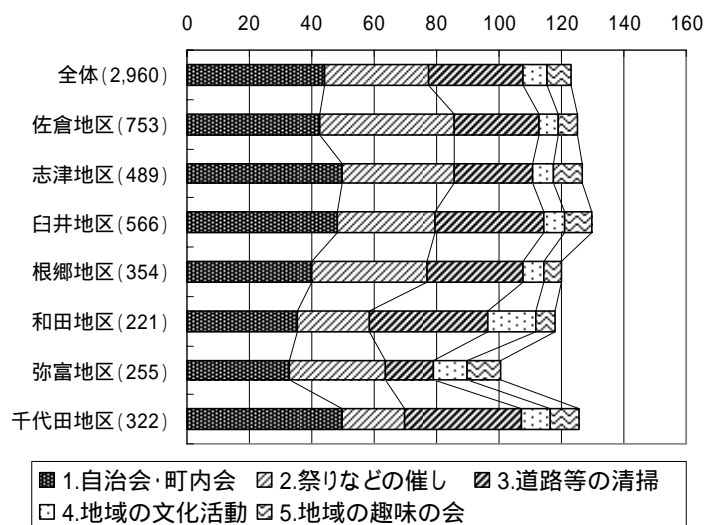
性別 × 「コミュニティ活動の参加」上位5位のポイント



年代 × 「コミュニティ活動の参加」上位5位のポイント

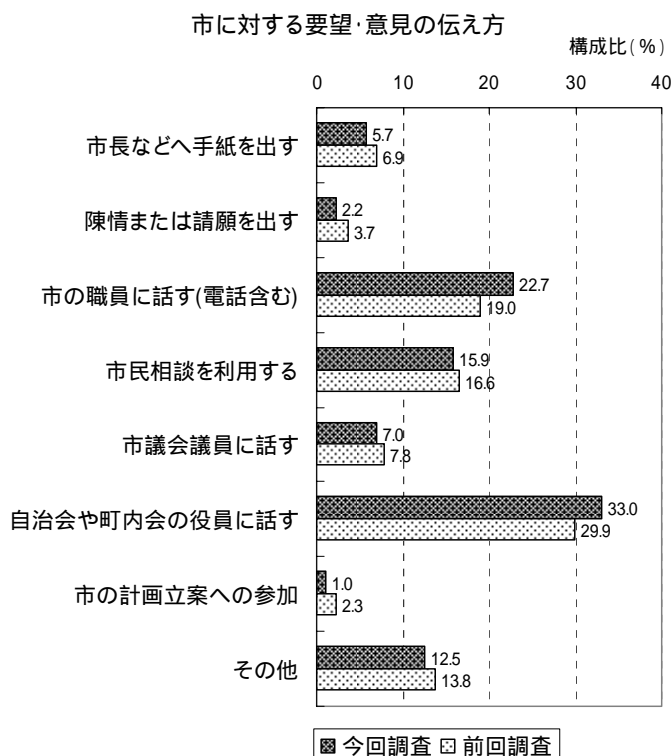


居住地区 × 「コミュニティ活動」上位5位のポイント



### (16) 市に対する要望・意見の伝え方

「自治会や町会の役員に話す」が最多で 33.0%、「市の職員に話す」が第 2 位で 22.7%、「市民相談を利用する」は 15.9%となった。前回調査と同様の順位であるが各々のパーセントは増加しており、市民の発言に対する姿勢は積極的になってきていると思われる。



### (7) 市に対する要望・意見などをどんな方法で伝えますか (SA)

	カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1	市長などへ手紙を出す	145	5.7	6.9
2	陳情または請願を出す	55	2.2	3.7
3	市の職員に話す(電話含む)	576	22.7	19.0
4	市民相談を利用する	402	15.9	16.6
5	市議会議員に話す	177	7.0	7.8
6	自治会や町内会の役員に話す	836	33.0	29.9
7	市の計画立案への参加	26	1.0	2.3
8	その他	319	12.5	13.8
	不明	492	-	-
	サンプル数 (%ベース)	3,028	100.0	100.0

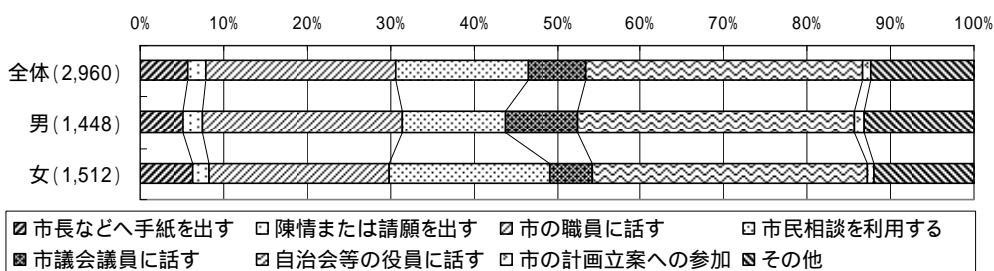
構成比\*：不明を除く

#### <クロス集計結果でみた特徴>

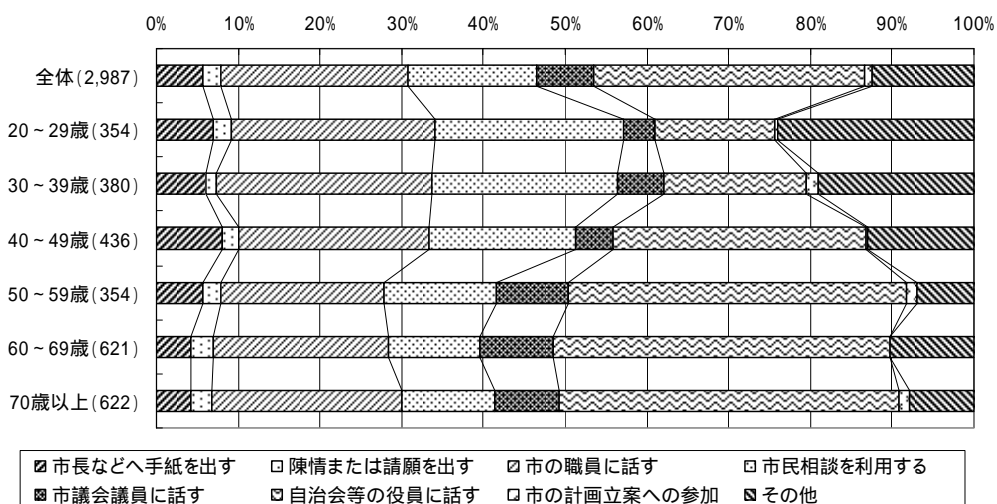
年代別にみると、20、30歳代では「市の職員に電話」する傾向が強く、40～60歳代では「自治会や町内会の役員に話す」方法が主である。

地区別にみると、和田地区、弥富地区、千代田地区の3地区に於いては、「自治会や町内会の役員に話す」方が多く、自治会や町内会が地域のコミュニティの組織として確立している感が強い。

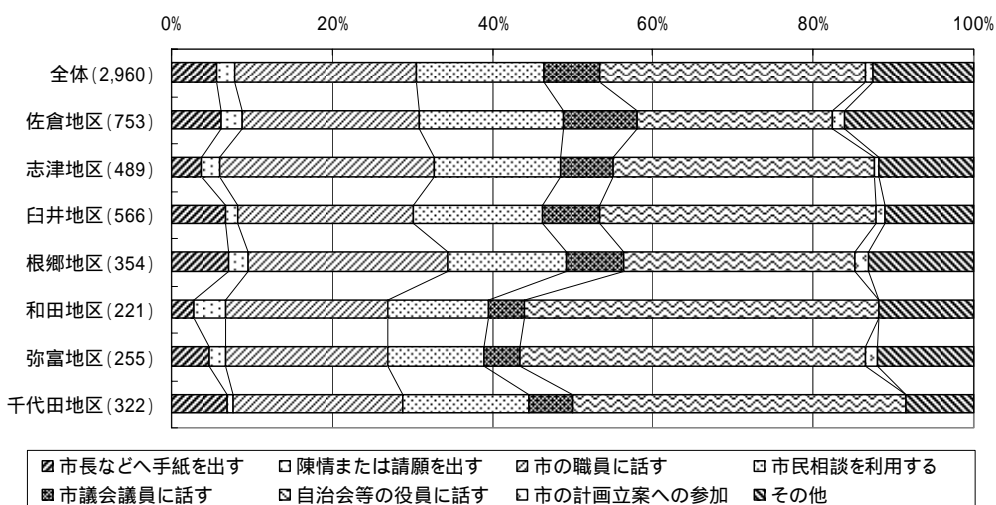
性別 × 市に対する要望等の伝え方



年代 × 市に対する要望等の伝え方



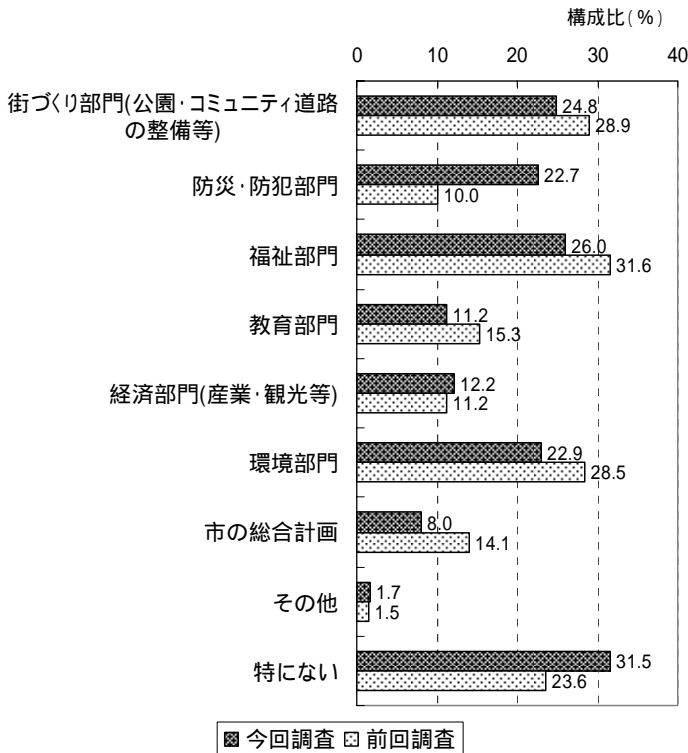
居住地区 × 市に対する要望等の伝え方



(17) 住民として参加したい計画部門

「街づくり部門」、「福祉部門」、「防災・防犯」、「環境部門」が各々2割強を占めた。前回調査では「防災」は10.0%であり、この面での危機意識の高まりが感じられる。

市民として参加したい計画部門



(7) 市民として参加したい計画部門はどれですか (MA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 街づくり部門(公園・コミュニティ道路の整備等)	657	24.8	28.9
2 防災・防犯部門	602	22.7	10.0
3 福祉部門	688	26.0	31.6
4 教育部門	296	11.2	15.3
5 経済部門(産業・観光等)	322	12.2	11.2
6 環境部門	607	22.9	28.5
7 市の総合計画	213	8.0	14.1
8 その他	46	1.7	1.5
9 特にない	836	31.5	23.6
不明	378	-	-
サンプル数 (%ベース)	3,028	161.0	164.7

構成比\*：不明を除く

<クロス集計結果でみた特徴>

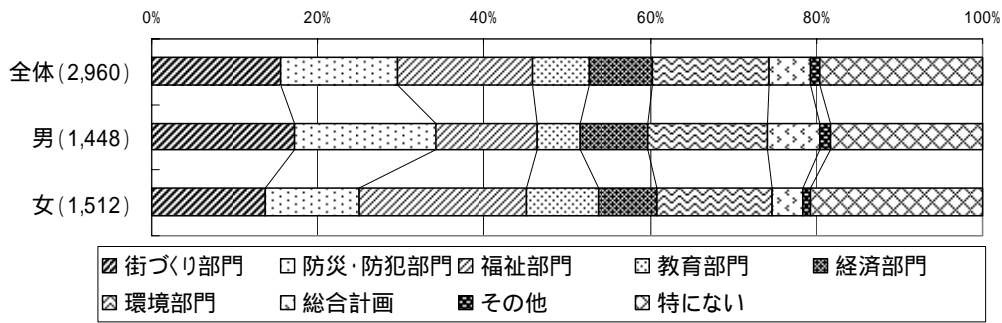
性別でみると、男性では「街づくり」と「防災・防犯」が、女性では「福祉」と「環境」部門への企画参加の指向が強い。

年代別にみると、20歳代で「街づくり」、「福祉」、「環境」が、30歳代では「環境」がやや減少し、「教育」と「防犯」部門への参加希望が高まる。また、50歳代では「福祉」が、60歳代では「街づくり」の参加希望が比較的多くなっている。

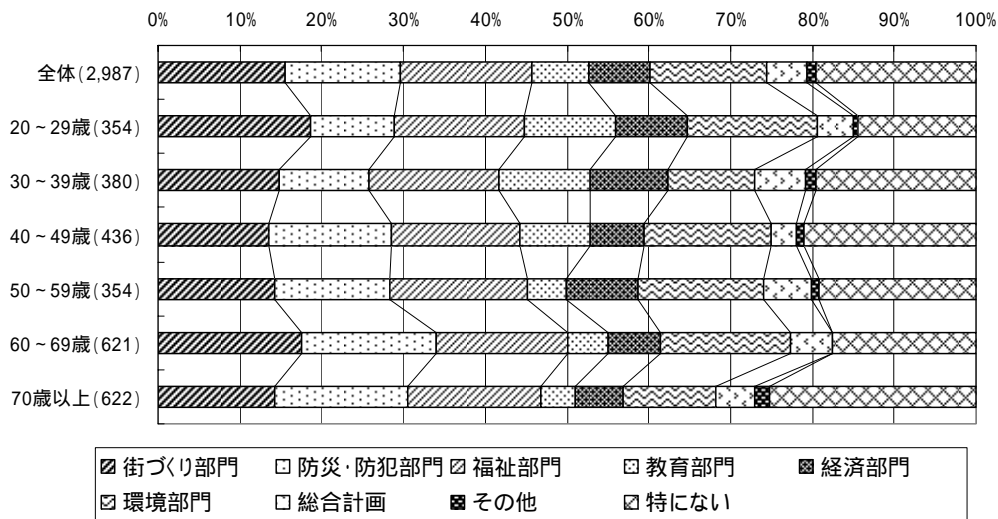
地区別にみると、志津地区と臼井地区で「街づくり」部門が約2割程度、志津地区で「防災・防犯」の期待が多く、弥富地区と千代田地区では「福祉」部門の参加意欲が強くなっている。

職業別にみると、「専業主婦」、「パートタイマー」で「福祉」部門に対する参加の希望が多い。

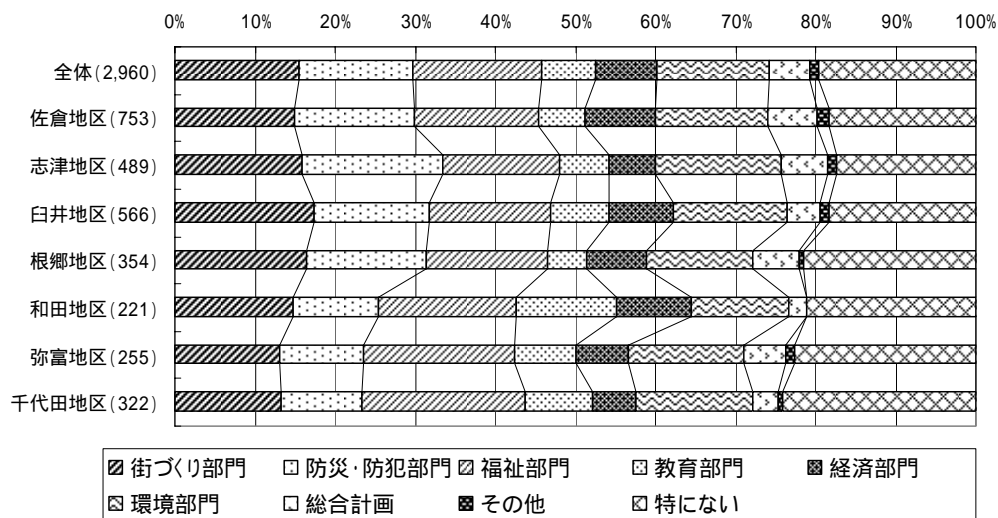
性別 × 参加したい計画部門



年代 × 参加したい計画部門



居住地区 × 参加したい計画部門



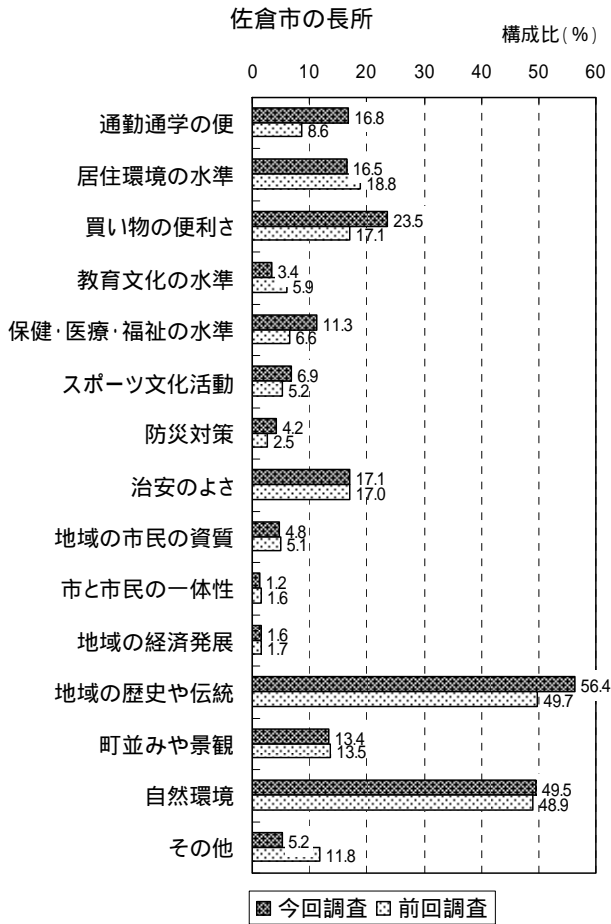


(18) 佐倉市の長所と欠点

(18) - 1 佐倉市の長所

第1位は「地域の歴史や伝統」で56.4%、「自然環境」が49.5%で、他を引き離している。また、「買い物の便利さ」を23.5%の人が回答している。

前回調査では、「通勤通学の便」が1割以下であったが、今回は16.8%に増加しており注目される。



(8) 佐倉市で積極的に評価できること、または長所だと思いませんか (MA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 通勤通学の便	451	16.8	8.6
2 居住環境の水準	443	16.5	18.8
3 買い物の便利さ	629	23.5	17.1
4 教育文化の水準	91	3.4	5.9
5 保健・医療・福祉の水準	304	11.3	6.6
6 スポーツ文化活動	184	6.9	5.2
7 防災対策	112	4.2	2.5
8 治安のよさ	458	17.1	17.0
9 地域の市民の資質	130	4.8	5.1
10 市と市民の一体性	32	1.2	1.6
11 地域の経済発展	43	1.6	1.7
12 地域の歴史や伝統	1,513	56.4	49.7
13 町並みや景観	360	13.4	13.5
14 自然環境	1,328	49.5	48.9
15 その他	139	5.2	11.8
不明	346	-	-
サンプル数 (%へ入)	3,028	231.8	214.0

構成比\*：不明を除く，  
※「人口の増加」8.4%を含む。

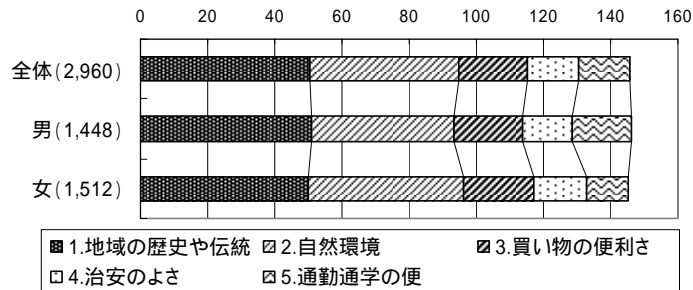
<クロス集計結果でみた特徴>

性別にみると、あまり大きな差異はないが、「通勤通学の便」、「居住環境の水準」について男性の評価がやや高く、「自然環境」については女性の評価がやや高かった。

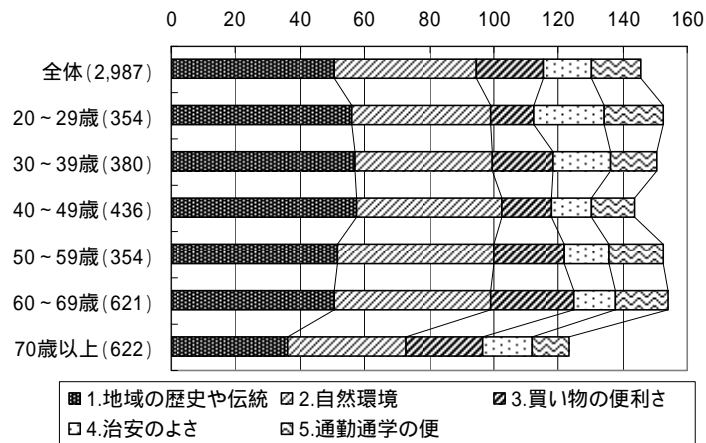
年代別にみると、20歳代で「治安のよさ」の評価が高く、50歳代以上では「買い物の便利さ」を支持した方が多い。

地区別にみると、佐倉地区と根郷地区で「通勤通学の便」のよさが評価されている。志津地区で「居住環境の水準」「買い物の便利さ」「治安の良さ」が評価された。

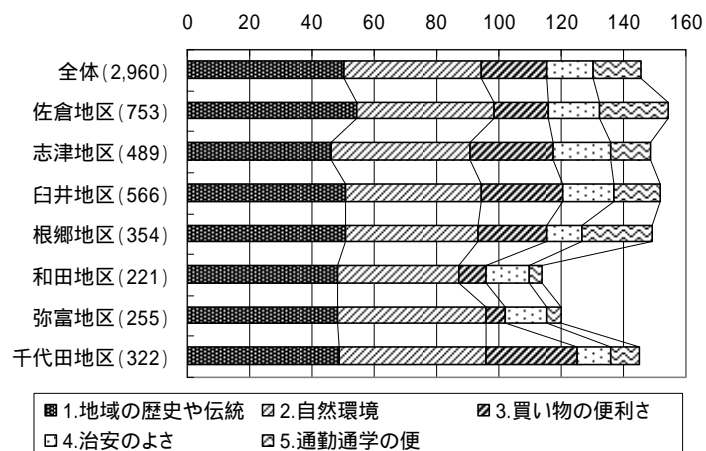
性別 × 「佐倉市の長所」上位5位のポイント



年代 × 「佐倉市の長所」上位5位のポイント



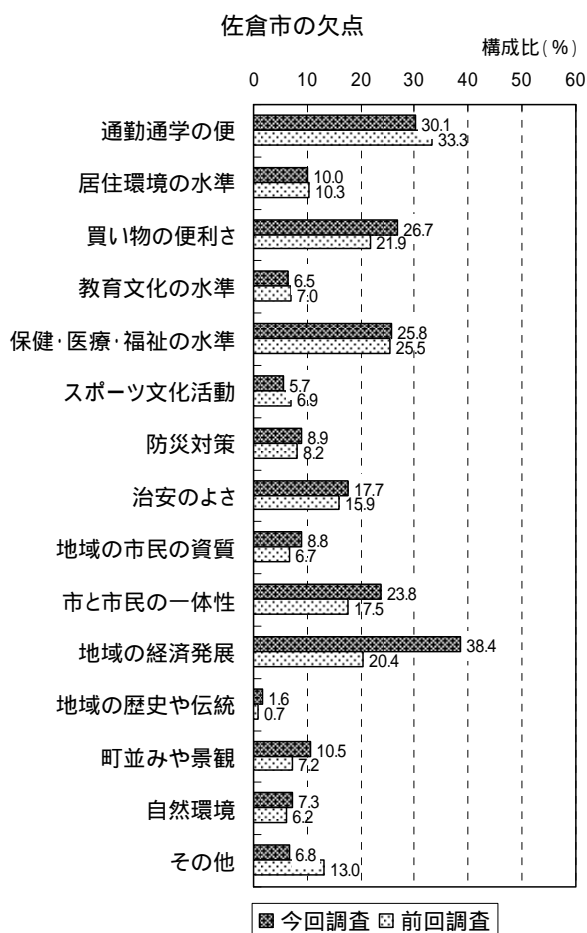
居住地区 × 「佐倉市の長所」上位5位のポイント



### (18) - 2 佐倉市の欠点

第1位は「地域の経済発展」38.4%、第2位が「通勤通学の便」30.1%で、以下「買い物の便利さ」26.7%、「保健・医療・福祉の水準」25.8%などが続く。地域経済の活性化と通勤通学の利便性向上は大きな課題と言える。

前回の調査で第1位は「通勤通学の便」33.3%、第2位は「保健・医療・福祉の水準」25.5%であった。「買い物の便利さ」に関しては今回が26.7%、前回の調査では21.9%であった。居住地近隣の地元商店街の不振が、市民に不便さとして実感されているのではなかろうか。



### (8) 佐倉市で好ましくないこと、または欠点だと思いませんか (MA)

	カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1	通勤通学の便	733	30.1	33.3
2	居住環境の水準	244	10.0	10.3
3	買い物の便利さ	650	26.7	21.9
4	教育文化の水準	158	6.5	7.0
5	保健・医療・福祉の水準	629	25.8	25.5
6	スポーツ文化活動	138	5.7	6.9
7	防災対策	217	8.9	8.2
8	治安のよさ	432	17.7	15.9
9	地域の市民の資質	214	8.8	6.7
10	市と市民の一体性	580	23.8	17.5
11	地域の経済発展	935	38.4	20.4
12	地域の歴史や伝統	40	1.6	0.7
13	町並みや景観	256	10.5	7.2
14	自然環境	177	7.3	6.2
15	その他	166	6.8	13.0
	不明	594	-	-
サンプル数 (%ベース)		3,028	228.6	200.7

構成比\*: 不明を除く  
※前回の「人口の増加」7.8%を含む。

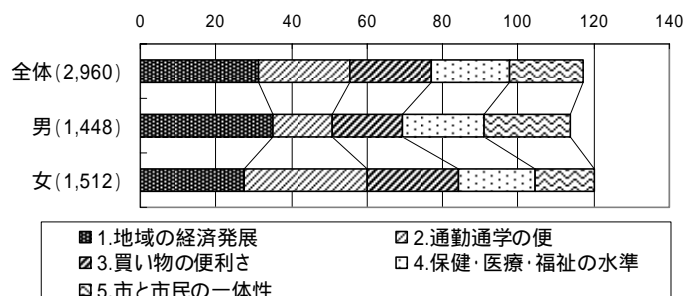
#### <クロス集計結果でみた特徴>

性別にみると、女性で「買い物の便利さ」を指摘する声がやや大きい。

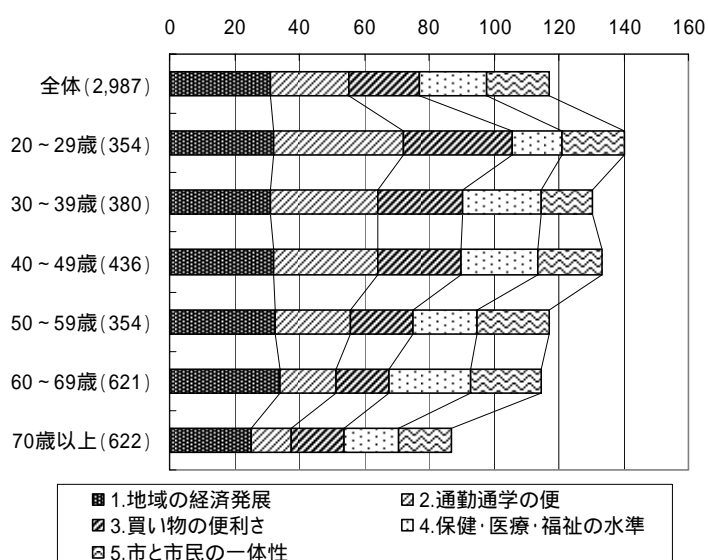
年代別にみると、20～40歳代で「通勤通学」と「買い物の便利さ」が挙げられた。また、「治安のよさ」に関しては20歳代と30歳代の人々の評価が厳しい。なお、「保健・医療・福祉の水準」については、30～60歳代の人々の評価が低い。また、「市と市民の一体性」については、30歳代、60歳代、70歳代の評価が低いことは注目される。

地区別にみると、和田地区と弥富地区で特に「通勤通学の便」や「買い物の不便さ」が問題としてとらえられた。

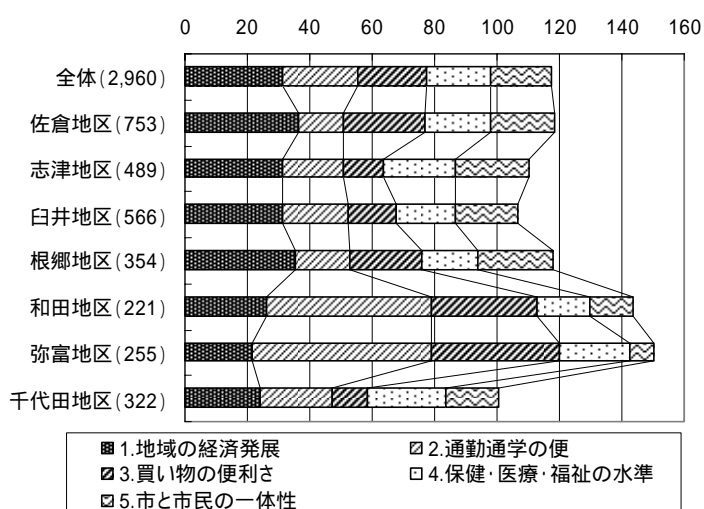
性別 × 「佐倉市の短所」上位5位のポイント



年代 × 「佐倉市の短所」上位5位のポイント

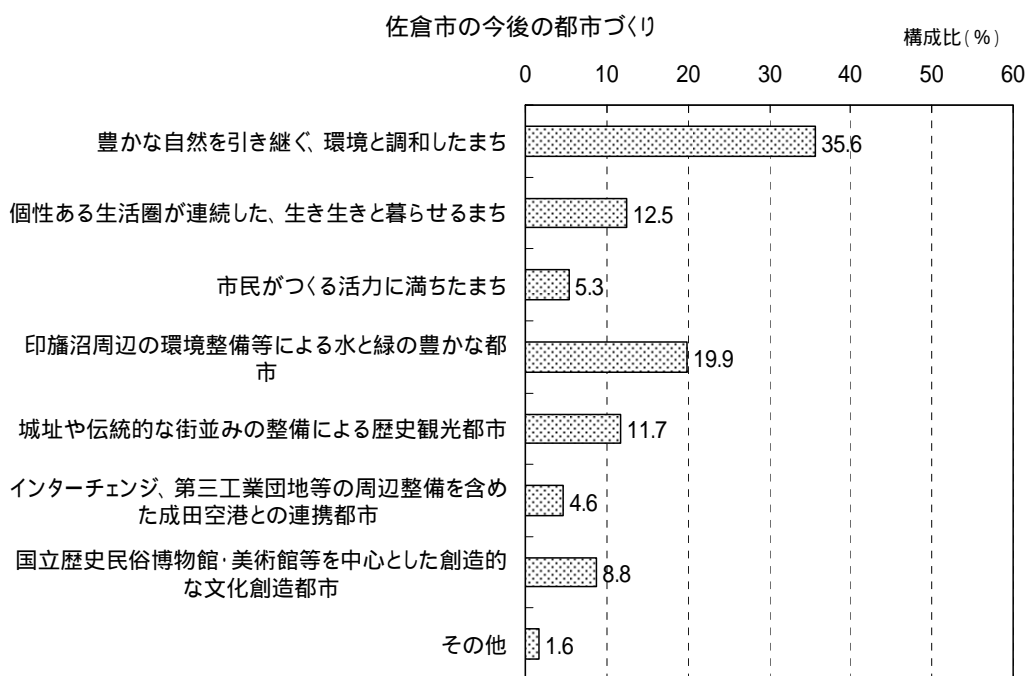


居住地区 × 「佐倉市の短所」上位5位のポイント



### (19) 今後の佐倉市の都市づくり

「自然豊かな環境と調和したまち」が 35.6%と高率、「水と緑の豊かな都市」は第 2 位で 19.9%となった。



### (8) 佐倉市の特色を活かした今後の都市づくりについてどんなお考えをお持ちですか (SA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)
1 豊かな自然を引き継ぐ、環境と調和したまち	961	35.6
2 個性ある生活圏が連続した、生き生きと暮らせるまち	338	12.5
3 市民がつくる活気に満ちたまち	143	5.3
4 印旛沼周辺の環境整備等による水と緑の豊かな都市	536	19.9
5 城址や伝統的な街並みの整備による歴史観光都市	316	11.7
6 インターチェンジ、第三工業団地等の周辺整備を含めた成田空港との連携都市	124	4.6
7 国立歴史民俗博物館・美術館等を中心とした創造的な文化創造都市	237	8.8
8 その他	41	1.6
不明	332	-
サンプル数(%ベース)	3,028	100.0

構成比\*：不明を除く

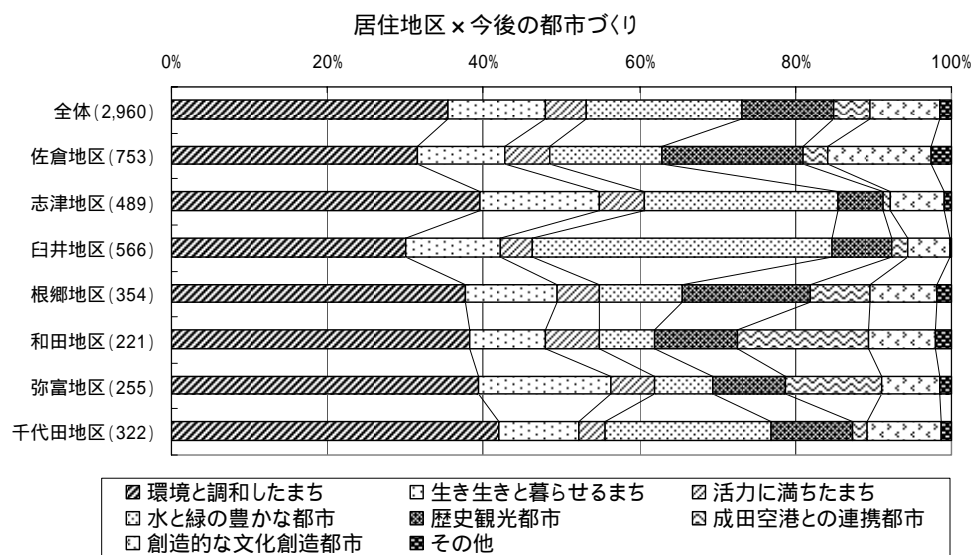
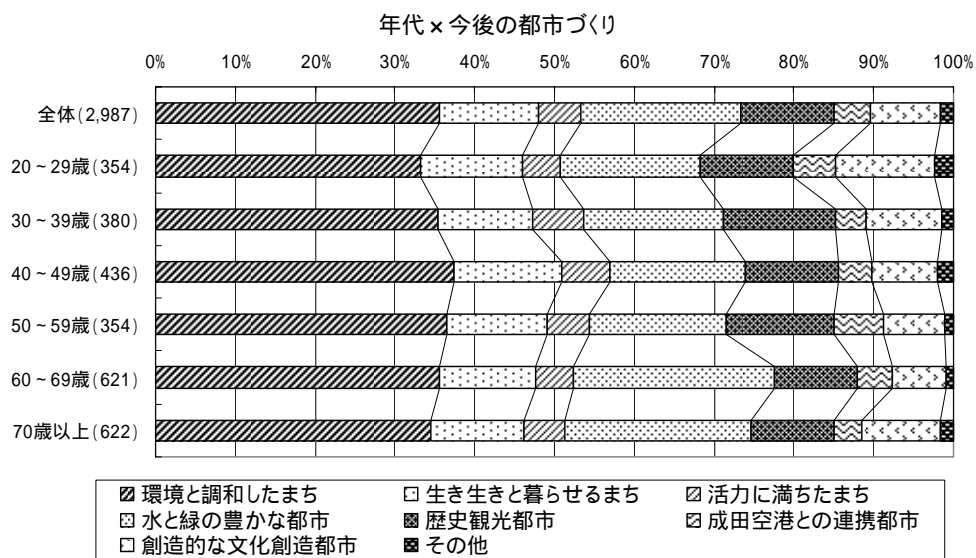
#### <クロス集計結果でみた特徴>

年代別にみると、特に30歳代の支持が高いのは「豊かな自然を引き継ぐ・・・」、60、70歳代では「印旛沼周辺・・・」の支持が高かった。また、割合は1割程度であったが、20代の若い人で「国立歴史民俗博物館・・・」に対する支持が比較的高かった。

地区別にみると、志津地区と臼井地区の両地区で「印旛沼周辺の環境整備」の期待が強

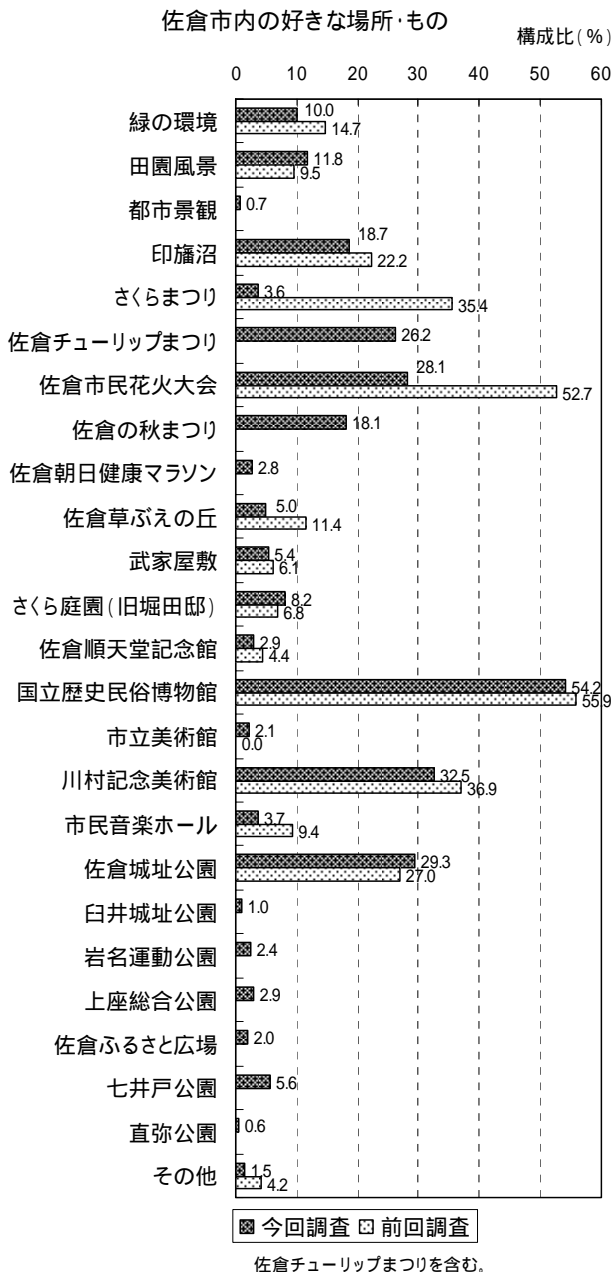
いこと、佐倉地区で「城址や伝統的な街並みの整備による歴史観光都市」や「国立歴史民俗博物館・美術館等を中心とした創造的な文化創造都市」を活かすべきとの声強いことがうかがえた。

性別にみると、男性で「印旛沼周辺の環境整備」を望む声強い。



(20) 佐倉市内の好きな場所・もの

「国立歴史民俗博物館」が54.2%で最も多く、「川村記念美術館」の32.5%が第2位、「佐倉城址公園」は29.3%、「佐倉市民花火大会」28.1%、「佐倉チューリップまつり」が26.2%と続いている。



(8) 佐倉市内の好きな場所やもの、あるいは、市外の友人に紹介したい場所やものはなんですか (MA)

カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1 緑の環境	288	10.0	14.7
2 田園風景	337	11.8	9.5
3 都市景観	21	0.7	-
4 印旛沼	536	18.7	22.2
5 さくらまつり	102	3.6	35.4
6 佐倉チューリップまつり	750	26.2	-
7 佐倉市民花火大会	807	28.1	52.7
8 佐倉の秋まつり	518	18.1	-
9 佐倉朝日健康マラソン	79	2.8	-
10 佐倉草ぶえの丘	143	5.0	11.4
11 武家屋敷	155	5.4	6.1
12 さくら庭園(旧堀田邸)	235	8.2	6.8
13 佐倉順天堂記念館	83	2.9	4.4
14 国立歴史民俗博物館	1,555	54.2	55.9
15 市立美術館	61	2.1	-
16 川村記念美術館	933	32.5	36.9
17 市民音楽ホール	105	3.7	9.4
18 佐倉城址公園	841	29.3	27.0
19 白井城址公園	30	1.0	-
20 岩名運動公園	68	2.4	-
21 上座総合公園	82	2.9	-
22 佐倉ふるさと広場	57	2.0	-
23 七井戸公園	160	5.6	-
24 直弥公園	17	0.6	-
25 その他	42	1.5	4.2
不明	160	-	-
サンプル数 (%へ入)	3,028	279.3	296.6

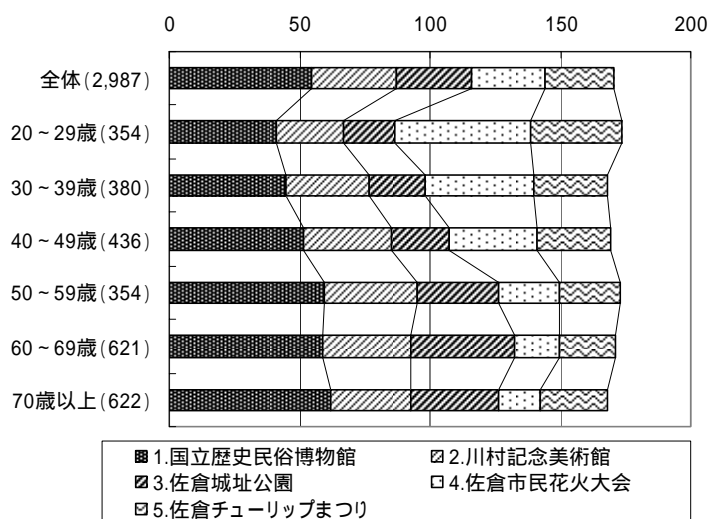
構成比\*：不明を除く

＜クロス集計結果でみた特徴＞

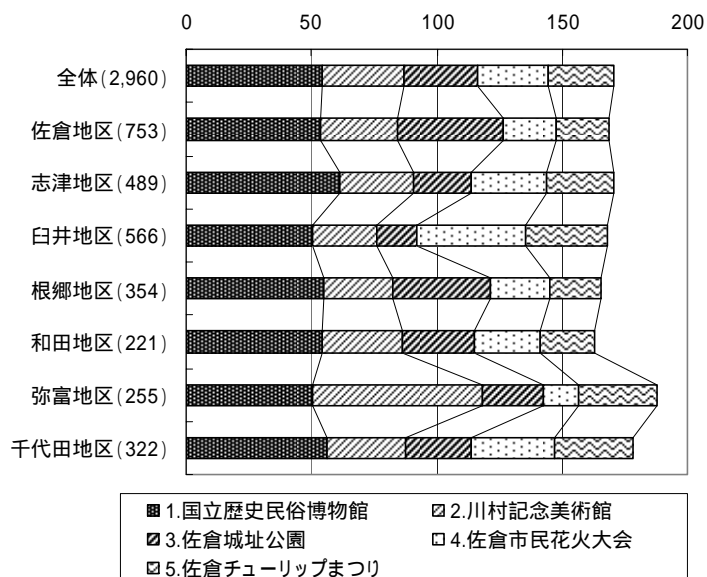
年代別にみると、「花火大会」と「佐倉チューリップまつり」については、20～40歳代の幅広い支持を得ていること、「秋まつり」については、20～30歳代の支持が高いことがとらえられた。

性別にみると、男性では「印旛沼」をあげる人も多い。

年代 × 「市内の好きな場所」上位5位のポイント



居住地区 × 「市内の好きな場所」上位5位のポイント



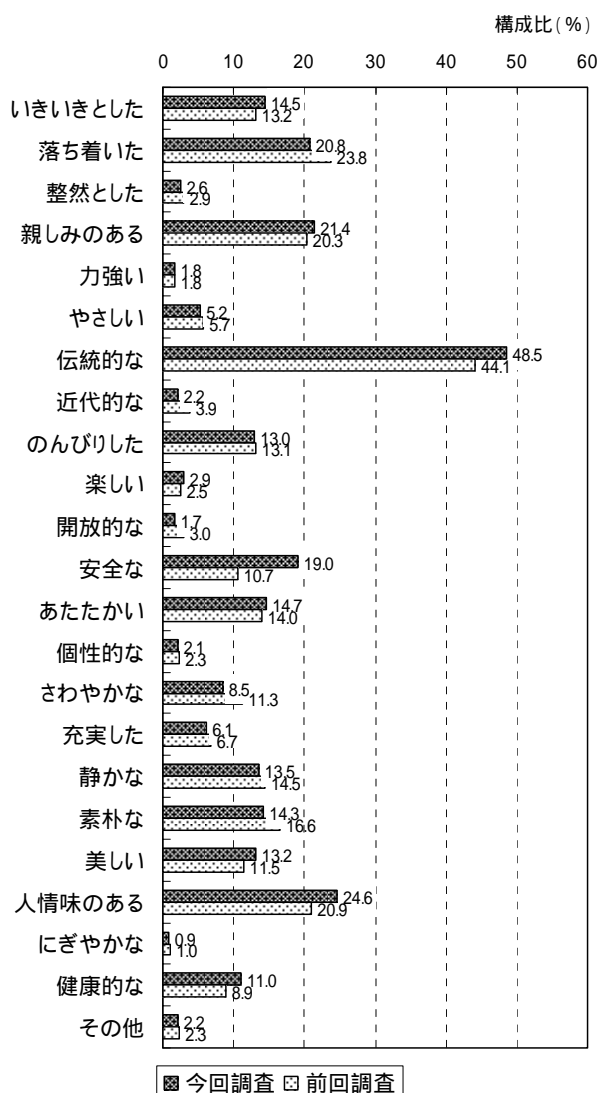


## (21) 将来の佐倉市のイメージ

「伝統的な」が48.5%と最も多く、「人情味のある」が24.6%、「落ち着いた」と「親しみのある」がともに2割程度となった。

前回調査時と比べ、「伝統的な」と「人情味のある」イメージを期待する傾向がやや強まっていること、「安全な」イメージを期待する方が10.7%から19.0%に増加したことが特徴である。都市の安全性確保も今後の大きな課題といえる。

将来の佐倉市のイメージ



## (8) 将来の佐倉市のイメージとして次のどの言葉がふさわしいとお考えですか (MA)

順位	カテゴリ	件数	構成比* (%)	前回調査 (%)
1	いきいきとした	420	14.5	13.2
2	落ち着いた	605	20.8	23.8
3	整然とした	75	2.6	2.9
4	親しみのある	621	21.4	20.3
5	力強い	52	1.8	1.8
6	やさしい	151	5.2	5.7
7	伝統的な	1,408	48.5	44.1
8	近代的な	63	2.2	3.9
9	のんびりした	378	13.0	13.1
10	楽しい	83	2.9	2.5
11	開放的な	50	1.7	3.0
12	安全な	553	19.0	10.7
13	あたたかい	426	14.7	14.0
14	個性的な	60	2.1	2.3
15	さわやかな	248	8.5	11.3
16	充実した	178	6.1	6.7
17	静かな	391	13.5	14.5
18	素朴な	416	14.3	16.6
19	美しい	384	13.2	11.5
20	人情味のある	714	24.6	20.9
21	にぎやかな	27	0.9	1.0
22	健康的な	320	11.0	8.9
23	その他	63	2.2	2.3
	不明	124	-	-
	サンプル数 (%ベース)	3,028	264.7	255.0

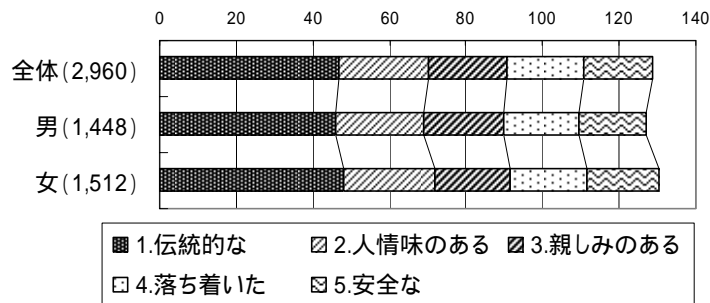
構成比\*：不明を除く

### <クロス集計結果でみた特徴>

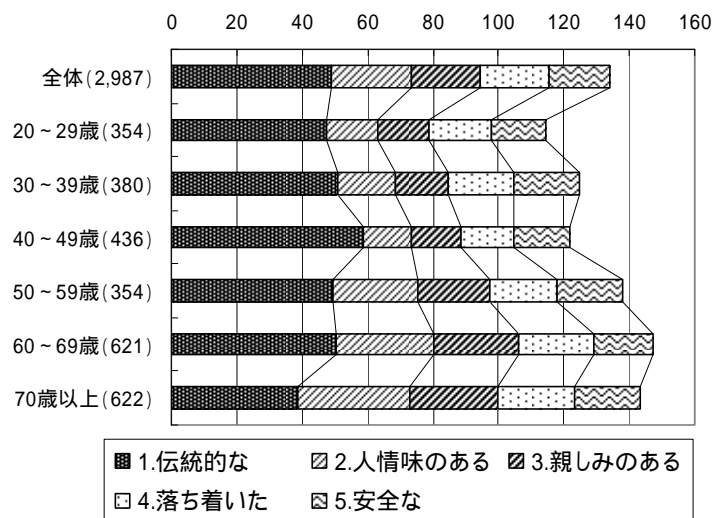
年代別にみると、特に20～40歳代の方で「伝統的な」、「のんびりとした」、「素朴な」まちに対する指向が強い。

地区別にみると、根郷地区、和田地区、弥富地区で「親しみのある」と「人情味のある」が、佐倉地区では「落ち着いた」や「伝統的な」がキーワードとして支持された。

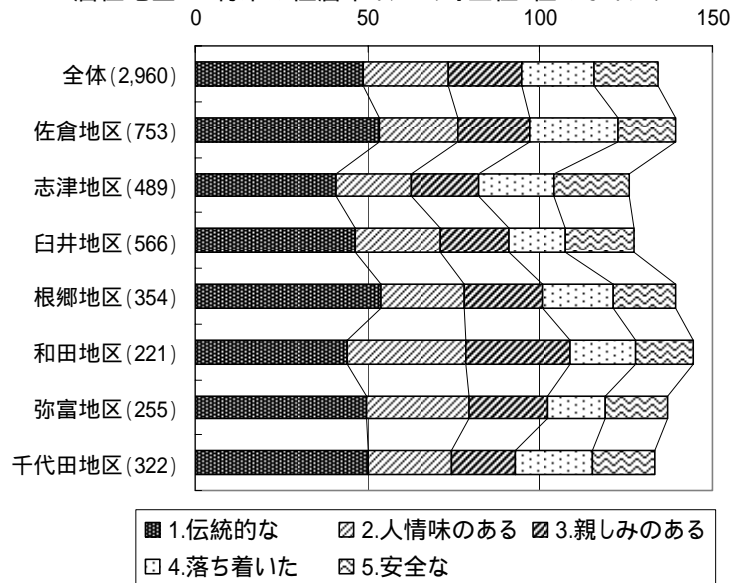
性別 × 「将来の佐倉市のイメージ」上位5位のポイント



年代 × 「将来の佐倉市のイメージ」上位5位のポイント



居住地区 × 「将来の佐倉市イメージ」上位5位のポイント



## ・ 市民意識調査結果から見た問題点と課題

佐倉市民の地域に対する意識、まちづくりに対する意見・意向等の調査結果から、佐倉市の問題点・課題を抽出した。

<p>(1) 調査対象者の属性からとらえられた問題点・課題</p>	<p><b>①住居形態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一戸建て（持ち家）」が圧倒的に多く、前回調査よりも持ち家率はさらに高まっている傾向。</li> <li>⇒「まちづくりと都市のゾーニング」、「防災・防犯体制づくり」が課題である。</li> </ul> <p><b>②勤務先（生計の主体者）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐倉市内が約4割、前回調査よりも10ポイント以上上昇している。一方、「東京都」は前回調査の26.8%から17.7%に低下した。</li> <li>⇒地域別やブロック別に交通網整備が課題である。</li> </ul> <p><b>③日常の買い物場所</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市内のショッピングセンター（SC）」50.0%、「近所の商店街」が2割、「近隣市のSC」が約2割。依然として「市内のショッピングセンター（SC）」などの大型店が強力である。</li> <li>⇒地元商店街の活性化は全国的な大きな課題、高齢化の進行に対応した都市機能としての商店街整備が課題である。</li> </ul> <p><b>④週末に過ごす場所</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市内のショッピングセンター（SC）」2割、「市外の大規模SC」約2割で、大型商業施設の利用が多い。10年前と比べて、より遠距離の商業施設に顧客が流失をしている状況がある。</li> <li>⇒道路の整備の進行、車利用の増加、さらに佐倉市内のSCの魅力低下が推察される中、中心市街地のあり方が問題となっている。</li> <li>⇒「市内の公園・緑地」の利用は、1割程度でこの利用の促進が課題。</li> <li>⇒「夫婦と子供」のいる世帯では、特に週末になると「市外の大規模SC」に行く傾向が強い。都市中心地の魅力向上、機能のレベルアップが課題である。</li> </ul>
<p>(2) 「住みやすさ」の設問からとらえられた問題点・課題</p>	<p><b>①住みやすくなったか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「住みよくなった」が約3割、「住みにくくなった」が2.5割でほぼ拮抗している。前回の調査では「住みよくなった」が約4割、「住みにくくなった」は約2割であったことから、住みよさの面での改善スピードが鈍化している。</li> <li>・年代別にとらえると、40歳代で「やや住みにくくなった」という</li> </ul>

	<p>意見が多く、地区別では、「住みよくなった」との回答は志津地区に多い。前回の調査では、佐倉、志津、臼井、根郷、千代田の各地区であったことから、地区は減少した。また「住みにくくなった」という回答は、和田地区と弥富地区で多い。両地区の居住環境悪化がうかがえる。</p> <p>⇒良好な居住環境を有する都市として、「住みやすさのPR」や「改善のスピード」の速さをいかに伝えていくかが課題である。</p> <p>⇒地区別に環境悪化が目立つところに対する対応が早急に必要である。</p> <p>②「住みよくなった」理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「買物の便」「周辺環境の改善」が約4割を占める。</li> </ul> <p>③「住みにくくなった」理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「周辺環境の改善」が約半数、「風紀の改善」や「買い物の便」にもやや問題がある。</li> <li>・男女ともに「周辺環境の悪化」が挙げられ、その改善が期待されている。</li> <li>・臼井地区と根郷地区での「周辺環境の悪化」改善の遅れ、和田地区と弥富地区での「通勤通学の便」の改善停滞が問題としてとらえられる。</li> </ul> <p>⇒「周辺環境の改善」に関しては、市民の判断が分かれている。二輪車や車両交通量の増加、街路灯の相対的な暗さ、犯罪の発生等地区ごとの改善課題があると思われる。</p>
<p>(3)「今後の定住の意向」の設問からとらえられた問題点・課題</p>	<p>①住み続けたいか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住志向は強まっている。男性の定住志向が女性を上回った。</li> <li>・年代別では、高齢者では住み続ける意向が強い。</li> <li>・「夫婦と子供(長子が18歳以上)」の世帯でやや将来の転出意向が強い。</li> </ul> <p>⇒定住促進の要素の見極め、その水準の向上が課題である。</p> <p>⇒「通勤通学の便」、「周辺環境の改善」が主な課題である。</p> <p>⇒20～30歳代の比較的若い層や「夫婦と子供(長子が18歳以上)」の世帯で、「通勤通学の便」の悪さが定住のネックとなっている。この改善は長期的な課題といえる。</p> <p>③近所とのつき合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつする程度」が多く、前回の調査と比較しても近所づきあいは希薄になっている。高齢者の方が、より深い近所づきあいを</li> </ul>

	<p>傾向がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「農林業」、「自営工業」、「自営商業・サービス業」では、やはり地付きの事業所として近所づきあいの密度の濃さが感じられた。</li> </ul> <p>⇒都市化の中での心の触れ合いのあるまちづくりが課題といえる。</p>
<p>(4)「市の施設の利用」の設問からとらえられた問題点・課題</p>	<p><b>①過去3年間の市の施設利用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用」と「未利用」の割合はほぼ半々。全体的に「利用したことがない」人が特に多く4割程度。</li> </ul> <p>⇒未利用者に対する利用促進の阻害要因の検討を踏まえて、積極的なPRの実施が課題といえる。</p> <p><b>②満足度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用の不満感は少ないといえるが、「普通」と答えた人が6割以上もある。</li> </ul> <p>⇒施設とサービスの水準のあり方、不満感の要因の把握等をもとに改善プログラムを作成し実行して行くことが課題である。</p> <p><b>③公共施設の今後</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「可能な限り維持」との回答が約4割、「必要不可欠な施設だけ、それ以外は廃止も」が約3割、半数以上は各施設の統廃合を検討すべきとの意見。</li> <li>・市内の各地区によって、施設統廃合に対する意見は異なる。</li> </ul> <p>⇒施設運営の役割と意義が改めて問われる時代になっている。</p> <p><b>④公共施設サービスと費用負担</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過半数は、「税負担を抑え利用者負担を増加・サービス水準を向上」すべしとの意見、「利用者負担抑制、ひろく市民の税金による負担増・サービス水準を維持」、「税の負担抑制、サービス水準低下やむなし」が約2割であった。</li> </ul> <p>⇒公的施設の運営経費削減、効率の向上、受益者の負担や責任の明確化など時代の要請にあった改革改善が課題である。</p>
<p>(5)「佐倉市全体として取り組むべき事業」の設問からとらえられた問題点・課題</p>	<p><b>①今後最も不安に感じるもの</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の不安の第1位は「老後の自分の世話」、第2位は「自分や家族の健康」、「生計や所得水準」や「地域の治安」に対する不安も強い。</li> <li>・70歳以上の年代では、約7割が老後に不安を感じている。</li> <li>・佐倉と志津の両地区で「老後の自分の世話」に不安が多く、和田と弥富では「営業・営農等の継続」について不安感を持っている。</li> </ul>

	<p><b>②あなたの老後の生活</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老後の生活に関しては、6割以上の方が「仕事を持つ」意向で、「社会参加、生きがいのため仕事を続ける」との意見も多い。</li> </ul> <p><b>③今後の市政で特に力を入れてほしいもの</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「高齢者医療や介護サービスなど高齢福祉充実」が約6割、「救命・救急などの医療体制の充実」が約5割。「防犯活動の強化」と「歩道や自転車・歩行者道」、「ごみ処理体制の充実」、「防災体制の強化」の希望も多い。</li> </ul> <p>⇒生活者のニーズは多様であるが、高齢化社会のなかで安全で安心のできる暮らしをどのようにして提供するかが課題である。</p> <p>⇒「行財政改革の推進」に対しても期待は大きく、この対応も今後不可欠な改善事項としてとらえられた。</p> <p>⇒また30、40歳代で「救命救急」に対する期待が強いこと、60歳以上での「高齢福祉の充実」に対する期待をふまえ、広域救急体制の整備、地域の中心的病院の確保も必要となる。</p> <p>⇒年代を問わず、「ごみ処理体制の充実」や「自然環境の保全」が期待されておりこの面での対処も必要と考えられる。</p> <p>⇒和田地区、弥富地区、千代田地区の3地区においては「産業廃棄物などの規制強化」の期待にも応えていく必要がある。</p>
<p>(6)「地域における市民参加」の設問からとらえられた問題点・課題</p>	<p><b>①地域のコミュニティ活動への参加意識</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「参加の意向がある」と回答したのは約8割と高率。しかし20、30歳代で「参加しない」、「わからない」という回答も多い。</li> <li>・「会社員」や「学生」で、「参加しない」、「わからない」との意見が比較的多い。</li> <li>・佐倉地区で「わからない」、根郷地区では「参加しない」との意見が少なくない。</li> </ul> <p>⇒如何に参加の門戸を広げるか、参加の意義を高めるかを考慮しつつ、積極的な情報提供と活動結果の提示を的確に行うことで、参加者の増加を図ることが課題と思われる。</p> <p><b>②過去1年間の活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自治会・町内会」や「祭りなどの催し」、「道路等の清掃」が現状では主な活動となっている。</li> <li>・「自治会・町内会活動」と「祭りなどの催し」においては、20歳代と50、60歳代の方が比較的多く参加している。</li> </ul> <p>⇒活動によっては、20歳代の参加者もかなり多く、幅広い年代層の</p>

	<p>参加を呼びかけ、地域の一員としての役割と意義ある活動の内容を明示して行くことが期待される。</p>
<p>(7)「行政に対する市民参加」の設問からとらえられた問題点・課題</p>	<p><b>①市に対する要望、意見の伝達方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自治会や町会の役員に話す」、「市の職員に話す」が主で、「市民相談を利用する」方も少なくない。市民の発言に対する姿勢は、積極的になってきていると思われる。</li> <li>・和田地区、弥富地区、千代田地区の3地区では「自治会や町内会の役員に話す」方が多く、自治会や町内会が地域のコミュニティの組織として確立している感が強い。</li> </ul> <p><b>②市民として参加したい計画部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「街づくり部門」、「福祉部門」、「防災・防犯」、「環境部門」が各々2割強が多い。「防災」に対する危機意識が高まってきている。</li> <li>・男性では「街づくり」と「防災・防犯」が、女性では「福祉」と「環境」部門企画参加の指向が強い。</li> </ul> <p>⇒市民の参加要望は強い。積極的に意見を吸収して行く組織作り、と合意形成、討議の過程の開示を行うことが期待されている。</p>
<p>(8)「佐倉市の都市イメージ」の設問からとらえられた問題点・課題</p>	<p><b>①積極的に評価できること長所</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の歴史や伝統」、「自然環境」のよさが挙げられた。</li> <li>・「買い物の便利さ」もかなり評価された。</li> </ul> <p><b>②市の短所、欠点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の経済発展」、「通勤通学の便」、「買い物の便利さ」、「保健・医療・福祉の水準」などが問題となっている。</li> </ul> <p>⇒地域経済の活性化と通勤通学の利便性向上は、今後の大きな課題と言える。</p> <p>⇒「買い物の便利さ」に対する評価においては、居住地近隣の地元商店街の不振が、市民に不便さとして実感されているのではなかろうか。この活性化も大きな課題としてとらえるべきであろう。</p> <p><b>③今後の都市づくりに対する考え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然豊かな環境と調和したまち」、「水と緑の豊かな都市」が上位に挙げられた。また20代の若い人の「国立歴史民俗博物館・・・」に対する支持の高さも目立った。</li> </ul> <p><b>④市内の好きな場所、もの</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国立歴史民俗博物館」が最も多く、「川村記念美術館」が第2位、以下「佐倉城址公園」、「佐倉市民花火大会」、「佐倉チューリップまつ</li> </ul>

	<p>り」と続く。</p> <p>⑤将来の市のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「伝統的な」が最も多く、「人情味のある」が第2位、「落ち着いた」と「親しみのある」も2割程度の支持を得た。</li><li>・前回調査時と比べ、「伝統的な」と「人情味のある」イメージを期待する傾向がやや強まり、「安全な」イメージを期待する方が大きく増加した。</li></ul> <p>⇒都市の安全性確保も今後の大きな課題といえる。</p> <p>⇒良好な自然環境の保全とその活用、様々な地域特性（ハードの施設と地域コミュニティや住みやすさなどのソフト面）の見直しと地域資源の掘り起こし、「農・工・商連携」の強化など都市の活性化テーマを決め、市民の力を活かした諸施策の展開が期待される。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



## その他の意見

- ・ 合計 1,388 件の意見が寄せられた。
- ・ 記述内容の傾向をとらえると、道路や歩道に関する意見が最も多く 184 件、第 2 位はまちづくりの 112 件、第 3 位はバスや鉄道に関する意見で 107 件となっている。なお、1 人の方が複数の内容の意見を記述した場合はそれぞれを 1 件として集計した。

	区 分	回 答 数
1	道路・歩道	184
2	まちづくり	112
3	バス・鉄道	107
4	市職員	96
5	税金	95
6	行政改革	89
7	公共施設	87
8	自然環境	69
9	イベント	57
10	安全・安心	55
11	上下水道	48
12	商業振興	41
13	学校教育	37
14	街路灯	36
15	医療	35
16	ゴミ処理	33
17	高齢者対策	27

	区 分	回 答 数
18	駅前開発	23
19	アンケート	20
20	霊園	16
21	住民のマナー	14
22	福祉	13
23	ペット・小動物	12
24	公園	12
25	障害者対策	11
26	農業振興	10
27	雇用創出	8
28	市民相談	7
29	地域振興	6
30	ボランティア	5
31	市出張所	5
32	市役所	3
33	その他	15
	合 計	1,388

1. 道路・歩道

道路の整備	55
歩道の整備	36
交通渋滞を緩和してほしい	12
自転車専用の歩道があればよい	10
歩道を拡張してほしい	8
イベント時の交通規制がとて不便である	6
佐倉市内でも町内と村外れでは道路整備に格差がある	5
背の高い街路樹があるため、道路の見通しが悪くなって	5
道路工事が多い	4
年度末に行われる道路工事は本当に必要なのか	4
住宅街に大きな幹線道路が通り、住環境が悪化した	4
カーブミラーを設置してほしい	4
整備途中の道路を早急に進めてほしい	3
遊歩道の整備	2
市街化調整区域は発展の妨げとなっている	2
弥富地区は調整区域のため、新しい家が増えない	2
農村部でもU字溝や排水、浄化の工事を1年毎に行ってほ	2
バイパスを整備してほしい	1
太田堂前のT字路に専用の右左折ラインをつくってほしい	1
弥富地区の道路整備や除草作業など、いつも後回しにされ	1
農道の整備	1
舟戸大橋を拡張してほしい	1
ガードレールを設置してほしいところがある	1
道路工事など、市民に内容を確認してほしい	1
事故のない道路を整備してほしい	1
調整区域を見捨てないでほしい	1
道路からの騒音がひどい	1
歩道にある街路樹は歩行者の妨げにならないよう剪定して	1
街路樹がいつも短く剪定されているため、美しい様子がうか	1
がえない	1
楠通りの街路樹が茂り、街灯が役に立っていない	1
道路脇の除草作業を行ってほしい	1
完成している道路があるのに閉鎖されている	1
電線の地中化を進めてほしい	1
無駄な信号が多い	1
坂や道の途中に固定ベンチがあるとよい	1
横断歩道を増やしてほしい	1
道路網の開発	1
件数	184

3. バス・鉄道

交通機関を充実してほしい	56
コミュニティバス・ふれあいバス・ミニバスを運行してほしい	19
市内バスの本数や運行時間、ルートを検討しなおしてほしい	10
交通網の改善	6
京成とJRの接続がよくなるとよい	3
京成電車の騒音がひどい	1
ユーカリヶ丘駅に特急を停まるようにしてほしい	1
ユーカリヶ丘駅南口のロータリーに赤いコーンを置いている	1
のはなぜか	1
特急の本数を増やしてほしい	1
うすい駅にある市民コーナーの利用者をみかけないので不	1
要である	1
JR佐倉駅にエスカレーターがあればよい	1
JR佐倉駅を駅ビルにしたい	1
白井駅南のロータリーを再開すべきである	1
駅前のタクシー待ち合い駐車場が広すぎる	1
駅前の放置自転車への対策を考えてほしい	1
学生や高齢者専用のバスを確保してほしい	1
バス停にベンチを設置してほしい	1
最近、駅が汚くなった	1
件数	107

2. まちづくり

住みよく、生活しやすい佐倉市になってほしい	15
誰もが安心して暮らせる佐倉市であってほしい	12
安心して老後を過ごせる佐倉市であってほしい	6
特色を生かしたまちづくりを計画してほしい	5
佐倉市がいつまでもよいまちであってほしい	5
伝統は守りつつ、新しいものを取り入れてほしい	5
10年、20年後を見据えた市の活性化に取り組んでほしい	4
歴史や伝統を生かしたまちづくりをしてほしい	4
伝統や文化が保たれるとよい	4
皆にやさしい地域になってほしい	3
佐倉市が発展された町になるとよい	3
佐倉にしかないまちづくりを行ってほしい	2
民間企業と手を取りあって、まちを活性化させてほしい	2
歴史や自然、文化をPRできるまちでありたい	2
子どもを生み、育てやすい佐倉市になってほしい	2
佐倉市を美しいまちにしたい	2
市民一人ひとりが活動し、住みやすい市にできればよいと	2
佐倉市独自のまちづくり政策を望む	2
清掃が行き届いたまちを目指してほしい	2
佐倉城の復元を早急に行ってほしい	2
佐倉の歴史に誇りを持つべきである	2
歴史が感じられる町になるとよい	2
大きなマンションが建ち並び、陽が当たらない	2
今後、市民のための市づくりに頑張ってもらいたい	1
素敵な市にしたい	1
温かみのある市を希望する	1
佐倉市を発展させるためには目先の利益だけでなく、長期	1
的な視点で政策を立案しなければならない	1
活力のある佐倉市になるよう努力してほしい	1
佐倉市のよいところを市外の人に知ってもらいたい	1
住んでみたいと思えるまちづくりを目指すべきである	1
市民が静かに生活できる佐倉市になってほしい	1
高齢者が安心できる地域づくりを目指してほしい	1
子どもが安全に遊べる自然豊かなまちであってほしい	1
地域が分散しているため、全体としての活性化が図りにくい	1
田舎のよさを残したまちづくりをしてほしい	1
市民に負担がこないまちづくりをしてほしい	1
残る21の小学校区にまちづくり協議会が設置されることを	1
伝統的な佐倉市の環境を生かし、発展させることが大切で	1
城下町としての伝統を積極的に市民に伝えてほしい	1
歴史のまちでありながら生かされていない	1
佐倉市の歴史や文化を全国に発信するため、施設等の整	1
備が必要である	1
市民の意識を高めるために文化的な講座を開いてほしい	1
歴史まちづくり法が施行され、佐倉市でもこの法律を活用	1
してほしい	1
城下町としての街並みを大切に、できる限り保護してほしい	1
急激な町の開発に息苦しさを感ずる	1
件数	112

#### 4.市職員

職員の人員を削減してほしい	19
市職員の給与水準を下げてほしい	13
土日や夜間に窓口を開けるべきである	11
市の職員は自分の仕事に責任を持ってほしい	8
市職員が公務員としての認識が強くなり、対応がよくなったと思う	7
職員の態度や対応が悪い	7
各種、手続きに際して親切に説明してほしい	4
出張所の職員の態度が横柄である	3
職員の窓口対応は事務的に行うのではなく、親身になって対応してほしい	3
職員の資質向上を望んでいる	3
市民に対し、やさしい態度で接してほしい	2
職員の電話対応が悪い	2
職員のやる気のなさに腹立たしさを覚えた	2
職員の対応が遅い	1
職員の能力にあった給与にしてほしい	1
職員は問題に対して、早急に対応するべきである	1
職員が仕事中に私用事をしている	1
職員は佐倉市民のことをもっと考えてほしい	1
職員が利用する公用車が多い	1
職員が利用する公用車は軽自動車にすべきである	1
マナー研修を職員も受けるとよい	1
臨時職員の雇用条件について、なぜ1か月の休みを取らなければいけないのか	1
市の職員は市民の困っている姿を理解していない	1
市民が相談すれば、親身になって対応してほしい	1
年度変わりなど、職員の引継ぎができていない	1
件数	96

#### 5.税金

各種の税金が高額である	45
税金を有効に使ってほしい	21
税金の無駄づかいをなくしてほしい	19
住民・市民税を見直してほしい	7
消費税をこれ以上、上げないでほしい	2
財政を確保するために印旛沼に競艇場をつくればよい	1
件数	95

#### 6.行政改革

市議会議員の定員を減らしてほしい	6
無駄な公共事業を見直してほしい	5
市民のための行政を第一としてほしい	4
市職員の退職金減額の見直しをしてほしい	3
業務の効率化を図ってほしい	3
様々な施策について、市民の意見を聞きながら進めてほしい	3
市に対する苦情や要請は市長まで届いていない	3
市の仕事を自治会に委託しないでほしい	3
合理化と簡素化を進め、市民が納得できる市政にしてほしい	2
定期的に市民の意見を聞き、市民参加ができるとよい	2
市民の要望や意見を真摯に受けとめてほしい	2
民間企業出身の市長のため、民間の思想を取り入れた行政にしてほしい	2
市議会議員の報酬を減らすべきである	2
団塊の世代の方を市民の力として活用してはどうか	2
健全な財政構造の確立を目指してほしい	2
各部署において、目標をたて取り組んでほしい	1
市役所内に課が多い	1
一般社会では考えられない手当が職員に支払われている	1
各地区に行政担当者を配置させ、地域内の問題を解決してほしい	1
市職員採用について、年齢制限等をなくし、経験豊かな人材を採用してほしい	1
市職員の採用はきちんと選考して決めてほしい	1
公共施設の清掃はできる限り、職員が行い、人件費を減らすべきである	1
市組織の統廃合を図ってほしい	1
業務の連携ができる組織運営をしてほしい	1
市民と一体になり、市政に取り組んでほしい	1
市民の立場になった市政をしてほしい	1
地域格差のない行政を進めてほしい	1
他市町村の市政運営を参考にしてほしい	1
市の取り組みに積極的に関わってもらえるようにアピールしなければいけない	1
正直者が損をしない行政であってほしい	1
市の目指すものを具体的にPRすべきである	1
市民が市政に参加できる手段や方法を考えてほしい	1
佐倉市で取り組んでいることを広報紙や資料等で知らせてほしい	1
市民に頼るだけでなく、職員が改善しなければ市民は納得しない	1
サービスを向上させつつ、経費を削減してほしい	1
新市長がリーダーシップになり、改革を進めることに期待している	1
市長の顔が見えるようにしてほしい	1
市長が積極的に地域行事へ参加している姿は好感が持てる	1
市長の考えをはっきりさせ、具体的な方向性を示してほしい	1
副市長は佐倉市在住の方にしてもらいたい	1
次世代を育てることが市の発展の基になると考えている	1
市役所内にテレビ等は不必要である	1
市役所内では冷暖房が効きすぎている	1
公共施設の電気等は節電してほしい	1
平和条例をアピールし、平和な行政を推進してほしい	1
市内で整備されていない場所がたくさんあると思う	1
市議会などの透明性を向上してほしい	1
市議会で質問に対して書かれた原稿を読むだけの議員は辞めるべきだと思う	1
議会での代表質問はいつも変わりばえしない答えのように感じる	1
佐倉市がアピールできるものが必要である	1
増税にならないために無駄をなくす工夫してほしい	1
税金の使われ方に偏りがある	1
厳しい財政状況を常に考慮して行動してほしい	1
財政再建ができるよう徹底的な見直しが必要である	1
補助金の不正流用がないのか調べてほしい	1
税金の用途を透明化させてほしい	1
証明書等の手数料が他市町村に比べ、高いように感じる	1
行政に対して、より関心を持ちたい	1
市に期待をしているが、この期待をどのように伝えればよいのか	1
広報をわかりやすくしてほしい	1
件数	89

7. 公共施設

市のスポーツ施設をつくってほしい	12
図書館の蔵書数が充実していない	6
市内に1,500人以上が入るホールが必要である	3
駅前に図書館をつくってほしい	3
気軽に利用できる公共施設があるとよい	3
グランド施設が非常に少ない	3
広場や公園を増やしてほしい	3
文化会館を建ててほしい	2
白井地区に公共施設が少ない	2
図書館でゆっくりと本を読める環境ではない	2
千代田地区に図書館をつくってほしい	2
公共施設職員への対応が悪い	2
プールを温水プールにしてほしい	2
佐倉城址公園に造園業者が入っているが、雑な仕事をして公園の整備は市が責任を持って行うべきである	2
まわりに気がねなく遊べるドッグランがあればよい	2
駅の近くに市民会館があるとよい	1
和田地区にある“和田公民館”と“和田ふるさと館”を1つにすることはできないのか	1
染井野に図書館をつくってほしい	1
図書館の開館時間が長いので、利用しやすい	1
図書館が遠いため、駅近くに本の返却ポストがあればよい	1
佐倉図書館を改築してほしい	1
図書館は利用しやすいものであってほしい	1
インターネットで図書館の本を予約できる機能がありがたい	1
施設を統廃合し、より一層充実してほしい	1
無駄な公共施設はつくらなくてほしい	1
健康管理センターを明るく、清潔感あふれるところにしてほしい	1
移動図書館を実施してほしい	1
公共施設の利用時に職員が昼休みを取っている間、手続きの対応が遅れ、スムーズに利用できない	1
公共施設を利用する際、手続きなど親切に教えてほしい	1
公共施設に市民から募ったパートさんが働いているが、毎年同じ顔ぶれであり、誰もが平等に雇うべきではないか	1
公共施設では市民の立場になって開放的な雰囲気づくりを希望する	1
野外施設のトイレの清掃が行き届いていない	1
公共施設のトイレの扉が障害者や高齢者には利用しにくい	1
公共施設はバリアフリーにしてほしい	1
市内にはたくさんの団体・グループ・ボランティア活動があるが、横のつながりがまったくない	1
健康管理センターで健康体操を行っていたが、突然借りられなくなった	1
国立歴史民俗博物館を有効に活用してほしい	1
美術館は無駄な空間だと思う	1
格安に利用できるプールがあればよい	1
岩名プールに乳幼児が入れるようにしてほしい	1
体育館を増やしてほしい	1
市の施設を利用する機会が今までなかった	1
娯楽施設を増設してほしい	1
各地区に公共施設をつくっているが、違う地区の者が単独で使える施設がない	1
ミレニアムセンターの浴場は必要なのか	1
音楽ホールや美術館では指定管理者を導入しないのか	1
音響のよいホールをつくり、有名なアーティストを呼んでほしい	1
市内にゲートボール場をつくってほしい	1
老人福祉センターを趣味で利用しているが、カラオケが思うように機能しない	1
公民館にスポーツができる場があるとよい	1
件数	87

8. 自然環境

自然を破壊しないでほしい	16
自然環境を保全・整備してほしい	9
大木や草の除草を行政で行ってほしい	7
草刈りがされていない場所の不在地主に対し、草刈りを要請すべきである	6
これ以上、緑をなくさないでほしい	5
印旛沼をきれいにしてほしい	4
自然を大切にしてほしい	3
印旛沼を憩いの場にしてほしい	2
地球温暖化への対策を強化してほしい	2
高崎川の汚れが目立つ	1
印旛沼周辺が整備され、魚が住みにくい環境になった	1
印旛沼周辺が整備され、景色がよくなった	1
印旛沼周辺で繁殖しているカミツキガメへの対策をお願いしたい	1
印旛沼周辺で楽しめる場所をつくってほしい	1
姥ヶ池を浄化してほしい	1
市内に緑や季節を感じられる木々があるとよい	1
野鳥の森周辺の開発が進み、野鳥の数が減ったように思う	1
自然とふれあえる場所を増やしてほしい	1
河川の土手に樹木や草花を植え、楽しめるようにしてほしい	1
マンションが建ち並び、静かでない騒音が奪われた	1
佐倉市にある湧水地を守ってほしい	1
環境問題への意識を高める必要がある	1
街路樹の剪定を年に数回行ってほしい	1
除草作業をしたときは草を残さず持ちかえってほしい	1
件数	69

9. イベント

佐倉市民花火大会をこれからも継続してほしい	16
佐倉市民花火大会を廃止してほしい	14
佐倉市で楽しいイベントを増やしてほしい	3
市民参加型のイベントを計画すべきである	1
イベントを廃止するのではなく、規模を縮小して継続してほしい	1
自然を生かしたイベントを行ってほしい	1
高齢者が利用できるスポーツ・サークル活動を増やしてほしい	1
佐倉市民花火大会を見直してほしい	1
佐倉市民花火大会を1年おきに実施すればよい	1
佐倉市民花火大会を有料化すればよい	1
佐倉市民花火大会での駐車場確保や車の誘導があれば、全国からたくさんの方が来ると思う	1
佐倉市では城下地域以外の行事があまりない	1
佐倉秋まつりの期間を短縮してほしい	1
佐倉秋まつりの運営方法を改善する必要がある	1
佐倉秋まつりの行列等を廃止してほしい	1
佐倉マラソン大会は年代をわけて走らせてほしい	1
人口増に伴い、地域コミュニティが足りないように感じられる	1
地域のコミュニティ広場が必要である	1
新興住宅地の方との交流が希薄である	1
人と人とのふれあいが減少している	1
佐倉市民カレッジを継続してほしい	1
佐倉市新町通りの商店街に活気が戻るとよい	1
観光の市として発展できるとよい	1
さくら祭りの際、公園内に露店を出さないようにしてほしい	1
自然に関する行事は大切にしていきたい	1
趣味の教室やサークルを充実してほしい	1
スポーツや文化的な講座を土日に開催してほしい	1
件数	57

10. 安心・安全

違法駐車に対する取り締まりを強化してほしい	7
ゴミの違法投棄への取り締まりを強化してほしい	7
通学路の安全が確保されるとよい	7
防災さくらが聞き取れない地域が多いため、改善してほしい	6
防犯対策を強化してほしい	5
水害対策に力を入れてほしい	4
防災対策を充実してほしい	3
交通違反をする運転者を取り締まってほしい	3
空巢や不審者情報が相次ぐ中、交番を設けて治安悪化を防いでほしい	2
地域別の防災組織が進んでいない	1
緊急時の放送内容が聞き取れない	1
防災無線で情報を提供してほしい	1
災害時避難場所の耐震構造の強化を図るべきである	1
積極的に防災訓練へ参加するようPRが必要である	1
運転マナーを守らない人へ警察から指導してほしい	1
佐倉警察の電話対応が悪い	1
警察による防犯パトロールを強化してほしい	1
暴走族やローリング族を追放してほしい	1
夏の深夜に大きな音で花火をする人を取り締まってほしい	1
歩道に自転車を放置したり、看板等が置かれているのを注意してほしい	1
件数	55

11. 上下水道

早急に上下水道を整備してほしい	31
他市町村に比べ、水道代が高額である	6
側溝の整備	6
側溝に蓋がない	3
地下水源があるのに利根川の水をひく必要はない	1
下水道負担金についての説明がほしい	1
件数	48

12. 商業振興

駅前に商業施設があるとよい	11
商店街の活性化が必要である	9
商業施設を充実してほしい	5
大規模なショッピングセンターを誘致してほしい	3
商店街が閉鎖的である	2
ベイシア周辺の開発を進めてほしい	2
看板等を規制し、街並みの美化に努めてほしい	2
個人商店など、さびれていくのは当然のことだと思う	1
新町通りに活気が必要である	1
街中や商店街に草花をたくさん植えてほしい	1
買い物ができるところを増やしてほしい	1
市内に魅力的な施設があるとよい	1
飲食店を増やしてほしい	1
市内にあるスーパーの営業時間を統一してほしい	1
件数	41

13. 学校教育

教育水準の向上を望む	4
幼稚園を3年保育にしてほしい	3
各小学校で学童保育を実施してほしい	2
教育や社会福祉に力を入れてほしい	2
小学校区制をなくしてほしい	2
子育て支援に力を入れてほしい	2
児童手当がすべての方にもらえないのは不公平である	2
少子化が進む中、子どもが多く転入してくる魅力ある町づくり・学校づくりをしてほしい	1
少子化対策を進めてほしい	1
学童保育の対象を6年生までにしてほしい	1
学童保育は地域性にあったやり方で実施してほしい	1
児童が減少し、深刻な問題となっている	1
自校式給食で子どもたちにおいしい給食を続けられることがよい	1
教育に関して、わかりやすい情報があればよい	1
大学を誘致してほしい	1
教育においても都市部と農村部で格差がある	1
仕事をはじめてから慣らし保育は不可能である	1
保育施設を充実してほしい	1
通学路の除草作業をこまめに行ってほしい	1
佐倉市の次世代を担う青少年の育成に力を入れてほしい	1
子どもへの教育(生き方やしつけ)を教えなければいけない	1
子どもの教育のため、複式学級を行わないでほしい	1
学力テスト(全国一斉)を廃止してほしい	1
いじめ対策に力を入れてほしい	1
スクールバスを導入してほしい	1
学校のトイレをすべて洋式にしてほしい	1
「ありがとう」や「すみません」が自然に言える教育や社会であってほしい	1
件数	37

14. 街路灯

街灯の増設	19
街灯の設置	8
街灯が暗い	4
消えている街灯を修理してほしい	3
街灯の電気代を町内会未加入者が支払わないのは不公平である	1
市内にある街灯の明るさを統一してほしい	1
件数	36

15. 医療

医療機関を充実してほしい	6
乳幼児医療費助成の対象年齢を見直してほしい	5
乳がん検診など、対象者全員に知らせるべきである	2
医療費を軽減してほしい	2
地域の医療体制を確立してほしい	2
産婦人科や小児科など、専門科が不足している	2
救急医療機関を整備し、受け入れ体制を整えてほしい	1
医療や介護問題に不安がある	1
乳幼児や高齢者の医療負担を軽減してほしい	1
重度障害者を介護しているが、介護できない場合は病院でみてほしい	1
子宮がん検診を毎年実施してほしい	1
医療機関の現状をそのまま維持してほしい	1
医療に力を入れてほしい	1
健康診断の項目に眼科も入れてほしい	1
佐倉市で行われている健康診断が充実していない	1
健康診断を以前のように無料で行ってほしい	1
健康診断の内容を充実してほしい	1
健康診断が40歳以上に限定され、不満に思っている	1
子どものインフルエンザ予防接種も助成してほしい	1
緊急時の医療体制を確立してほしい	1
午後、病院で診察できるようにしてほしい	1
身近に総合病院があるとよい	1
件数	35

### 16. ゴミ処理

自宅の敷地内で家庭ゴミを燃やしている方がいるので注意してほしい	6
10リットル用のゴミ袋があるとよい	6
ペットボトルやトレーを市で回収してほしい	2
ダンボールや発泡スチロール等を定期的に市で回収してほしい	2
ゴミ分別袋の種類が多い	2
粗大ゴミの持ち込み日を増やしてほしい	1
ゴミの分別が複雑すぎる	1
夜間、ゴミ出しをする人を見まわり、指導してほしい	1
植木等のゴミや草、落葉を肥料にして販売してはどうか	1
ゴミは分別して、リサイクルを心がけてほしい	1
雑芥袋は集積所で収集してほしい	1
ゴミ収集車の運転が雑である	1
ゴミ袋を指定しないでほしい	1
町内会に加入していないため、新聞やダンボール等の回収に困っている	1
ゴミ集積所を整備してほしい	1
ごみ処理の代金が他地区に比べて高い	1
ゴミ出しのマナーを守らない人がいる	1
産業廃棄物業者への規制基準を見直してほしい	1
市内でクリーン作戦(ゴミ拾い)を行ってほしい	1
稲刈りの時期になると籾すりの粉が飛んでくるので、市の方で対策を考えてほしい	1
件数	33

### 17. 高齢者対策

安心して入所できる介護施設を増やしてほしい	4
老後にやさしい住居であってほしい	3
高齢者が集える場があるとよい	2
年金問題について、安心させてほしい	2
高齢者が働ける場を増やしてほしい	1
独居になった場合、買い物等を頼ればボランティアの方が届けてくれるシステムになるとよい	1
高齢のため、今後の生活を考えると不安である	1
養老院がたくさんあればよい	1
高齢者ひとり暮らしの方を保護する仕組みづくりを希望する	1
超高齢化社会になった場合のサポート体制を考えてほしい	1
高齢者に対するサービスを充実してほしい	1
高齢者に対する介護や医療方針を確立してほしい	1
高齢者が参加できるスポーツセンターがあるとよい	1
高齢者が運動できる場をつくってほしい	1
今後、介護サービスが受けられるのか不安である	1
高齢化対策が必要である	1
老人食などを教えてくれる教室があるとよい	1
送迎付きの老人教室は高齢者が楽しめる企画だと思う	1
子どもと高齢者が一緒に過ごせる場がほしい	1
介護保険はたくさんの方の制約があるため、利用しにくいところがある	1
件数	27

### 18. 駅前開発

JR佐倉駅北口側を活性化してほしい	7
京成佐倉駅前にマンションが建設されたが佐倉の街並みには合わない気がする	7
駅周辺だけが発展・活性化しているように思う	3
駅前にマンションが建つだけでは町は発展しないと思う	2
京成佐倉駅前が活性化されるとよい	2
駅前・駅周辺を活性化させる必要がある	1
駅周辺を大規模開発し、人を集めて活性化すればよい	1
件数	23

### 19. アンケート

このような市民意識調査はとても有効だと思う	5
アンケートの結果を公表してほしい	3
アンケートを無駄にしないでほしい	1
アンケートをどう生かしていくのか、今後示していく必要がある	1
アンケートの意見を有効に活用してほしい	1
調査を行うのであれば、結果をきちんと出してほしい	1
アンケートの問い合わせはフリーダイヤルにすべきである	1
アンケートなど、ホームページから回答できればよいと思う	1
設問が回答しにくかった	1
アンケートは年齢を考えて、送付してほしい	1
意識調査の提出期限についての八がキは必要ない	1
このアンケートは街中や新住民対象の内容に感じられる	1
アンケートで意見を集めるだけでなく、早期に実行してほしい	1
この調査で考える機会を与えてくれたことをうれしく思う	1
件数	20

### 20. 霊園

志津霊園の問題を解決してほしい	11
志津霊園の問題はどうなったのか	2
志津霊園について説明してほしい	2
志津霊園を早期に移転してほしい	1
件数	16

### 21. 住民のマナー

市民のモラル向上を促す活動に取り組んでほしい	5
ポイ捨てが増え、汚い町になっている	3
歩きタバコやポイ捨てへの対策を考えてほしい	2
家のまわりを禁猟区にしてほしい	1
自動車解体屋からの騒音がひどい	1
隣家のゴミ屋敷をなんとかしてほしい	1
禁煙場所での喫煙をなくしてほしい	1
件数	14

### 22. 福祉

高齢者福祉を充実してほしい	2
生活保護世帯に対する支援を充実してほしい	1
生活保護世帯に対し、市の職員が細かく調査を行うべきで	1
生活保護を受けたくても受けさせてもらえない人が多い	1
民生委員は頼りがいのある人を選んでほしい	1
ひとり親家庭や高齢者、障害者に対する助成や支援に力を入れてほしい	1
ひとり親家庭に対する支援が十分でない	1
敬老会の欠席者への記念品は郵送してほしい	1
敬老会に出席しない高齢者が多いため、廃止してほしい	1
敬老会の記念品を現金にしてほしい	1
敬老祝金で銀行口座がなければ市役所の窓口まで取りにいかなければならないが、高齢者にとって困難である	1
社会福祉協議会の活動が市民にわからない	1
件数	13

### 23. ペット・小動物

犬の散歩時にフンを放置したままの飼い主が多いので指導してほしい	5
野良猫の被害が多く、大変困っている	4
野良猫を駆除してほしい	1
スズメバチの駆除をしてくれない	1
犬を飼うために市の登録を行った際、犬鑑札をもらったが大きすぎて付けることができない	1
件数	12

#### 24.公園

ふるさと広場を整備し、市民がいつでも憩えるようにしてほしい	1
公園の中に墓地をつくってほしい	1
利用しやすい公園にしてほしい	1
七井戸公園の川の水を流してほしい	1
宿内公園を公園として残してほしい	1
公園内でバーベキューを行っている人に注意してほしい	1
佐倉城址公園の保全をお願いしたい	1
佐倉城址公園の木々まわりに車が停まらないようにしてほしい	1
佐倉城址公園の入り口にスロープを設置してほしい	1
総合運動公園は必要でない	1
公園にトイレを整備してほしい	1
風車のまわりを憩いの場にすればよい	1
件数	12

#### 25.障害者対策

障害者の自立支援に力を入れてほしい	3
障害者福祉を充実してほしい	2
車椅子利用者が生活しやすい環境になるとよい	1
障害者のことを考え、いろんな面で支えてほしい	1
障害児も健全児と同様の教育を受けさせてほしい	1
障害があっても自治会等に参加したい	1
障害者福祉に関する講座や講演会等を開催してほしい	1
障害者が装着する器具等に補助金があればよい	1
件数	11

#### 26.農業振興

農業の新興に力を入れてほしい	3
市の産業として農業は衰退の一途をたどっている	1
坂戸の農地を有効に利用してほしい	1
田畑への空中農薬散布を中止してほしい	1
他人が人の土地に入り、作物(たけのこ・ふき・くり)などを勝手に獲っていく人がいる	1
荒れた農地を開放し、有効に利用する方法を考えてほしい	1
若者に対し、農業の推進を図ればよい	1
食の安全性が心配である	1
件数	10

#### 27.雇用創出

企業を誘致してほしい	3
働く場所がない	1
中小企業への支援が必要である	1
皆が平等に働けるようにしてほしい	1
子育てしながら働ける環境を整えてほしい	1
零細企業個人事業主を救済・支援する施策を考えてほしい	1
件数	8

#### 28.市民相談

いつでも相談できる場があればよい	2
気軽に相談できる体制をつくってほしい	2
相談できる場を増やしてほしい	1
相談できる仲間がほしい	1
身近な人の相談を聞いている	1
件数	7

#### 29.地域振興

観光ルートを確立し、PRをすることが必要である	2
水田休耕地を利用して佐倉市の特産品をつくってほしい	1
佐倉市の名物となるものと考えてほしい	1
佐倉市の特産品として大和芋を宣伝してほしい	1
農・水・産や加工産業、特産品等の販売・開発に力を入れるべきである	1
件数	6

#### 30.ボランティア

たくさんの方がボランティアに参加できるようにしてほしい	1
ボランティアによる市行政への積極的な参加を推進させる必要がある	1
ボランティア活動者のサポートをしてほしい	1
ボランティア活動を増やしてほしい	1
ボランティア活動への参加方法がわからない	1
件数	5

#### 31.市出張所

出張所等の経費を削減してほしい	1
出張所を廃止しないでほしい	1
出張所職員の見返りが明確ではない	1
出張所を月に1回くらいは土日や夜間の窓口を開けるべきである	1
出張所のイメージが暗い	1
件数	5

#### 32.市役所

市役所庁舎の老朽化が著しい	1
市役所の場所が悪い	1
市庁舎の建て替えは必要ない	1
件数	3

#### 33.その他

周辺都市との合併を検討すべきである	2
回覧物を削減してほしい	1
建設入札など、地元業者を優先に選んでほしい	1
駐輪場の利用料金を大学生も学生料金で利用できるようにしてほしい	1
市内の標識・案内板など、大きくしてほしい	1
郵便局を設けてほしい	1
地デジに対応するための補助金があればよい	1
消防車が出動していても災害はないというアナウンスがあるので、情報は適正に公開してほしい	1
消防団に対する町内の理解が必要である	1
ベトナム周辺の造成地の目的がわからない	1
農村地帯と新興住宅地の発展に格差がある	1
スポーツ広場の地代等を市が援助してくれるとよい	1
スポーツ振興に対する補助金が他市町村より少ない	1
耐震診断や耐震補強工事において、市から補助制度があるとよい	1
件数	15

## アンケート調査票

### 佐倉市民意識調査

#### 佐倉市民意識調査のお願い

秋冷の候、市民の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じ上げます。

さて、佐倉市では、今年度から平成23年度を初年度とする次期基本構想の策定に着手しております。本構想の策定に際しましては、多くの市民の皆様のご参加をいただき、よりよいまちづくりを目指してまいりたいと考えております。

つきましては、市民参加の第一段階として市民意識調査を実施いたしたく、ご多忙中の折お手数とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成20年10月24日

佐倉市長 巖 和 雄

#### [ご記入にあたって]

- あて名のご本人がお答えください。
- あなたのお考えにあてはまる回答番号を選び○印をご記入ください。
- ご回答していただいた内容についての秘密は厳守いたします。  
アンケート調査結果は統計的に処理し、今後のまちづくりの参考資料として用いるものであり、あなたのお名前や回答・内容が他にもれるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。
- この調査票は同封の返信封筒により、**平成20年11月7日(金)**までにご投函ください。
- このアンケートについてのお問い合わせ先  
佐倉市役所 企画政策部 企画政策課 櫻井、榎  
電話 043(484)3374 (直通)



(1) **まずあなたご自身と、ご家族のことについておたずねします。**

①あなたの性別

1. 男 2. 女

②あなたの年齢は。

01. 20～29歳      04. 50～59歳  
02. 30～39歳      05. 60～69歳  
03. 40～49歳      06. 70歳以上

③あなたの職業を1つお選びください。

01. 農林漁業      04. 自由業(医師・弁護士等)      07. 学生      10. 無職  
02. 自営工業      05. 会社員      08. 専業主婦      11. その他  
03. 自営商業・サービス業      06. 公務員      09. パートタイマー

④現在同居している家族構成は、次のうちどれに当てはまりますか。

01. 夫婦と子供(長子が18歳未満)      03. 三世代以上      05. 単身  
02. 夫婦と子供(長子が18歳以上)      04. 夫婦のみ      06. その他

⑤あなたのお住いの地区はどれですか。

01. 佐倉地区      03. 臼井地区      05. 和田地区      07. 千代田地区  
02. 志津地区      04. 根郷地区      06. 弥富地区

⑥あなたはいつごろ佐倉市に転入しましたか。

01. 生まれた時から住んでいる  
02. 約( )年前に転入した (この設問は数字でお答えください。)

⑦あなたのお住まいは次のどれにあたりますか。

01. 一戸建(持家)      03. 一戸建て(賃貸)      05. 社宅・官舎  
02. マンション(持家)      04. アパート・マンション(賃貸)      06. 間借り・寮・住み込み

⑧あなたの生計を主に支えている方についておたずねいたします。その方の勤務先はどちらですか。

01. 市内      03. 成田市      05. 東京都  
02. 千葉市      04. 千葉県内の他市町村      06. その他(都府県名: )

⑨あなたが通勤・通学なさっている場合、その通勤・通学先はどちらですか。

(あなたが生計を主に支えている場合には、⑧と同じ番号をお選びください。)

01. 市内      03. 成田市      05. 東京都  
02. 千葉市      04. 千葉県内の他市町村      06. その他(都府県名: )

⑩あなたが日常の買い物にでかける場合、最も主要な場所を1つお選びください。

01. 近所の商店街      03. 近隣市の商店街      05. 東京都心  
02. 市内のショッピングセンター      04. 近隣市のショッピングセンター      06. その他

⑩あなたが週末など休日を過ごす場合、最も利用するところを1つお選びください。

01. 近所の商店街	06. 市内の公園・緑地など
02. 市内のショッピングセンター	07. スポーツ施設
03. 近隣市の繁華街	08. 市外の公園・緑地
04. 市外の大規模ショッピングセンター	09. 文化施設
05. 東京都内	10. その他

## (2)「住みやすさ」についてうかがいます。

①あなたの現在お住まいの場所は、以前(5年前くらい)に比べて住みよくなりましたか。

01. 非常に住みよくなった	04. やや住みにくくなった
02. 多少住みよくなった	05. 非常に住みにくくなった
03. どちらともいえない	06. 最近転入したのでわからない

② ①で 01. 02. と回答された方にうかがいます。その主な理由を1つお選びください。

01. 周辺環境の改善	04. 通勤通学の便	07. 各種施設の充実
02. 地価・家賃の安定	05. 買い物の便	08. 風紀の改善
03. 働く場の確保	06. 子育て環境の改善	09. その他

③ ①で 04. 05. と回答された方にうかがいます。その主な理由を1つお選びください。

01. 周辺環境の悪化	04. 通勤通学の不便	07. 各種施設の不足
02. 地価・家賃の変動	05. 買い物の便の悪化	08. 風紀の悪化
03. 働く場の不足	06. 子育て環境の悪化	09. その他

## (3) 定住意向等についてうかがいます。

①あなたは今後も現在のところに住み続けたいと思いますか。

01. 住み続けたい	03. すぐにでも転出したい
02. 将来転出すると思う	04. わからない

② ①で 02. 03. と回答された方にうかがいます。その主な理由を1つお選びください。

01. 周辺環境の悪化	04. 通勤通学の不便	07. 各種施設の整備不足
02. 地価・家賃の変動	05. 買い物が不便	08. 風紀の悪化
03. 働く場の不足	06. 子育て環境の悪化	09. その他

③あなたは、近所の方と、どのようなつきあいをしていらっしゃいますか。

01. ほとんどつきあいが無い	04. 買い物や集会などに一緒にでかける
02. あいさつする程度	05. お互いに訪問したりする
03. 時々世間話をする	

**(4) 市の施設の利用についてうかがいます。**

①あなたは過去3年間に市の施設を利用したことがありますか。

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 01. よく利用する(月に数回程度)   | 03. 利用したことがある(年に1回程度) |
| 02. たまに利用する(数か月に1回程) | 04. 利用したことがない         |

② ①で01. 02. 03と回答された方にうかがいます。

利用された施設の施設環境やサービスの内容は満足できましたか。1つお選びください。

- |          |          |         |          |          |
|----------|----------|---------|----------|----------|
| 01. 大変満足 | 02. やや満足 | 03. ふつう | 04. やや不満 | 05. 大変不満 |
|----------|----------|---------|----------|----------|

③国や各自治体においては、厳しい財政状況が続いています。このような状況の中、現在あなたのお住まいの地域にある公共施設について、今後どのようにしていくべきだと思いますか。

1つお選びください。

- |                                            |
|--------------------------------------------|
| 01. 現在ある施設については、可能な限り維持していくべき              |
| 02. 一部の施設については、統廃合も検討していくべき                |
| 03. 日常生活を維持する上で必要不可欠な施設だけを残し、それ以外は廃止も検討すべき |
| 04. その他( )                                 |

④財政状況が厳しい中、今後の公共施設サービスと費用負担の関係はどうあるべきだと思いますか。

1つお選びください。

- |                                                |
|------------------------------------------------|
| 01. 利用者の負担や市民の税金による負担は極力抑え、サービス水準が低下してもやむを得ない  |
| 02. 利用者の負担は極力抑え、広く市民の税金により負担し、サービス水準を維持する      |
| 03. 市民の税金による負担は極力抑え、利用者の負担を増やすことで、サービス水準を向上させる |
| 04. その他( )                                     |

**(5) 佐倉市全体として取り組むべき事業に関連してうかがいます。**

①これから先、あなたが最も不安に感じるものは何ですか。次の中から2つまでお選びください。

- |               |              |            |
|---------------|--------------|------------|
| 01. 老後の自分の世話  | 06. 自分や家族の健康 | 11. その他( ) |
| 02. 生計や所得水準   | 07. 近所との交流   |            |
| 03. 営業・営農等の継続 | 08. 家族のあり方   |            |
| 04. 子供の教育     | 09. 仕事と家庭の両立 |            |
| 05. 居住環境      | 10. 地域の治安    |            |

②あなたの老後の生活は、次のどれに該当するとお考えですか。

- |                                                  |
|--------------------------------------------------|
| 01. 働ける間は生計を得るための仕事を続けなければならない                   |
| 02. 働ける間は社会参加または生きがいのための仕事を続けたい                  |
| 03. 生活の基盤はある程度確保できることが望めるので、地域活動や趣味等を生かした生活を送りたい |
| 04. 特に考えていない                                     |

③今後の市政で特に力を入れてほしいものは、次のどれですか。

次の中から5つまでお選びください。

**【保健・医療・福祉関係】**

01. 救命・救急などの医療体制の充実
02. 各種検診や予防接種など保健・疾病予防
03. 乳幼児医療の充実
04. 高齢者医療や介護保険サービスなど的高齢福祉の充実
05. 保育園・母子福祉施設の整備など児童・母子（父子）福祉の充実
06. リハビリや援護事業など障害者(児)福祉の充実

**【環境関係】**

07. 騒音や大気汚染の規制など公害対策
08. 産業廃棄物などの規制強化
09. リサイクルを含めたごみ処理体制の充実
10. 里山・谷津田など自然環境の保全

**【交通・防犯・防災関係等】**

11. バス路線確保など公共交通網の整備
12. 防犯パトロールなど防犯活動の強化
13. 地震や水害などに対する防災体制の強化
14. 火災などに対する消防体制の強化
15. 消費者保護の推進

**【文化・教育関係】**

16. 小・中学校の教育環境の整備・充実
17. 生涯学習・芸術文化活動の推進
18. 公民館・図書館などの施設整備
19. スポーツ施設の整備
20. スポーツ・レクリエーション活動の推進
21. 国際交流活動の推進
22. 平和啓発施策の推進

**【商工業振興関係】**

23. 都市近郊農業の推進など農業水産業の振興
24. 企業誘致や中小企業の支援など商工業の振興
25. 商店街の活性化

**【都市土木関係】**

26. 幹線道路の整備
27. 歩道や自転車・歩行者道
28. 家のまわりの道路や側溝の整備
29. カーブミラーや街灯の整備
30. 公共下水道の整備
31. 河川や調整池の整備
32. 美しいまち並みや景観づくり
33. 公園や街路樹の整備などによる緑あるまちづくり

**【地方自治・人権関係】**

34. ボランティア活動を含む社会貢献活動の活性化
35. 自治会・町内会・区の活動の活性化
36. 男女平等参画施策の推進
37. 人権施策の推進
38. 市民と行政が一体となって課題解決に取り組む市民協働の推進

**【行政管理関係】**

39. インターネットを利用した行政手続の電子申請や公共施設予約システムなどの充実
40. 事務事業の簡素化や組織の見直しなど行財政改革の推進
41. その他( )

**( 6 ) 地域における市民参加についてうかがいます。**

①あなたは、各種のボランティア活動などの地域のコミュニティ活動への参加についてどう思われますか。

- |                              |                  |
|------------------------------|------------------|
| 01. 積極的に参加する                 | 05. 興味がないので参加しない |
| 02. 活動内容によっては参加する            | 06. わからない        |
| 03. 誘いがあれば参加する               | 07. その他          |
| 04. 参加したい気持ちはあるが種々の事情で参加できない |                  |

②あなたは、およそ過去1年間に、どのようなコミュニティ活動に参加されましたか。  
主なものを3つまでお選びください。

- |             |              |             |                  |
|-------------|--------------|-------------|------------------|
| 01. 自治会・町内会 | 06. 婦人会の活動   | 11. 地域の文化活動 | 16. 共同購入などの消費者活動 |
| 02. 商工団体の活動 | 07. P T Aの活動 | 12. 地域の趣味の会 | 17. 廃棄物のリサイクル活動  |
| 03. 青年会の活動  | 08. 消防団      | 13. 地域の団体旅行 | 18. 福祉ボランティア活動   |
| 04. 老人会の活動  | 09. スポーツ活動   | 14. 道路等の清掃  | 19. 防犯に関する活動     |
| 05. 子供会の活動  | 10. 祭りなどの催し  | 15. 地域の緑化   | 20. その他          |

**( 7 ) 行政に対する市民参加についてうかがいます。**

①あなたは、市に対する要望・意見などをどんな方法で伝えますか。  
次の中から主なものを1つお選びください。

- |                   |                   |                |
|-------------------|-------------------|----------------|
| 01. 市長などへ手紙を出す    | 04. 市民相談を利用する     | 07. 市の計画立案への参加 |
| 02. 陳情または請願を出す    | 05. 市議会議員に話す      | 08. その他        |
| 03. 市の職員に話す(電話含む) | 06. 自治会や町内会の役員に話す |                |

②あなたが市民として参加したい計画部門はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- |                             |                      |          |
|-----------------------------|----------------------|----------|
| 01. 街づくり部門(公園・コミュニティ道路の整備等) | 08. その他              |          |
| 02. 防災・防犯部門                 | 05. 経済部門(産業・観光等) ( ) |          |
| 03. 福祉部門                    | 06. 環境部門             | 09. 特にない |
| 04. 教育部門                    | 07. 市の総合計画           |          |

**( 8 ) 佐倉市の都市イメージについてうかがいます。**

①佐倉市で積極的に評価できること、または長所だと思えますか。  
3つまでお選びください。

- |                 |              |              |
|-----------------|--------------|--------------|
| 01. 通勤通学の便      | 06. スポーツ文化活動 | 11. 地域の経済発展  |
| 02. 居住環境の水準     | 07. 防災対策     | 12. 地域の歴史や伝統 |
| 03. 買い物の便利さ     | 08. 治安のよさ    | 13. 町並みや景観   |
| 04. 教育文化の水準     | 09. 地域の市民の資質 | 14. 自然環境     |
| 05. 保健・医療・福祉の水準 | 10. 市と市民の一体性 | 15. その他      |

②佐倉市で好ましくないこと、または欠点だと思いませんか。

次の中から3つまでお選びください。

- |                 |              |              |
|-----------------|--------------|--------------|
| 01. 通勤通学の便      | 06. スポーツ文化活動 | 11. 地域の経済発展  |
| 02. 居住環境の水準     | 07. 防災対策     | 12. 地域の歴史や伝統 |
| 03. 買い物の便利さ     | 08. 防犯体制     | 13. 町並みや景観   |
| 04. 教育文化の水準     | 09. 地域の市民の資質 | 14. 自然環境     |
| 05. 保健・医療・福祉の水準 | 10. 市と市民の一体性 | 15. その他      |

③市では「歴史・自然・文化のまち」を目指した都市づくりを進めてきましたが、あなたは、佐倉市の特色を活かした今後の都市づくりについてどんなお考えをお持ちですか。最も近いものを1つお選びください。

- |                                         |
|-----------------------------------------|
| 01. 豊かな自然を引き継ぐ、環境と調和したまち                |
| 02. 個性ある生活圏が連続した、生き生きと暮らせるまち            |
| 03. 市民がつくる活力に満ちたまち                      |
| 04. 印旛沼周辺の環境整備等による水と緑の豊かな都市             |
| 05. 城址や伝統的な街並みの整備による歴史観光都市              |
| 06. インターチェンジ、第三工業団地等の周辺整備を含めた成田空港との連携都市 |
| 07. 国立歴史民俗博物館・美術館等を中心とした創造的な文化創造都市      |
| 08. その他( )                              |

④佐倉市内の好きな場所やもの、あるいは、市外の友人に紹介したい場所やものはなんですか。

次の中から3つまでお選びください。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 01. 緑の環境        | 14. 国立歴史民俗博物館 |
| 02. 田園風景        | 15. 市立美術館     |
| 03. 都市景観        | 16. 川村記念美術館   |
| 04. 印旛沼         | 17. 市民音楽ホール   |
| 05. さくらまつり      | 18. 佐倉城址公園    |
| 06. 佐倉チューリップまつり | 19. 臼井城址公園    |
| 07. 佐倉市民花火大会    | 20. 岩名運動公園    |
| 08. 佐倉の秋まつり     | 21. 上座総合公園    |
| 09. 佐倉朝日健康マラソン  | 22. 佐倉ふるさと広場  |
| 10. 佐倉草ぶえの丘     | 23. 七井戸公園     |
| 11. 武家屋敷        | 24. 直弥公園      |
| 12. さくら庭園（旧堀田邸） | 25. その他( )    |
| 13. 佐倉順天堂記念館    |               |







佐倉市市民意識調査報告書

平成21年3月 佐倉市

発行 佐倉市役所 企画政策部企画政策課  
千葉県佐倉市海隣寺町9-7番地  
TEL(043)484-1111 (代表)

調査 株式会社ジパロ国際総合研究所

